

理學士 山上萬次郎 編著

外國之部

最新物理學教科書

明治卅五年一月發兌

大日本圖書株式會社

序

最近地理學教科書日本之部上梓以來、未ダ三句ヲ經ズ、料ラザリキ、學友ノ稱賛ト、江湖ノ歡迎ト、斯クノ如ク其レ盛ンナラントハ。コレ著者ノ固ヨリ敢テ當ラザル所ナリト雖モ、最近事實ノ訂正、教材ノ選擇、年ト共ニ常ニコレヲ新ラニスベキ著者ノ責任ハ、コレニヨリテ尙ハ益幾層ノ重キヲ致セリ。今本書外國之部ヲ公ニスルニ當リ、聊カ著者微意ノ存スル所ヲ明ラカニシ、以テ序ニ代フ。

明治三十五年二月一日

山上萬次郎謹ス

最近地理學教科書 外國之部 目次

第一章 水陸の區分

- 一、概説……………一
- 二、地球の區分……………二
- 三、水陸の分布……………三
- 四、陸の區分……………三
- 五、水の區分……………四

第二章 アジア

- 第一節 總論……………五
- 六、位置……………五
- 七、地勢……………五
- 八、水誌……………七
- 九、氣候……………八
- 第二節 アジア洲中の獨立國……………八

一〇、總説……………八

一一、シヤム……………一〇

一二、チボール、アータン及びアフガニスタン……………一一

一三、ベルシア及びオーマン……………一一

第三節 韓國……………一三

一四、地文地理……………一三

一五、人文地理……………一三

一六、地方誌……………一六

第四節 清國……………一九

一七、總論……………一九

一八、地勢……………二〇

一九、水誌……………二一

二〇、氣候……………二二

二一、人民……………二三

二二、政治……………二五

第三章 ヨーロッパ。

第一節 總論

三一、アジア及びヨーロッパの比較……………五五

三二、位置……………五七

三三、地勢……………五七

三四、水誌……………五九

第五節 アジア中の附屬國

二三、産業……………二七

二四、交通……………二九

二五、地方誌……………三一

二六、總説……………三六

二七、支那に於ける占領地……………三七

二八、北部アジア……………四〇

二九、南部アジア……………四五

三〇、西部アジア……………五三

三五 氣候…………… 六〇

三六 人文地理…………… 六一

第二節 ロシア…………… 六二

三七 地文地理…………… 六二

三八 人文地理…………… 六三

三九 地方誌…………… 六五

第三節 北部ヨーロッパ…………… 六七

四〇 スウェーデン、ノルウェー…………… 六七

四一 デンマーク…………… 六九

第四節 中部ヨーロッパ…………… 七〇

四二 ドイツ…………… 七一

四三 オーストリア、ハンガリー…………… 七四

四四 スワイツェル…………… 七七

四五 オランダ…………… 七九

四六 ベルギー…………… 八一

第五節 西部ヨーロッパ…………… 八二

四七 イギリス諸島…………… 八二

四八 フランス…………… 八七

第六節 南部ヨーロッパ…………… 九二

四九 スペイン…………… 九二

五〇 ポルトガル…………… 九三

五一 イタリア…………… 九四

五二 バルカン半島の諸邦…………… 九七

第四章 オセアニア…………… 一〇一

第一節 オーストラリア…………… 一〇一

五三 總説…………… 一〇一

五四 地文地理…………… 一〇二

五五 人文地理…………… 一〇四

五六 各州誌…………… 一〇九

第二節 マレーシア…………… 一一三

五七、總説……………一三三

五八、各島誌……………一三四

第三節　ボリチシア……………一三四

五九、總説……………一二五

六〇、メラネシア……………一二六

六一、ミクロネシア……………一二九

六二、ボリチシア本部……………一三〇

六三、ニューサウスランド……………一三三

第五章　アフリカ……………一二七

第一節　總論……………一二七

六四、總説……………一二七

六五、地文地理……………一二九

六六、人文地理……………一三三

第二節　アフリカの區劃……………一三七

六七、政治區劃……………一三七

六八、地理上の區劃……………一三九

第三節　ナイル諸邦……………一四〇

六九、エチオプト……………一四〇

七〇、アビシニア……………一四三

七一、エジプトとスーダン……………一四三

第四節　東部アフリカ……………一四五

七二、ポルトガル領東部アフリカ……………一四五

七三、ドイツ領東部アフリカ……………一四六

七四、イギリス領東部アフリカ……………一四六

七五、イタリア領東部アフリカ……………一四六

第五節　南部アフリカ……………一四七

七六、イギリス領南部アフリカ……………一四七

七七、ドイツ領南西アフリカ……………一五〇

七八、ザンベシア……………一五〇

第六節　西部アフリカ……………一五三

七九、總記……………一五一

八〇、ポルトガル領西部アフリカ……………一五二

八一、コンゴ―獨立國……………一五二

八二、フランス領コンゴ―及びカメルーン……………一五三

八三、上部ヤニア及びセチガンピア……………一五三

第七節　バルバリー諸邦……………一五四

八四、總記……………一五四

八五、モロコ王国……………一五五

八六、アルジェリア……………一五六

八七、チュニス王国……………一五六

八八、トリポリ……………一五六

第八節　ツハラ及びブーダン……………一五七

八九、ツハラ……………一五七

九〇、ブーダン……………一五七

第九節　アフリカの諸島嶼……………一五八

第六章　南アメリカ

九一、東岸の諸島——マダガスカル……………一五八

九二、西岸の諸島……………一五九

第一節　總論……………一六一

九三、總記……………一六一

九四、地文地理……………一六二

九五、人文地理……………一六六

第二節　北部諸邦……………一六九

九六、グァテマラ……………一六九

九七、キアタ……………一七〇

第三節　ブラジル……………一七一

九八、總記……………一七一

九九、地文地理……………一七二

一〇〇、人文地理……………一七二

一〇一、地方誌……………一七四

第四節 南部諸邦

- 一〇二、バフラグメイ……………一七五
- 一〇三、ウルグエイ……………一七六
- 一〇四、アルジャンテン……………一七六
- 一〇五、テリ……………一七九

第五節 西部諸邦

- 一〇六、ボリツア……………一八〇
- 一〇七、ペルー……………一八一
- 一〇八、エクアドル……………一八二
- 一〇九、コロンビア……………一八二

第七章 北アメリカ

第一節 總論

- 一一〇、總説……………一八五
- 一一一、地文地理……………一八六
- 一一二、人文地理……………一八九

第二節 グリーンランド

- 一一三、グリーンランドの畧説……………一九二

第三節 カナダ

- 一一四、總記……………一九三
- 一一五、地文地理……………一九三
- 一一六、人文地理……………一九五
- 一一七、地方誌……………一九六
- 一一八、ニューファンドランド……………一九七

第四節 北アメリカ合衆國

- 一一九、總記……………一九七
- 一二〇、地文地理……………一九八
- 一二一、人文地理……………二〇一
- 一二二、地方誌……………二〇四
- 一二三、アラスカ……………二〇六

第五節 メキシコ

- ……………二〇七

一二四、地文地理……………二〇七

一二五、人文地理……………二〇八

一二六、地方誌……………二〇九

第六節 中央アメリカ……………二一〇

一二七、總記……………二一〇

一二八、各邦土誌……………二一一

第七節 西印度諸島……………二一一

一二九、總記……………二一二

一三〇、各島誌……………二一三

第八章 世界地理總論……………二一五

第一節 人種言語宗教の配布……………二一五

一三一、世界の人種……………二一五

一三二、世界の言語……………二一六

一三三、世界の宗教……………二一七

第二節 各邦土の領域……………二二〇

一三四、各邦土の面積……………二二〇

一三五、本國及び屬地……………二二一

第三節 世界の物産貿易交通……………二二二

一三六、世界の主要物産……………二二六

一三七、世界の貿易……………二二七

一三八、世界の交通……………二二八

第四節 世界の財政……………二二九

一三九、歲出入……………二三〇

一四〇、國債……………二三一

第五節 日本帝國の位置……………二三一

一四一、諸強國との關係……………二三一

一四二、世界に於ける日本帝國の位置……………二三二

最近地理學教科書 外國之部 目次終

最近地理學教科書 外國之部 插圖畫目錄

陸半球 水半球	三頁	○ワレース民線	四七頁
○アジアの山脈	六	○印度の地勢	四九
京城南大門	一七	○印度の鐵道	五二
黄河河口の變遷	二二	島・半島及び木陸の割合	五七
支那人の配布	二四	○ヨーロッパの地勢	五八
纏足と骨の畸形	二五	○ヨーロッパ内地と海岸の距離	五九
○香港附近の讓與地方	三六	△モスコの巨鐘	六六
香港及び澳門附近	三七	ノルウエーの峽灣	六八
旅順口及び大連灣	三八	貯金銀行預金高	六九
威海衛	三九	麥酒産額	七三
膠州灣	四〇	砂糖産額	七三
シベリアの火橋	四二	プスタの景	七五
シベリア大鐵道の東部	四三	○セントゴータード大隧道	七八

オランダの地勢……………八〇

○ベルギーの鐵道……………八一

○イギリスの鐵道……………八四

イギリスの領地……………八六

●大都府面積の比較……………八七

○葡萄の産地……………八八

葡萄酒産額……………八九

エッフェル塔……………九〇

銅産額……………九二

國債額人口一人割……………九四

○マリア地方……………九一

鴨嘴及びカンガル……………一〇七

ニューシャールランド土人……………一二四

○アフリカの地勢……………一二九

○アフリカの植物區域……………一三五

エジプト北部……………一四一

スエズ運河……………一四三

△ボアール人……………一四九

○南アメリカの地勢……………一六三

○カラカス及びラグニエラ間の鐵道……………一七〇

珈琲産額……………一七四

珈琲の乾燥……………一七五

アルマンチンの牧場……………一七八

●パナマ運河……………一八三

○北アメリカの地勢……………一八七

五大湖面積の比較……………一八九

アメリカインディアン……………一九〇

○北アメリカ主要鐵道……………一九一

カリフォルニアの巨樹……………二〇三

銀産額……………二〇八

●ニカラガ運河……………二〇九

我が條約國の面積其の一……………二一九

我が條約國の面積其の二……………二二〇

世界主要諸國の面積……………二二一

金産額……………二二三

石炭産額……………二二三

鉄産額……………二二四

小麦産額比較……………二二四

綿絲紡績鐘數……………二二五

綿花産額比較……………二二五

輸出入總額……………二二六

輸出入額人口一人割……………二二七

炭山總額……………二二九

炭出口人口一人割……………二二九

炭入總額……………二三〇

炭入人口一人割……………二三〇

國債總額……………二三一

金字塔……………二三一

萬里長城……………二三一

○印々附メッセン・Mill-The International Geographical Readers' Club
 ●印々附メッセン・Skol-Geographical Readers' Club
 phisches Handbuch zu Andree's Handatlas 11
 リ、△印々附メッセン・Macmillan's Geographical Readers' Club。

最近地理學教科書、外國之部、挿圖書目録、終。

最近地理學教科書

外國之部

天宮堂

理學士 山上萬次郎著

第一章 水陸の區分

一 概説

涯ぎりなき宇宙の間、無數の天體の中、一個の遊星あり、名づけて地球と云ふ、これ吾人人類の棲息する所なり。廣き地表の上、多き邦土の中、一個の獨立國あり、稱して大日本と云ふ、これ我が民族の割據する所なり。

更らに我が帝國の邦土を見るに、海國の名蓋し空しから

ず、大小數多の島嶼は其の陸部を組織し、廣狹幾多の海灣は其の領海を構成せり、然れども此の島嶼は地球全陸界の一小部にして、此の海灣は地球全水界の一小部たるに過ぎず。

斯くの如く地球の表面は陸と水とより成り、空氣は一樣にこれを包む、而して陸界・水界・氣界の相接する所は生物界の最も盛んなる部分なり。

二、地球の區分。

赤道によりて地球を南北に分つときは、北半球及び南半球となり、一子午線によりて地球を東西に分つときは、東半球及び西半球となる。南北兩半球は四季相反し、東西兩半球は晝夜相反す。

三、水陸の分布。

地表上水陸の分布は一樣ならずして、水陸面積の比は凡そ三と一との如し。其の中陸は北半球に多く、南半球に少く、又東半球に多く、西半球に少し。而して一半球には陸を最も多く含ませしめ、他半球には水を最も多く含ませしめ、以て地球を水陸兩半球に分ち得べし。

四、陸の區分

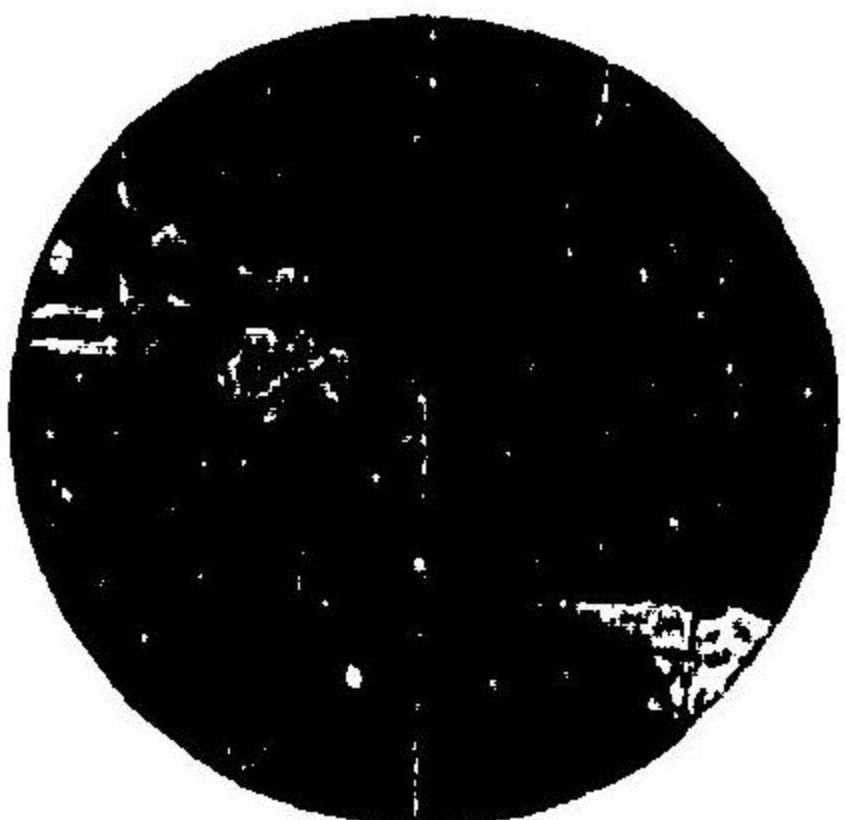
陸は相連接せずして、大小數多の塊を成す、其の大なるものを大陸と云ひ、

Continent

陸半球の極
はロンドン
附近にあり



球半陸



球半水

小なるものを島と云ふ。島は其の主たる大陸の中に算入するを常とし、隨て陸は六個の大陸に區分せらる。アジア、ヨーロッパ、アフリカ、オーストラリアの四大陸は東半球にあり、北アメリカ、南アメリカの二大陸は西半球にあり、前の四大陸を總稱して東大陸と云ひ、後の二大陸を總稱して西大陸と云ふ。

五、水の區分。

水は互に連接して、一の大塊を成す、然れども陸地の突出によりて自から大小數多の塊に分たる、其の大なるものを大洋と云ひ、小なるものを海、又は灣Bay、副洋Sub-oceanと云ふ、海及び灣は其の主たる大洋の中に算入するを常とし、隨て水は四個の大洋に區分せらる、太平洋、印度洋、大西洋、南大洋これなり。

第二章

アジア

Asia

第一節 總論

六、位置。

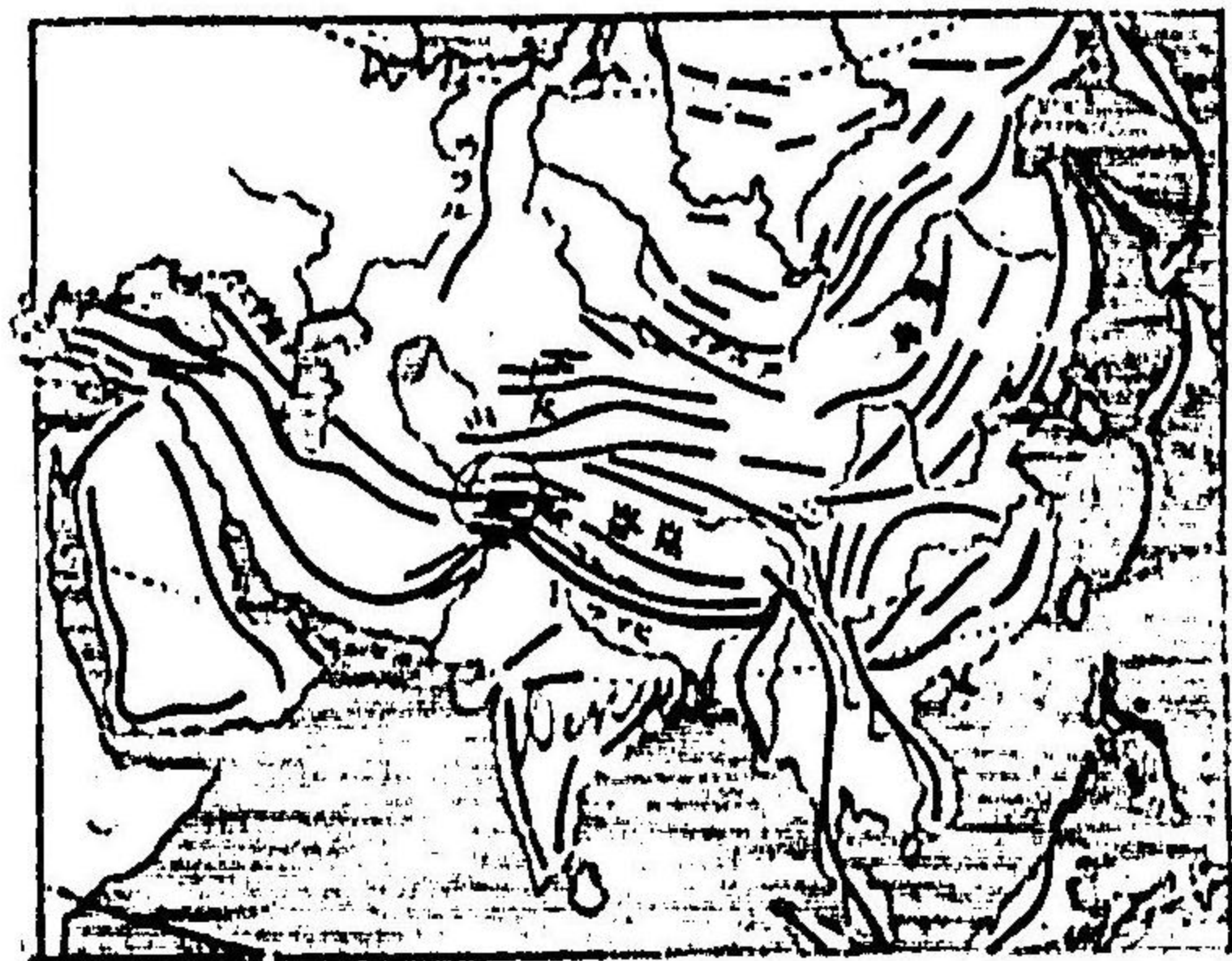
世界第一の大陸たるアジアの北端は遠く北極圈を超え、南端は殆んど赤道に達し、全土の位置は畧ぼ北半球内に在り、又其の東端と西端とは時刻の差十一時間に及ぶ。

七、地勢。

アジアは地勢上左の四部に分る。
北方低地帯。世界第一のシベリア平原は其の大部を成す。

日本嶺崑山系は其の餘波なり

中央高地帶。數多の山脈、畧ぼ東西に走り、其の間に高原を成す、其の中心にパミール高原あり、通稱を「世界の屋根」と云ひ、大山脈はこれより四方に向ふ。即ちヒマラヤ山系は南東に、崑崙山系は東方に、天山山系は北東に、ヒンヅークシ、
Himalaya
Hindu Kush



脈山のアジア

山脈は西方に走り、イラン高原、西藏高原等は其の間に存し、アルタイ山系は其の北境を限り、興安嶺は其の東部に連る。
Iran
Alai
Khin
ヒマラヤ山系中には世界第一の高峯あり、又西藏高原は世界第一の高原なり。
南部高原帶。アラビア・デカン
Dekhan

の二高原こゝにあり、アラビア高原の北西隅なる死海の近傍は、世界第一の窪地なり。

東部火山帶。世界第一の火山脈はカムサ、カ半島より日本を經、マライ群島を通じ、以てアジア大陸の東縁を圍む。

八、水誌。

アジア河流の水源は地勢上概ね中央高地にあり、河流は概ね其の縁邊の山脈を横斷し、四方に向ふ、又雙子河及び大陸河の多きは此の大陸の特色なり。氣候風は雨を來たすが故に、河川は大抵水量に乏しからず。

鹹湖にはヨーロッパとの境に世界第一の裏海あり、其の以東には、往古内海の遺跡たる鹹湖多くして、皆大陸河の灌域にあり。アジアの淡水湖には大なるもの少し。

九、氣候。

アジアは多くの緯度に亘り、大なる面積を占め、地勢の高
 低一ならざれば、最も氣候の變化に富めり。此の大陸は面
 積大なるを以て、海洋氣候は其の一部のみに存す。又内部
 の大陸氣候は印度洋に氣候風を起すの本となり、印度の一
 部に世界最多の雨量を生ずるに至れり。又北部には世界
 最寒の地ありて、南部には比類少き熱地あり。

中央ア
 の無雨
 は甚大
 なり

ユーラシ
 大陸の
 大

第二節 アジア洲中の獨立國

一〇、總說。

アジアの地勢上より見れば、ヨーロッパは其一半島たるに

過ぎず、然るに、邦制上より見れば、現今のアジアは却て、ヨ
 ロッパの附屬となり了らんとす。唯多少の獨立國を存すれ
 ども、我が國を除くの外、國勢の盛んなるものなし。今各部
 に就てこれを畧説すべし。

東部アジア。日韓清の三獨立國より成る。

北部アジア。すべてロシア領なり。

南部アジア。獨立國にはシム王國の外、チモール及びア

ータンの二酋長國あるのみ、其の他は主としてイギリス領
 及びフランス領なり。

西部アジア。獨立國にはヘルシア王國の外、アフガニス
 タン及びオスマンの二酋長國あるのみ、其の他は主として
 イギリス領及びトルコ領なり。

今アジアの獨立國中、東部アジアに於けるものを除き、左にこれを畧説すべし。

(一) シヤム。

Siam

印度支那の中部を占め、シヤム灣の北に位す。其の面積

Indo-China

は我が國より少しく大にして、國の大部はメナム河の灌域

Mekong

に屬し、米及びチーク材に富み、象は家畜として用ひらる。

Teak

人口凡そ五百萬、外に支那人凡そ三四百萬あり、國人檳榔子

を噛み、齒黒く、口臭し。陸軍は常備兵五千、海軍は巡洋艦二

隻あるのみにして、輸出入額は凡そ六千萬圓なり。首府バ

ンコックは人口二十五萬を有し、メナム河に臨む、河口淺くし

Bangkok

て大船を容るゝこと能はざるは惜むべし。此の國は本邦

條約國の一にして、首府には我が公使館及び領事館の設け

あり。

(二) 子ポール・ブータン及びアフガニスタン。

子ポール及びブータンの二國は共にヒマラヤ山系中に

Nepal

Bhutan

位し、西藏と交通すれども、西洋諸國に對しては鎖國主義を

取れり。アフガニスタンは印度の北西に位し、回教を信ず

Afghanistan

る遊牧の民これに住し、カプールの酋長これを總轄す、此の

Kabul

國はイギリス及びロシア領地の間に介在するを以て、歴二

國紛争の衝に當れり。

(三) ヘルシア及びオーマン。

ヘルシアはアフガニスタンの西方に位し、イラン高原の

Persia

大部を成し、山脈は其の縁を圍む。其の氣候は大陸性にし

て、砂漠多く、鹹湖に富む。人口凡そ九百萬、人民は回教を信

じ、其の四分の一は遊牧の民なり、物産は穀物・絹・霞・阿片を重もなるものとす。此の國の政體は君主專制にして、君主の稱號をシャーと云ふ、兵力貿易共に盛んならずして、海軍は小汽船二隻あるのみ、首府をテヘランと云ふ。此の國の位置、北は裏海、南はペルシヤ灣に臨み、イギリス及びロシア兩國の勢力範圍に接し、極めて注意すべき關係を有す。

オスマンはペルシヤ灣を隔て、ペルシヤの南に當れる酋長國にして、首府をマスカトと云ふ。

東部アジアの獨立國に就ては、我が國を省き、韓・清二國を左に列記すべし。

第三節 韓國

Korea

一四、地文地理。

韓國は又朝鮮と通稱す、東部アジアの一半島にして、我が對馬より望見し得べし、面積は我が本州より少しく大なり。長白山脈國の北境を限り、これより大關嶺を派出し、少しく東側に偏して國土を縦貫す、隨て西側には大河多し。南西岸の島嶼に富めると、西岸の潮汐升降差大なるとは、此の國沿岸の特性なり。氣候は大陸性にして、冬季は河水氷結し、唯南部沿岸のみ稍溫和なり。

一五、人文地理。

人口凡そ五百萬、我が國よりも密度甚だ小にして、特に人口減少の傾向あり。上流の人は漢文を用ひ、他は諺文を用

對馬の北端を距ること三十里なり

朝鮮多島海、高低潮の差、三、四尺に及ぶ、三寒四暖

ふ。普通の人民は沐浴せず、朝寢午睡を貪り、門閥の別嚴にして、奴隸の制尙ほ存す、上流は孔孟を口にするも、一般に妖教行はる。又厚葬の弊習久しく、墓地の地積大なるを以て、鐵道の敷設、鑛山の採掘等、利源の開發に故障少からず。

政體は君主專制にして、内閣は内外度支、軍法、學農、商工の七部衙門より成り、各衙門に大臣を置く、又各道には觀察使を置くも、中央政府の命令十分に行はれず、而して地方官賄賂を貪り、重税を課し、人民はこれが爲めに赤貧洗ふが如し。此の國は本邦條約國中、古來より最も密接なる關係を有す。

動物界の天産には虎多し、林産は北部を除くの外殆んど無し。農産には大豆及び米多くして、盛んに我が國に輸出

秃山多し

す、但し政府は時々防穀の令を布くを以て、我が商人の損害少からず。鑛産には金及び鐵多く、各國爭ひて、金鑛採掘の權を得たり、鐵は未だ採掘するに至らず。水産は豊富にして、其の漁利悉く我が國人の收むる所なり。

外國貿易は主として我が國とこれを行ひ、仁川、釜山、元山を重もなる開港場とし、城津浦、馬山浦、木浦、群山浦、鎮南浦、平壤これに次ぐ。輸出入額は凡そ二千萬圓にして、主要なる輸出品は米、豆、生牛皮なり。

交通は近時少しく面目を改め、京仁鐵道は既に成り、京釜鐵道は着手中にして、何づれも我が國人の經營に係る。主要なる開港場と我が國北清及びウラジオヤストクとの航路は、日本郵船及び大阪商船の兩株式会社これを経営す。此

の國は大河多くして、水利に富み、又外國へ電線を通ず。

一六、地方誌。

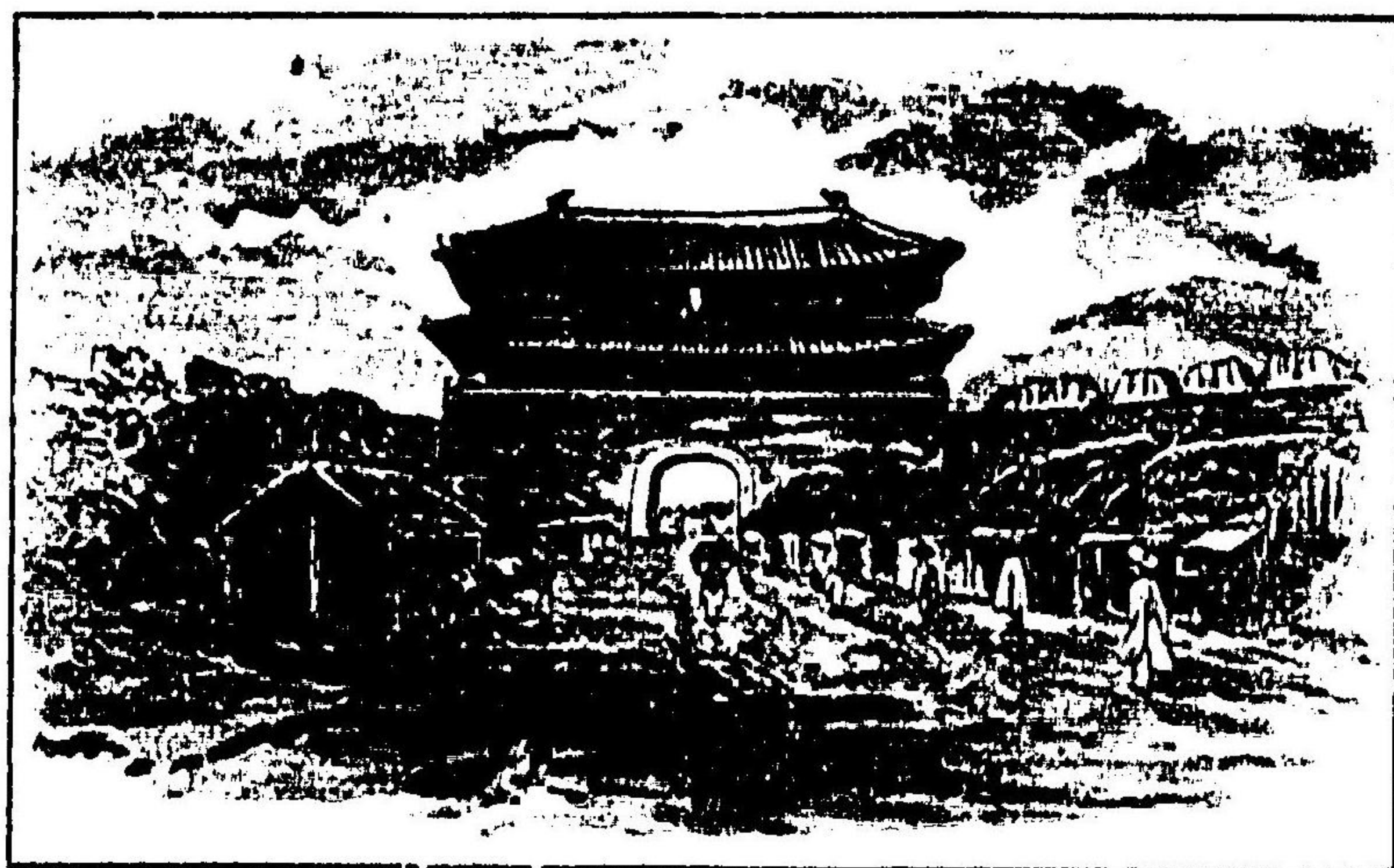
此の國は行政上もと八道に分ちしが、今は左の十三道に分つ。

- | | | | |
|------|------|------|------|
| 京畿道 | 江原道 | 忠清北道 | 忠清南道 |
| 全羅北道 | 全羅南道 | 慶尙北道 | 慶尙南道 |
| 咸鏡北道 | 咸鏡南道 | 平安北道 | 平安南道 |
| 黃海道 | | | |

我が新潟と
畧ぼ同緯度

中部(京畿、黃海、江原) 韓國の首府京城は本名を漢城と稱す、周圍は繞ぐらすに城壁を以てし、我が居留地には公使館及び領事館の設けあり、京仁鐵道及び漢江によりて交通の便あり、濟物浦は京城の西に位し、世に仁川と稱するは、即ち Chemulpo

三南地方
牙山・成歡
豊島



京城南大門

これなり、此の地は京城の咽喉に當り、貿易最も盛にして、我が領事館の設けあり。江原道の沿岸は明太魚の捕獲盛にして、黃海道の沿海は大同江の泥流の爲めに黄色を呈す。南部(忠清、全羅、慶尙) 忠清道は農産最も豊かなり、其の北西部は日清戦役の古跡多し。全羅道も亦農産に富み、群山浦には我が領事分館、木浦には我が領事館の設けあり、南方には濟

州島横はり、其の北東に巨文島あり。慶尙道も亦た巨濟南
 Quelpart 海等の島嶼に富み、良港多し、就中馬山浦は朝鮮海峡及び韓
 Port Hamilton 國內部に對し、最も重要な位置を占む、我が領事館の設け
 あり。釜山浦は我が國に最も近く、居留人甚だ多くして、純
 然たる本邦市街を成す、我が領事館の設けあり。蔚山は同
 名の灣頭に位し、豐公征韓の役に名高し。

北部(咸鏡平安)。咸鏡道は韓國の北東部を占め、圖們江に
 よりて、シベリア及び清國に接す、東側に一大灣あり、ゾロ
 トン灣と云ふ、元山津は其の中にあり、砂金の輸出盛んにし
 て、我が領事館の設けあり、これより北東に當れる城津浦に
 Wonsan 是我が領事分館の設けあり。平安道は韓國の北西部を占
 め、鴨綠江によりて清國と境す、其の南部は大同江の灌域に

屬し、平壤は其の中流にあり、豐公征韓の役及び日清戰役に
 Pingyang 其の名最も高し、此の地には我が領事分館の設けあり、又大
 同江の河口なる鎮南浦には我が領事館の設けあり。
 義州 是鴨綠江の東岸に位し、滿洲に入るの要點を占む。

第四節 清國

China

一七、總論。

清國は又支那と通稱す、東部アジア及び中央アジアの殆
 んど全部を占め、面積凡そ七十一萬方里、我が國の二十六倍
 あり、南北凡そ九百里、東西凡そ一千三百里、韓國は其の一半
 島に外ならずして、我が國は其の沿岸の屬島たるが如き觀

あり。

此の國は行政上直省及び外藩に分れ、直省は二十二あり、其の中十八省は支那本部、東三省は滿洲、一省は新疆にして、又外藩は蒙古、青海、西藏なり。

九、一八、地勢。

ヒマラヤ山系は南西境を限り、崑崙山系との間に西藏高原を成し、其の北に天山山系あり、崑崙山系は延びて興安嶺となり、北西なるアルタイ山系との間にゴビ砂漠の高原を作る。支那本部の中央には南嶺、北嶺の二山脈ありて、揚子江の南北に連亘し、北には中原の平地ありて、黄河下流の灌域を占む。

沿岸の性質は揚子江河口以北と以南とに於て大差あり、

最北部には遼東、山東の二半島ありて、内に渤海を抱き、外は黃海に濱す、遼東半島の南岸には旅順口及び大連灣あり、山東半島の北岸には威海衛、南岸には膠州灣あり、皆他國の占有する所となれり。揚子江口以南は東海及び支那海の沿岸にして、島嶼に富み、出入の多きこと、以北の比にあらず、珠江の成せる三角江の東には香港あり、三角洲の端には澳門あり、雷州半島の東側に廣州灣あり、皆他國の占有する所となれり、而して海南島は雷州半島の南に横はる。これより以西はトンキン灣の沿岸に屬す。

一〇、一九、水誌。

西部にはタリム河、伊犁河の如き大陸河あれども、其の他は皆海に入る、其の中最も名あるものを黄河及び揚子江と

す。

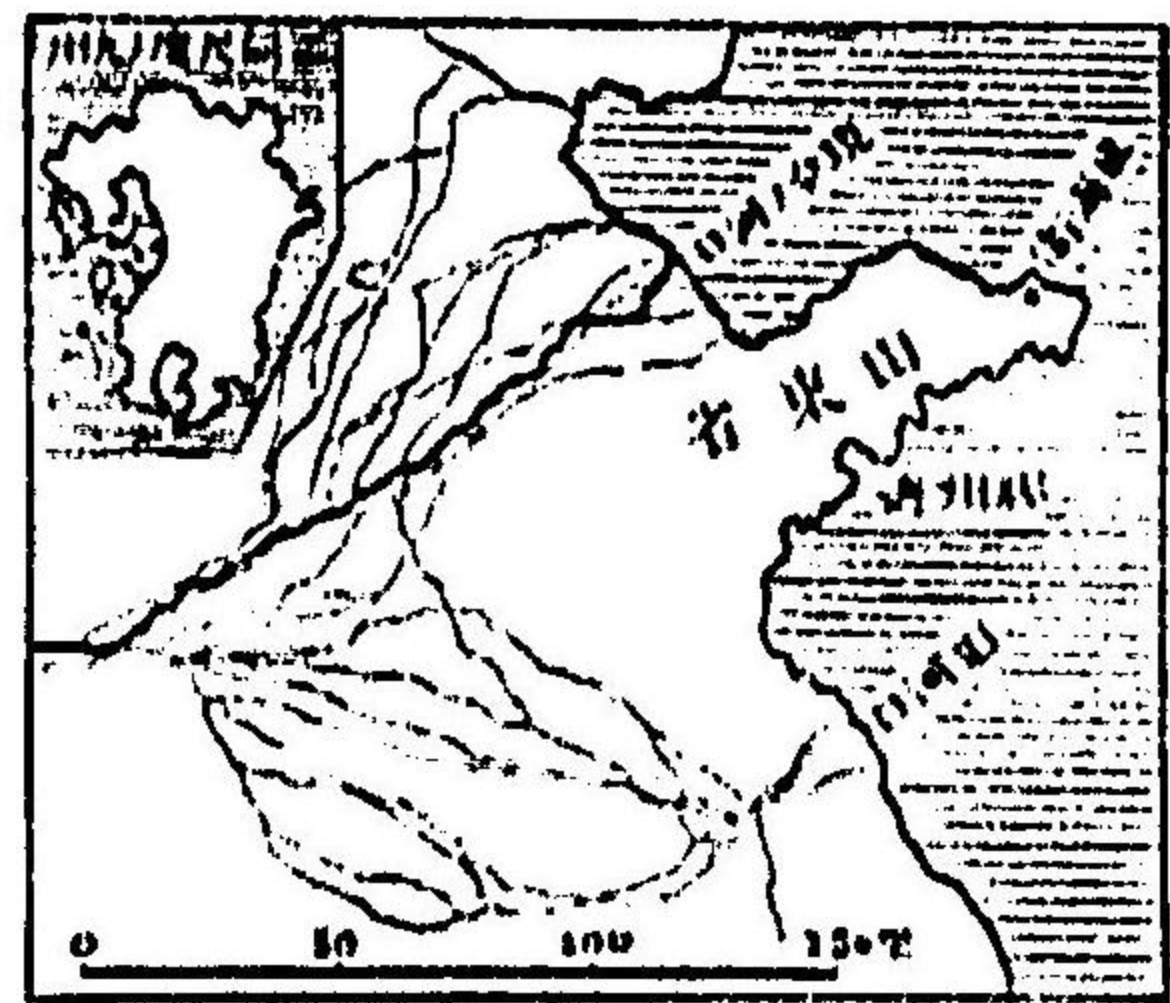
●黄河は單に河と稱し、其の水黄土を含みて常に濁り、河道の變遷甚しく、水害絶ゆることなし。

●*Hoang-ho*

●揚子江は單に江と稱す。

●*Yangtze-Kiang*

の二湖は江に通じ、其の水量を調整す。珠江は南清の大河なり、一に廣東河と稱す、其の三角江と三角洲とは甚だ大にして、沿岸には數多の開港場あり。其の二湖は江に通じ、其の水量を調整す。



黄河河口變遷

●珠江は南清の大河なり、一に廣東河と稱す、其の三角江と三角洲とは甚だ大にして、沿岸には數多の開港場あり。其

る、支流に漢江あり、又洞庭及び鄱陽

●*Fuching*

●*Poyang*

の他南清に閩江あり、北清に白河あり、滿洲の北境に黑龍江

●*Peiho*

●*Amur*

あり、松花江及び烏蘇里河は黑龍江の支流なり。

●*Sungari*

●*Ussuri*

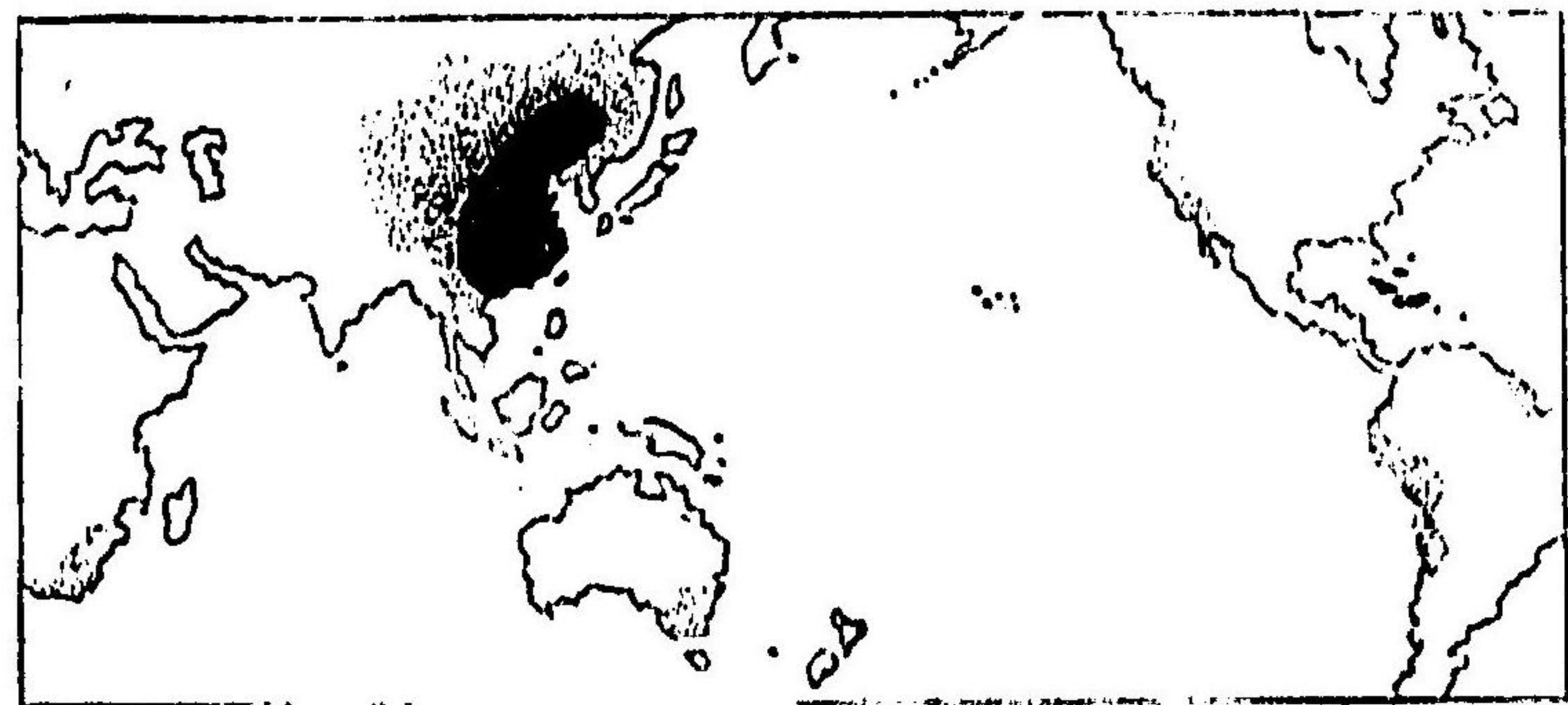
●二〇、氣候。

南部の沿岸は溫和なれども、夏季、大風の害あり、北部は大陸性にして、沿岸多くは氷結す、西藏及び蒙古は雨量極めて少く、支那本部の沿岸は氣候風の爲めに雨量稍多し。

●*Typhoon*

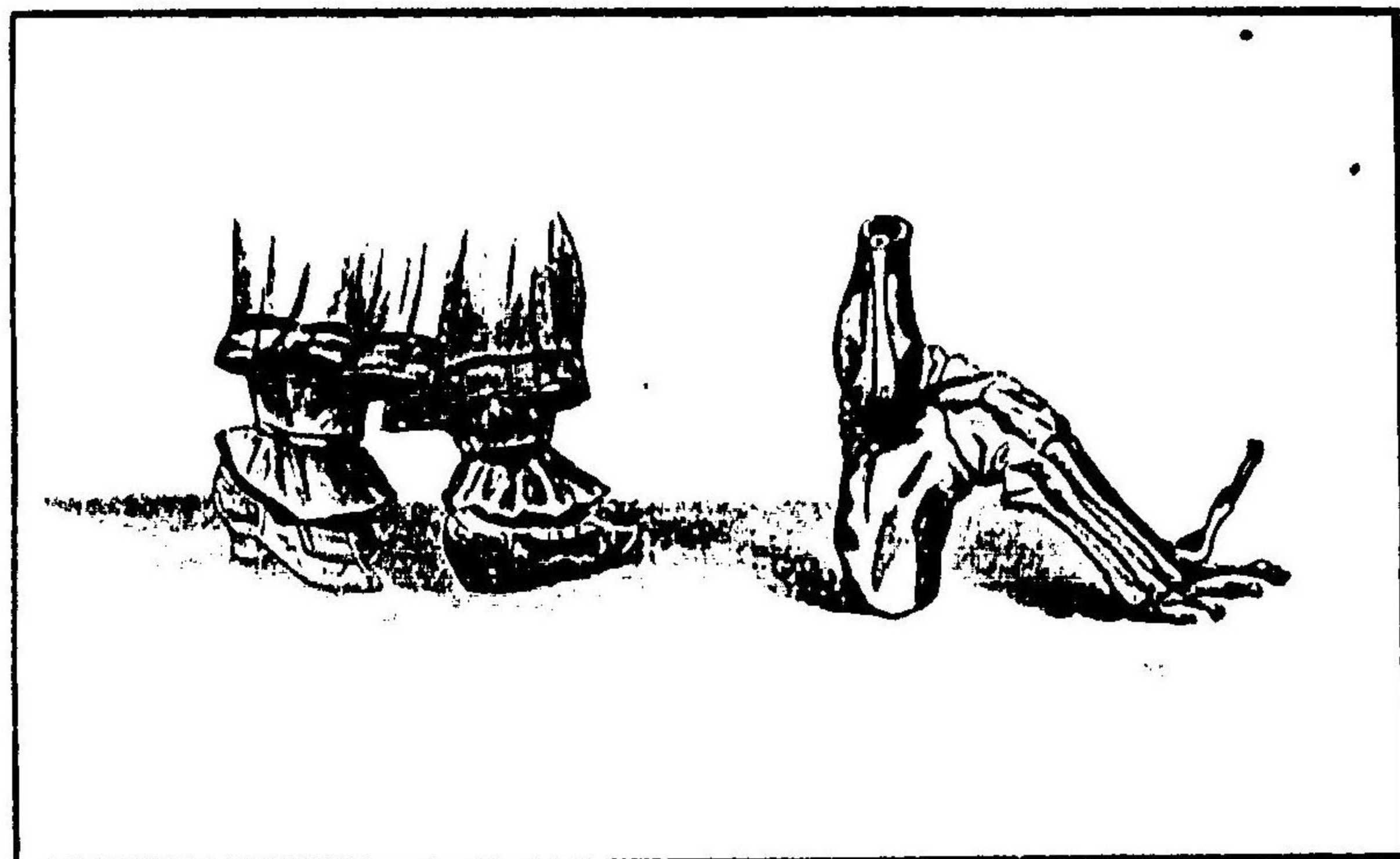
二一、人民。

人口凡そ四億三千万、世界人口の殆んど四分の一を占む、西部には無人の境あれども、支那本部の一部は人口の密度甚だ大なり、隨て海外移住は甚だ盛んにして、殆んど全世界に亘り、北アメリカ合衆國に於ては、清國人の移住を禁止するに至れり。人種言語風習所により大差あり、其の最も多



支那人の配布

數を占むる漢人及び滿洲人は、儉に非ざれば奢にして、舊慣を脱せず、商機に敏にして、團結強きに係はらず、忠君愛國の志を缺くは、我が國と正に反對なり。食物は脂肪多きを好み、常に豚を用ふ、生水を飲まず、煮ざるものを食せざるは、良習なれども、阿片喫烟と女子纏足とは、其の二大弊なり。髮の制清朝より始まり、厚葬の風古より存し、又漢人は字を書せる紙を大切に、して、苟くも遺棄することなし。教育は尙ほ古風に



纏足と骨の畸形

して、時文を習ひ、科擧に應じ、及第して官吏となるを目的とす。宗教は一ならず、れども、儒道佛最も行はれ、蒙古及び西藏には喇嘛教専ら行はる。

二二、政治。

此の國の政體は君主專制なれども、大清會典に則りて、政治を行ひ、要路の大官には必ず滿洲人、漢人を併せ用ふ、政治機關は帝室

單に總理衙門と稱す

部中央部及び地方部の三部より成る。中央部には内閣あれども、實權は辦理軍機所にあり、内閣の次に吏部・禮部・兵部・刑部の六部衙門あり、別に海軍部及び總理各國事務衙門あり、地方部は二十二省の中、東三省を除き、多くは一省或は二三省に總督を置き、又多くは各省に巡撫を置く、兵備は陸軍に八旗・綠旗・勇の三種あり、八旗及び綠旗より選拔せる練軍あり、其の一部は新式の訓練を經、新式の兵器を有す、海軍は日清戰役に於て、北洋水師の全滅後、次第に復舊の準備に着手せり。

此の國は舊時より我が國と交通し、本邦條約國中最も密接なる關係を有す、屢外國と事を生じて常に失敗し、特に日清戰役と義和團の内亂とは、國運の進歩に大打撃を與へた

り、而して滿洲は已にロシアの勢力範圍に入り、其の他の沿岸の要地は、他國の占有に歸し、開港場に於ける各國居留地は、事實上清國の治外に立てり、而して義和團の内亂以後、各國は多少の兵を永く北清に駐むるに至れり。

我が國は公使館を北京に、總領事館を上海・天津に、領事館を牛莊・芝罘・重慶・漢口・杭州・廈門・沙市・福州・蘇州に置き、上海總領事館の分館を南京に置く。

二三、産業。

南部は米、北部は麥・大豆を産し、阿片・蠶絲・茶・綿の産も亦た多し。牧畜は盛んにして、騾及び驢は北部に、駱駝・綿羊・山羊は蒙古に、豚は到る所にこれを養ふ。鑛物には鐵及び石炭の非常なる量あり、又東洋特有の玉は崑崙山系より出づ。

南京
支那
南京
支那

絹織物及び陶器の製造は南部に盛なり、食鹽は政府の專賣する所なり、厘金税の制は内國商業上の障害をなす。

外國貿易上全國の中心は上海にして、内地にありては漢口、北清にては天津、南清にては廣東なり。最も重要な輸出品は生糸及び茶にして、最も重要な輸入品は金巾及び阿片なり、即ち生糸を賣りて金巾を買ひ、茶を賣りて阿片を買ふものと云ふべし。我が國との貿易も近來盛大となり、我が國は米、大豆、綿肥料等を此の國より輸入し、綿織絲、水産物、銅、マ、チ等を此の國へ輸出す。

輸出入額は凡そ六億五千萬圓にして、開港場は陸路貿易場を合せて左の三十八所なり。

盛京省牛莊、直隸省秦皇島、天津、山東省芝罘、江蘇省

Ninchwang

Chifu

上海、吳淞、蘇州、鎮江、江寧、浙江省杭州、寧波、溫州、福建省福

usung

Keelung

州、三都澳、廈門、廣東省汕頭、廣東(廣州)、三水、江門、甘竹、拱北、瓊

Canton

Keelung

州(海口)、北海、安徽省蕪湖、江西省九江、湖北省漢口、沙市、

Peking

Wuhan

Shanghai

宜昌、湖南省岳州、四川省重慶、廣西省梧州、南寧、龍州、

Yokohama

Yunnan

Langchow

雲南省思茅、蒙自、猛印、蒙古賣買城、西藏亞東、

Siam

Lhasa

二四、交通。

南部には揚子江、珠江の如き大河あり、特に揚子江の下流地方は運河縱横に通じ、水利至大なり、唯有名なる大運河は頗る填塞して、糶米運上舊時の觀を持せず。揚子江の水利は至大にして、宜昌より漢口を経て上海に至るまで、大汽船を通じ、我が大阪商船株式會社も亦た此の航路を營業す。近時宜昌より、三峽の嶮を通じて、上流へ汽船の航通を

南船北馬

開くの計畫をなすものあり。沿海諸港の航海も亦た盛んにして、我が日本郵船株式會社は舊時よりこれに従事し、近時大阪商船株式會社も南清航路を開通せり。

清國內地の交通上特に注意すべきは鐵道、近來の發達なりとす、北京より天津を経て山海關に達するものは、延びて南部滿洲鐵道に連絡す、南部滿洲鐵道はシベリア鐵道の一支線にして、奉天府を経て大連灣及び旅順口に達するものなり。而して北京より南西に進み、保定に達せるものは、更らに南方に向ひ、工事中にして、終には漢口に達すべき豫定なり、又吳淞、上海間に短距離の鐵道あり、以上は殆んど皆外國人の掌中にあり。

内地には手車と稱する、特種の車ありて、運搬の用に供す、

一輪にして、往々帆を附するものあり、電信及び郵便は稍發達し、海陸共に内外國へ通信を缺かず。

二五、地方誌。

支那本部、直隸省の北京は清國の首府にして、市街は圓

Peking

むに堅固なる城壁を以てす、極めて不潔なり、人口は百六十萬と稱す、我が公使館の設けあり。

天津は北京の咽喉、北清

Tientsin

貿易の中心、直隸總督の駐在地にして、白河の岸に位し、交通便利なり、冬季は河水氷結す、天津より北方に當り開平の炭坑あり、河南省の開封は古の洛陽、陝西省の西安は古の長安、甘肅省の蘭州は陝甘總督の駐在地なり、江蘇省の蘇州は吳の故都にして、南京の通稱ある江寧は兩江總督の駐在地なり、上海は揚子江に通ずる黃浦江の岸にあり、外國貿

南京の市街は規模廣大なり

Nanking

Yangtze

Shanghai

易の中心にして、本邦在留人の數甚だ多く、我が總領事館あり、近傍に江南機器局あり。江西省の九江は陶器の産全國に冠たり。浙江省の杭州は絹織物の産最も多く、又海嘯の奇觀あり、温州は蜜柑の産地、寧波は我が遣唐使の着せし所なり。福建省の福州は閩浙總督の駐在地、福建水師の根據地にして、近傍に馬尾船政局あり、廈門は我が臺灣に對して最も主要なる位置を占め、本邦在留人の多きこと上海に次ぐ。廣東省の廣州は通稱廣東の名あり、人口凡そ二百萬、兩廣總督の駐在地にして、南清貿易の中心なり。四川省は北境に蜀の棧道あり、長江に三峽の嶮ありて、自から別天地を成し、面積殆んど我が國の全土に等しく、其の人口は遙かに我が國の總人口より多し、其の成都は四川總督の駐在地なり。

東三省と稱す

り。雲南省の雲南は雲貴總督の駐在地なり。湖北省の武昌は湖廣總督の駐在地にして、赤壁は此の近傍にあり、漢口は漢江長江の合流點に位し、人口は凡そ八十萬、内地商業の中心にして、特に茶の取引盛んなり、對岸に有名なる製鐵所あり。

滿洲

清朝開基の地にして、今三省に分る、氣候は大陸性

にして、寒暑共に甚だし。盛京省の奉天(盛京)は滿洲の中心

なり、ロシアの經營に係る東清鐵道は、シベリア鐵道より分

岐し、滿洲を過ぎてウラジナストクに達し、又南部滿洲鐵道

は其の一支線にして、旅順口及び大連灣に達す、滿洲の現状

はロシアの勢力範圍たるを免れず、遼東半島は日清戰役の

遺跡多く、其の沖なる海洋島は黃海の戰役に名高し。

蒙古 Mongolia
 蒙古は外蒙古の中心なり、牧畜甚だ盛んにして喇嘛教専ら
 行はる、國境の賣買城はシベリアのキクタと相連り、其の間
 一木柵を隔つるのみ。

新疆省 此の地は古の西域にして、又伊犁と稱す、天山に
 よりて二部に分たれ、天山南路は東トルキスタンにして、タ
 リム河の灌域に屬し、羅布湖其の中にあり、大部は砂漠なり、
 天山北路はジンガリアにして、伊犁河の灌域に屬し、地味多
 くは肥沃なり、廸化は首府なり、又伊犁府は國境に近く、北京
 を距ること一千四百里の所に位す。

青海 Kokonor
 清國の中央を占め、人口極めて疎なり、黄河揚子江
 の分水界を成し、又同名の湖あり。

西藏 Tibet
 其の地勢は世界第一の高原なること前に出づ、喇
 嘛教の教主は首府拉薩に住し、兼ねて政治を主宰す、北京を
 距ること千八百里、北京政府の指揮を受くれども、鎖國して
 外國人を入れず、現今にありては地球上地理最も不明なる
 部分なり。

清國二十二省の名及び首府左の如し。

直隸 Chili	天津	湖南 Hunan	長沙	四川 Szechuen	成都	盛京 Shengking	盛京
山東 Shantung	濟南	江蘇 Kiangsu	蘇州	江西 Kiangsi	南昌	吉林 Kirin	吉林
山西 Shansi	太原	廣東 Kwangtung	廣州	浙江 Chekiang	杭州	黑龍江 Amur	齊々哈爾
河南 Honan	開封	廣西 Kwangsi	桂林	福建 Fukien	福州	新疆 Sinkiang	廸化
省	首府	省	首府	省	首府	省	首府

安徽 Anhui	安慶	陝西 Shensi	西安	雲南 Yunnan	雲南
湖北 Hubei	武昌	甘肅 Kansu	蘭州	貴州 Kweichow	貴陽



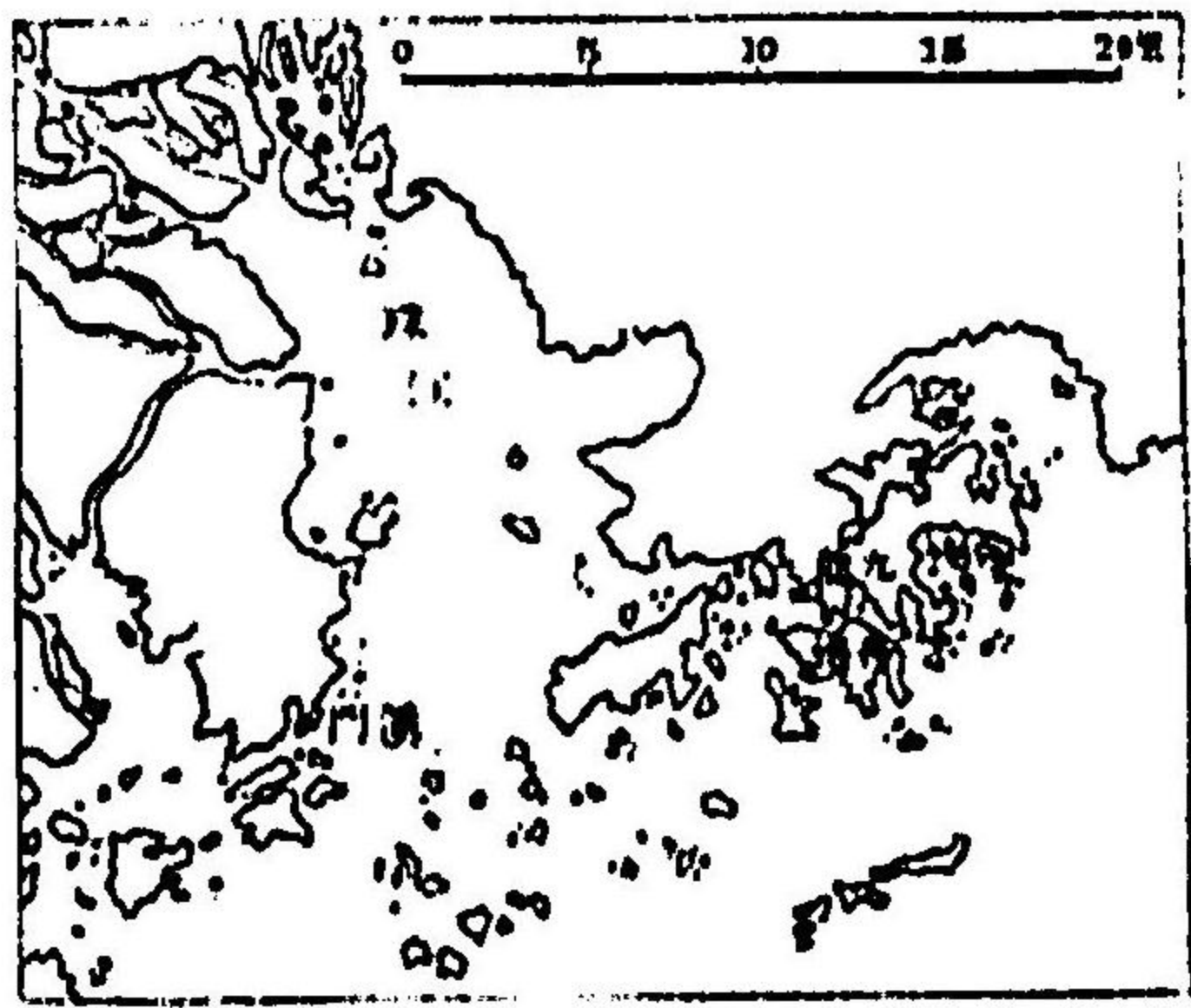
香港附近の讓與地方

第五節 アジア洲中の附屬國

二六總説

アジア洲中には東部アジアを除き、他に著しき獨立國殆んどこれなきこと、第二節に述べしが如し。東部アジアに於ても、清國の要地は諸國の占有す

香港商業の權は清國の握る人

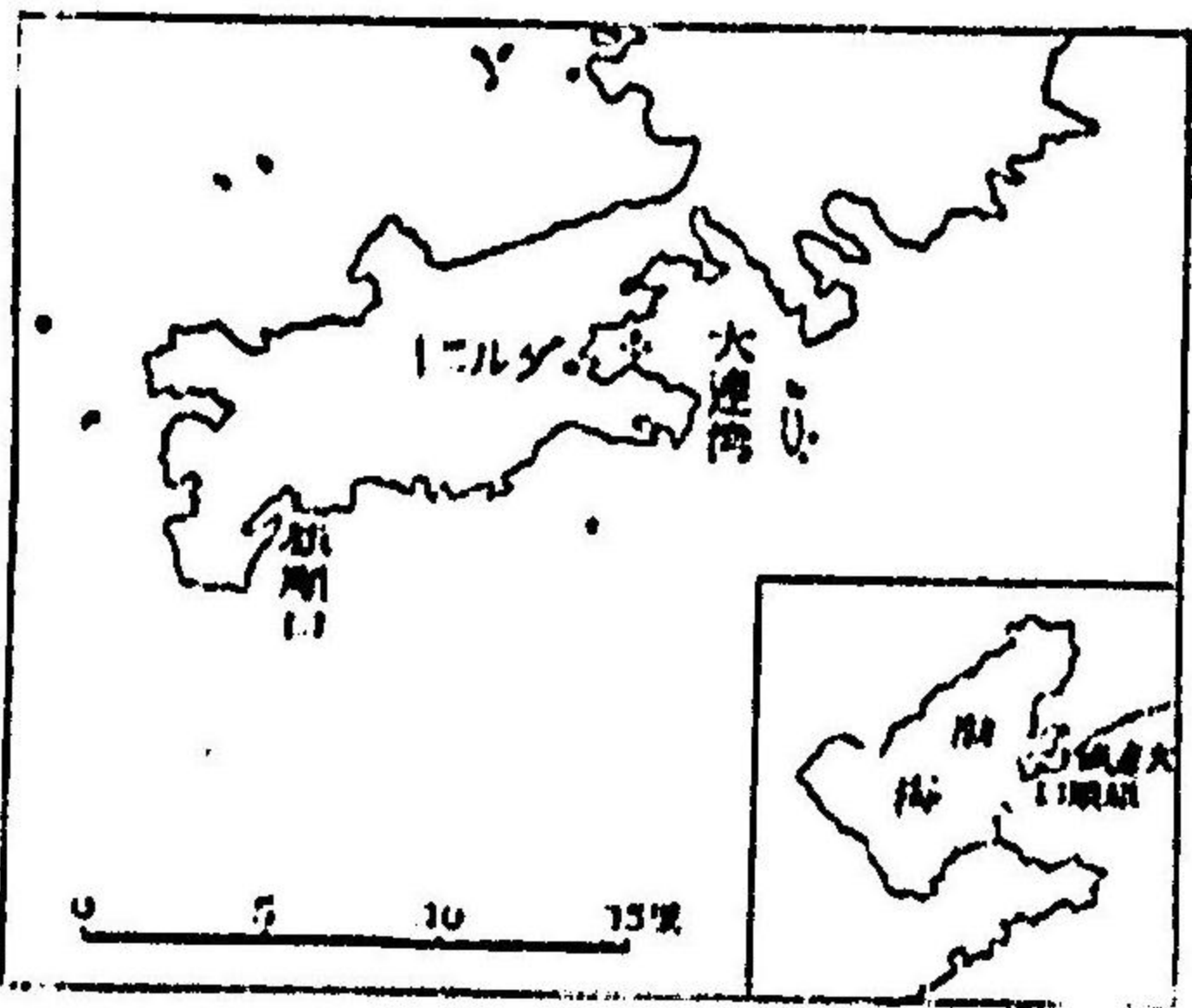


香港及澳門

る所となれり、今左に順を追ひてこれを記さん。
二七、支那に於ける占領地。
地理上支那の一部にして、名實共に清國の有に非ざるものは、香港及び澳門なり。

●香港は珠江の河口に近き一小島にして、對岸の九龍と相対して良港を成す、其の都邑をVictoriaと云ふ、阿片戦争の結果として、清國よりイギリスに割讓せしものにして、今はイギリスの支那艦隊根據地なり。此の地は東洋貿易の中心にして、物貨は先づ此の地に集りて、後四方に散ず、

遼東半島は日清戦役の結果一且我が有となりしが三國の忠告によりて還附せしものなり



旅順口及び大連灣

占領地は旅順口・大連灣・威海衛・膠州灣・廣州灣なり。
旅順口及び大連灣に對し、ロシア國は壯大なる經營を施

我が國との貿易も盛大にして、在留本邦人の數頗ぶる多く、我が領事館の設けあり、又日本郵船株式會社汽船の航路に當る、對岸の九龍は香港の讓與後、清國より割讓せしものなり、近時イギリスは香港防禦の爲め、九龍附近の廣大なる地域を更に清國より得たり。澳門は珠江三角洲の一部にして、ポルトガル人夙に移住し、遂に其の領地となせり。

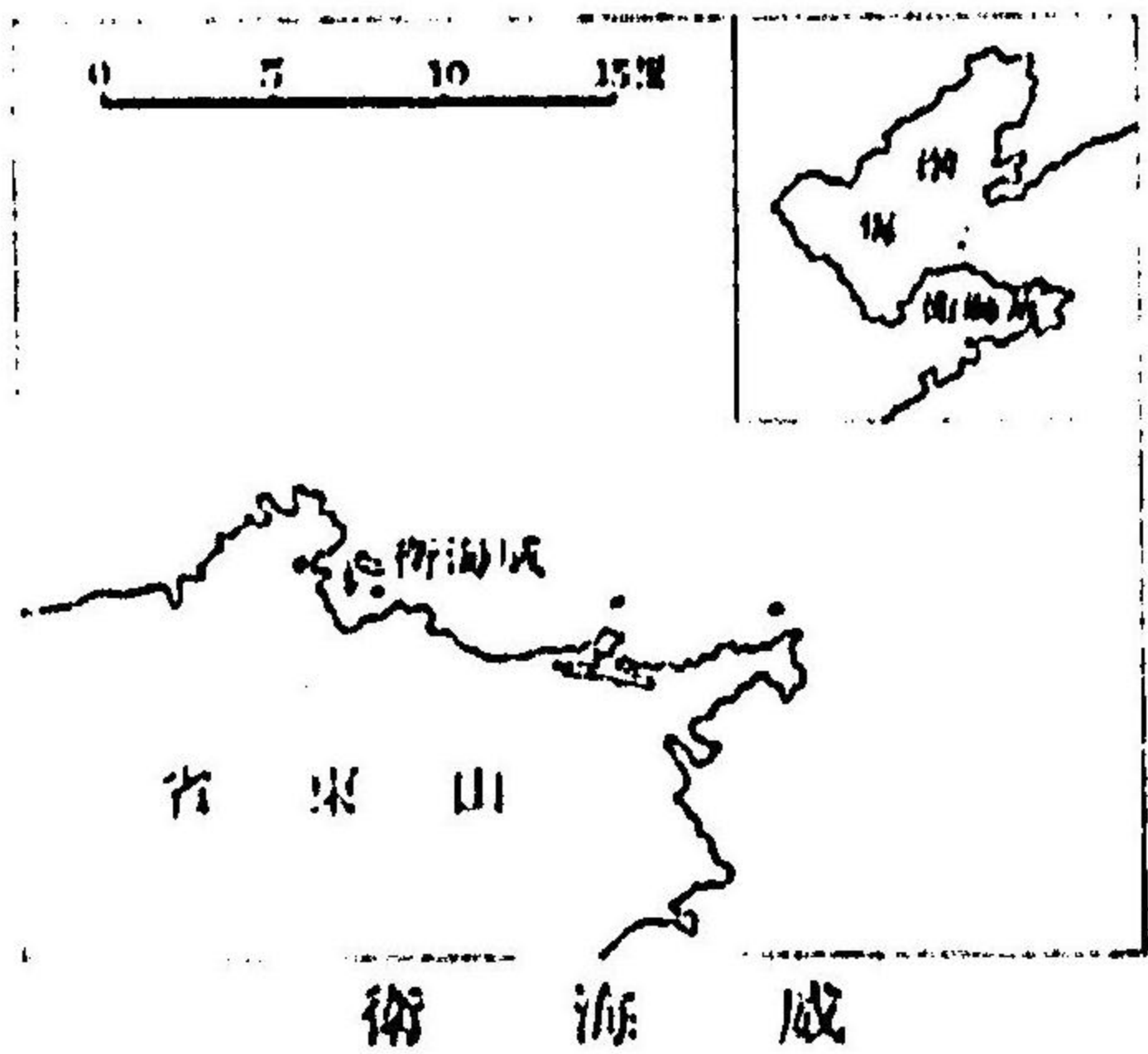
名義上の借地にして、事實上の

し、其の四近を以てロシア帝國の關東省とし、又大連灣の市街にはダルニーの名を附せり、旅順口はロシア太平洋艦隊の根據地として、すべて他國船舶の入るを禁じ、大連灣の大部はこれを開放す。又義和團の亂後、滿洲全土も亦たロシアの勢力範圍に屬し、シベリア鐵道の支線は滿洲を通過して、旅順口及び大連灣に達せり。

威海衛は山東半島の北岸にあ

Wei-Hai-Wei

り、旅順口と共に渤海の門戸を成し、もと清國北洋艦隊の根據地たりしが、日清戦役の際此の地に於て全滅せり、今はイギリスの軍隊ここに駐屯し、ロシアの旅順口及



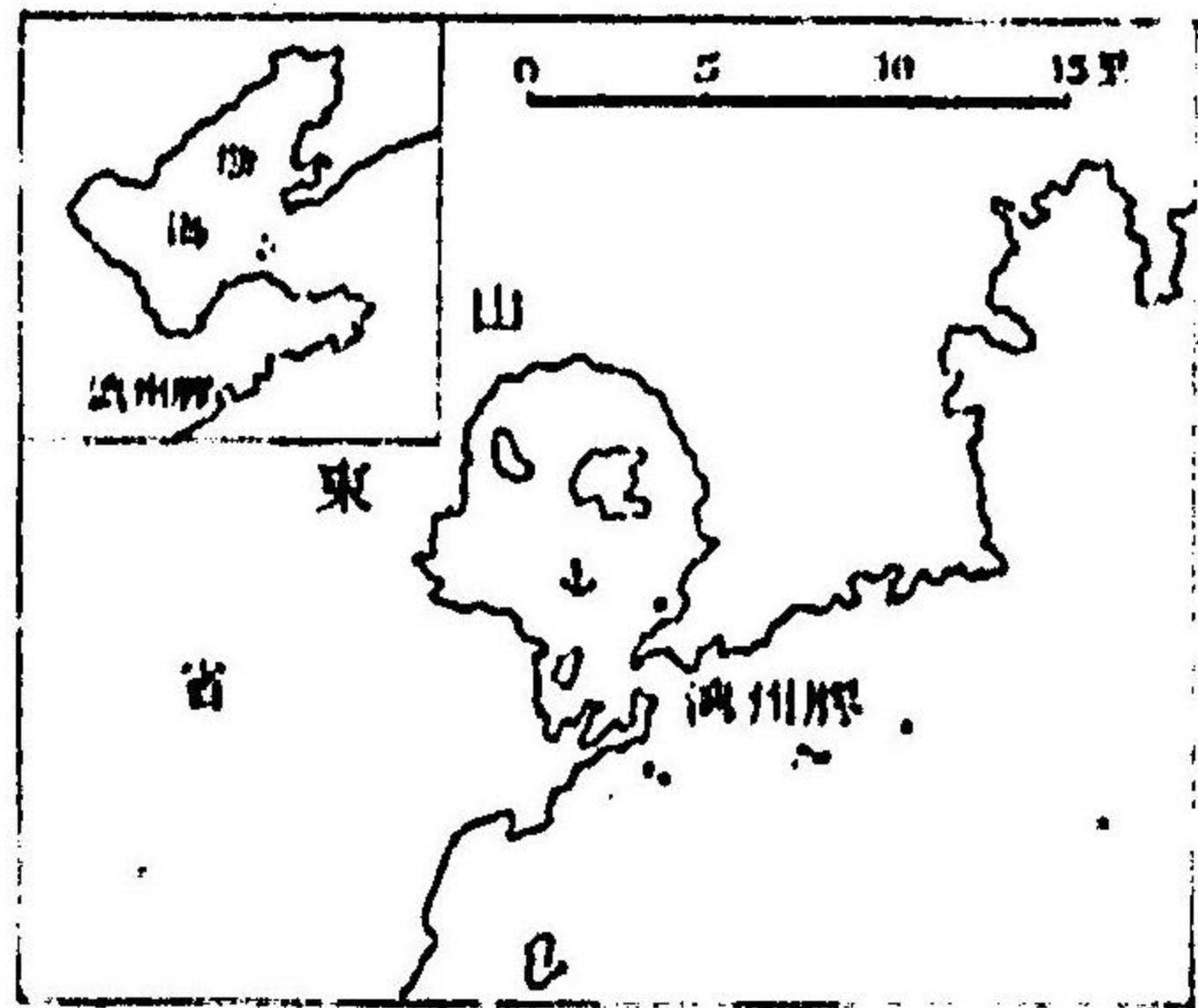
威海衛

び大連灣を占有すると同期間これを占有するの承認を清國より得たり。

膠州灣

は山東半島の南岸にある良港にして、北清に對し

重要な位置を占む、ドイツの宣教師殺害の結果、清國は遂にドイツの爲めに灣及び其の四近を占領せらるゝに至れり。



膠州灣

廣州灣は雷州半島の東側にあ

Kwang-chau

り、灣の四近はフランスの占領する所なり、此の地はトンキン灣の防禦、フランス領印度支那の保安上、至要なる位置にあり。

二八、北部アジア。

北部アジアはロシア領なるシベリアにして、面積甚だ廣

Siberia

く、凡そ我が國の三十倍あり、南境の山脈は溫暖なる南風を遮ぎり、北は一面打ち開けて北氷洋よりの寒風に吹き暴さらるゝが故に、氣候概ね寒冷なり。其の區域三部に分る、北緯六十五度以北は凍土帯と稱し、地下深く凍結す、これより以南五十五度までは森林帯と稱し、森林多し、其の以南は曠野帯と稱し、農産に富む。オブ・ホニセイ・レナ、黒龍江の四大河と、バイカル湖とは漁船を通じ、水利至て大なれども、冬季氷結するの不利あり。レナ河口は世界最寒地の一にして、河口の附近には往古巨象の遺骸多し、屬島の有名なるものは樺太にして、我が千島と交換せしものなり。

ロシアの行政上シベリアの西部は内務省の直轄とし、其



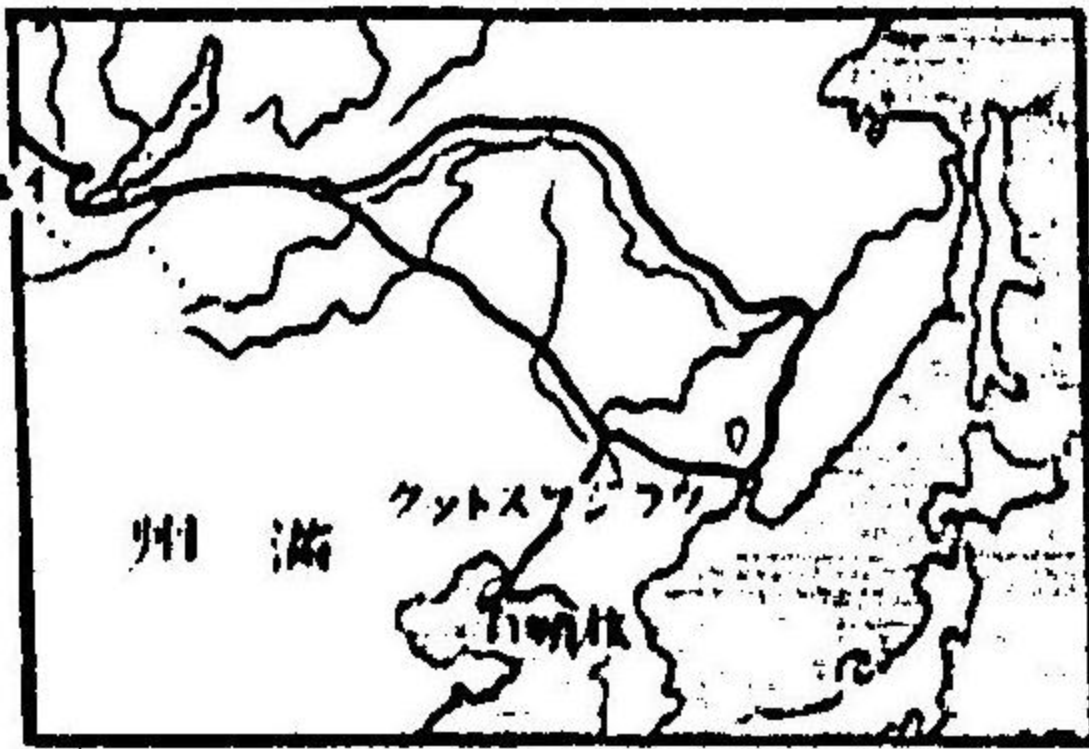
シベリアの犬挽

の他は二つの總督管區に分つ、シベリアの兵備は近時著しく増大せられたり、其のコーサック兵は屯田の制にして、驍勇の聞えあり、又ウラジサストク軍港の防備は極めて堅固にして、冬季も砕氷船によりて、出入自在なり。

農産畜産及び鑛産に富み、特に金の産出、近來次第に増加し、又カムチャツカ半

Kamchatka

島四近の海上は、水産極めて豊富にして、世界三大漁場の中に數へらる。交通も郵便電信の便あり、又犬橋ありて、運搬を助く、而してシベリアの交通上特に記すべきは、有名なるシベリア大鐵道なり。



シベリア大鐵道の東部

シベリア大鐵道は、西はロシアのチリヤピンスクより起り、中アジアのオムスクを經、オノ河を越え、トムスクの南方を過ぎ、シベリア中部の都なるイルクツクに至り、バイカル湖の岸に達し、進んで黒龍江水運の中心たるゾラゴウ、エスタニススクを過ぎ、カバロフスクを經、ウラジサストクに達すべき計畫にして、全長殆んど

Khabarovsk

Blagoveshchensk

Irkutsk

Tomsk

Omsk

Chelyabinsk

一月餘にして世界を一周することを得

五千哩あり、此の中バイカル湖以西は既に開通し、湖上は汽船にて連絡し、カバロフスクよりウラジナストクまでも亦た落成せり。カバロフスクとバイカル湖との間は、工事困難なるにより、別にシベリア鐵道の幹線より分岐し、滿洲を経て、ウラジナストクに達すべき東清鐵道を經營し、これより又支線を出し、盛京を経て旅順口及び大連灣に達す、これを南部滿洲鐵道と稱す。東清鐵道は其の本支線を通じて全長凡そ一千九百哩、今や殆んど全く開通せり。シベリア鐵道線路全部完成の日には、世界の交通商業軍事外交上極めて重要な關係を有すべし。

ユーカサス及び中アジア。此の二地はシベリアと共に、ロシア領アジアの全部を成すを以て、左に附記すべし。中

アジアは西に裏海、中にアラル海、東にバルカシ湖を控へ、シルダリア・アムダリア・伊犁等の大陸河これに入る、これ等の鹹湖は往古内海の遺跡なり、裏海鐵道は裏海の東より起り、清國の西境に達す、オムスク及びタシケントは各總督の駐在地にして、サマルカンドは帖木兒の舊都なり。ユーカサスは黒海及び裏海の中間に位し、人民は容貌の美なるを以て名高し、バークーは有名なる石油産地にして、此の石油は我が國にも輸入す。

二九 南部アジア。

南部アジアはシム王国及びヒマラヤ山系の二小國(第二節に出づ)を除くの外、他は皆西洋諸國の屬地なり。今左に順を追ひてこれを述ぶべし、南部アジアは地理上マライ諸

島印度支那及び印度の三部に分る。

甲、マライ諸島、^{Malay} アジア及びオーストラリア兩大陸の間に横はる諸島を東印度群島と云ふ、此の中精密に論ずれば、一部はアジアに屬し、一部はオーストラリアに屬すべきものなり、而してバリ、ロンボク兩島間の海峡は、水著しく深く、且つ生物分布の境界線を成すが故に、これを以て兩大陸の境界とし、此線をワレリス氏線と云ふ、爰にマライ諸島と云ふは、即ち東印度群島の一部にして、ワレリス氏線によりて、アジアに屬すべきものを總稱し、今はオランダ、イギリス、北アメリカ合衆國これを分ち領す、オランダ領は面積最も大にして、ジャバ、スマトラ全部、ボルネオの大部を含み、^{Java} ジャバ、^{Batavia} バタヴィアに總督府を置きてこれを治む。 ^{Java} ジャバ、^{Batavia} 及びス

ジャバの甘蔗類は世界の四分に當る



ワレリス氏の線圖

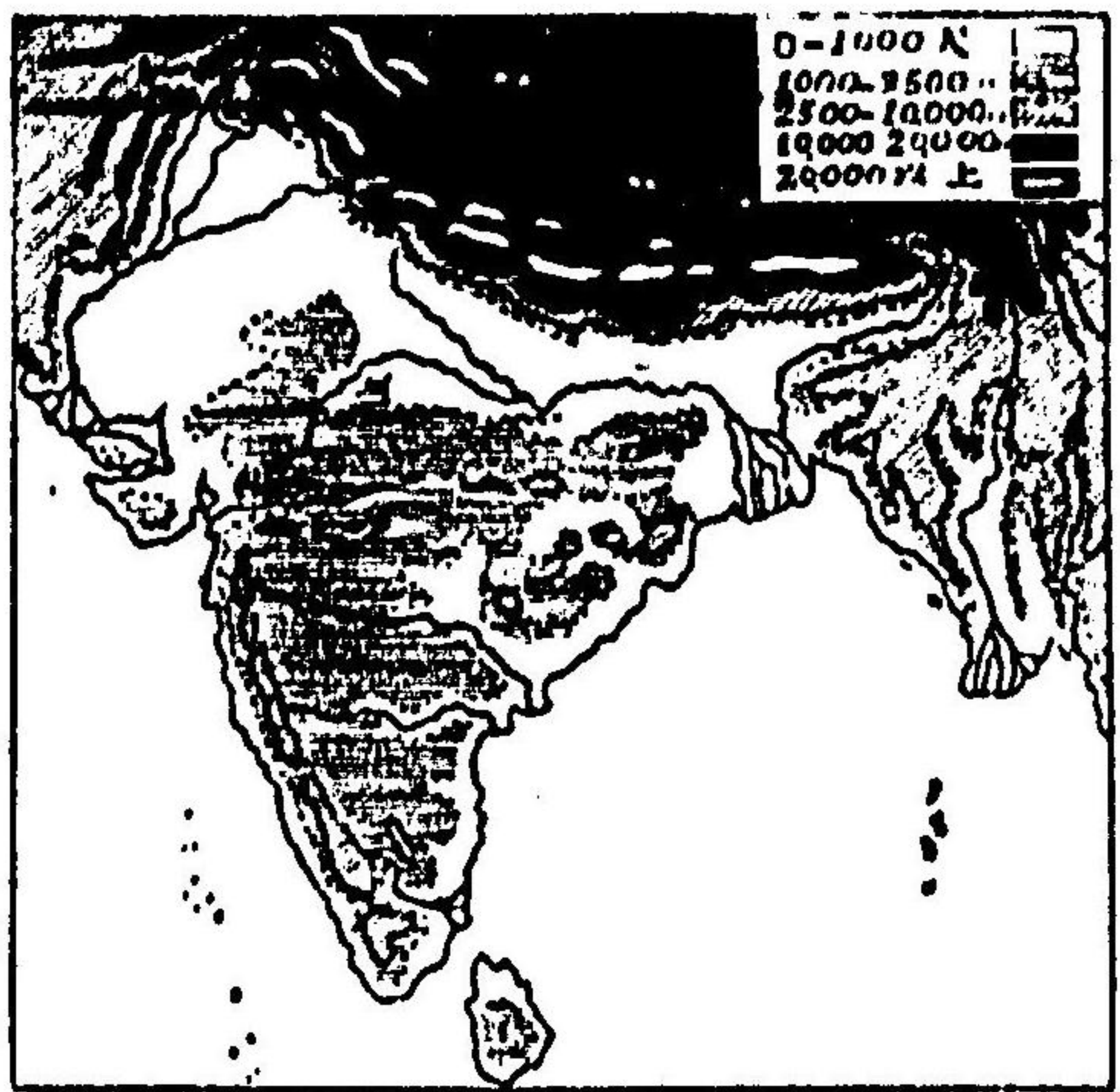
マトラは砂糖、^{Borneo} ボルネオは金、^{Bangka} バンカは錫に富む、イギリス領はボルネオの北部のみに過ぎず、北アメリカ合衆國領は、^{Philippine} フィリピン諸島にして、此の中最大なるルソン島は、^{Iuzon} ルソン海峽を隔て、我が臺灣の

南に對す、烟草及び砂糖の産多く、我が國に輸入する額も少からず、首府をマニラと云ふ、本邦在留人頗ぶる多く、我が領事館あり、もとスペインの領地なりしが、合衆國領に歸せし後も、土人未だ全く服従せず。

乙、印度支那、^{Indo-China} フランス領、^{Touking} シム王国、イギリス領の三部に分れ、^{Touking} シムは獨立國なり。フランス領印度支那は

安南・交趾支那・カンボディアの四部に分れ、トンキン・メコンの二河これを貫流し、南京米の産出甚だ多く、盛んに本邦に輸入す、交趾支那のサイゴン^{Saigon}は總督の駐在地にして、フランス國郵便船こゝに寄港す。イギリス領は海峽殖民地とビルマとに分れ、海峽殖民地はマライ半島の南部を占め、其のシンガポールは南端の小島にあり、交通の要點に位し、日本郵船株式會社の汽船こゝに寄港す、これより北西にヒナンあり、亦た其の航路に當る、シンガポールには清國人最も多數を占め、本邦人も少からずして、我が領事館の設けあり。ビルマは行政上イギリス領印度の一部を成し、サルウィン・イラワディーの二河これを貫流し、南京米の産出に富む。

丙、印度。地勢上ヒマラヤ山系印度大平原、デカン高原の



印度の地勢

三部より成る、ヒマラヤ山系は非常なる高度を有し、ゴリサンカー(一名エヴェレスト ^{Gaurisankar Everest} 峯)は其の高さ凡そ二萬八千尺にして、世界第一の高峰たり。印度大平原はインダス^{Indus}及びガンデス^{Ganges}二大河の貫流する所にして、ガンデス河は婆羅門教徒の最も神聖として、視る所なり、ブラマプトラ河^{Brahmaputra}を合して、河口に大三角洲を成す、其の面積世界第一にして、又其の四近は地球上最多の雨量を有す、氣候は概して乾熱・濕熱・冷涼の三季節に分る。

人口凡そ三億、ヒンヅー種最多數を占め、婆羅門教最も行はる、階級の制嚴にして、僧族第一位を占め、階級異なるものは互に交通せず、人種及び言語の數甚だ多く、國の統一得て望むべからず。此の國は佛教起源の地にして、其の建國極めて古るく、アジア文明の母とも稱すべきものにして、我が國上古の發達は此の國文化の輸入大に與て力あり。然るに今は全くイギリスの掌中に歸し、行政上イギリス領印度の殆んど全部に當る、これを大別して直轄部及び藩部とし、直轄部には總督・知事等を置き、藩部は土人の王の自治に任じ、全土を總轄する爲め印度大總督を置く。

天産には甚だ豊かにして、農産には綿・米・阿片・茶・藍あり、林産も亦た頗ぶる多く、榕樹の巨大なるものは、一樹にして大

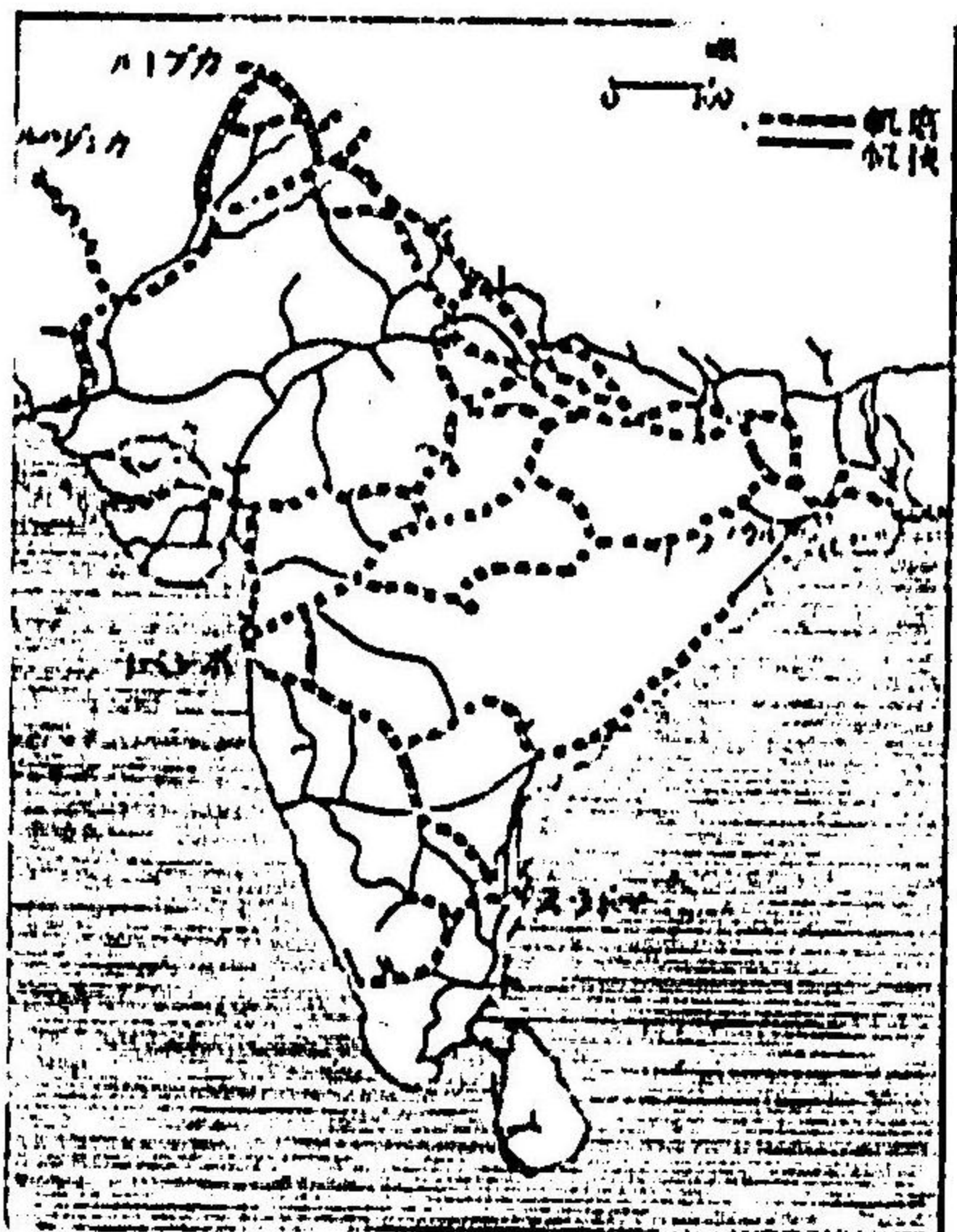
我が國綿織の原料は、此の國より來る。

森林を成すに至る、虎・獅子及び毒蛇の害は年々少からず、印度支那に於けるが如く、象は家畜として用ひらる。

貿易は甚だ盛んにして、輸出入額十四億圓を超え、主要輸出品は綿・米・黃麻・茶・阿片等にして、主要輸入品は綿布・金屬類・機械・砂糖等なり。其の輸出入國は重もにイギリス本國なれども、其の次ぎは清國にして、阿片の輸出甚だ多し、又我が國は此の國より盛んに綿及び藍を輸入す。

ガンヂス・ブラマプトラ・インダス諸河の水利と、全長二萬四千哩の鐵道とによりて交通至便なり。

大都會の數甚だ多く、就中カルカッタ・ボンベイ・マドラス・ハイダラバドの四府最も名あり、カルカッタは印度大總督の駐在^{Hydrabad}地にして、ガンヂス河の三角洲に位し、印度第一の都會に^{Calcutta}



印度の鐵道

は東岸にあり、ボンベイに次ぎ、有名なる都會なり。

印度半島の南東にあるセイロン島は、釋尊の布教地として名高く、其のコロンボは世界交通の衝に位し、日本郵船株式會社汽船の航路に當る。セイロンはイギリスの行政上一の直轄殖民地を成す。

して、貿易も亦た盛んなり。ボンベイは西岸にあり、人口及び貿易共に、カルカッタを凌ぐの勢あり、日本郵船株式會社の航路に當り、我が領事館の設けあり。マドラス

印度半島の中に、ポルチガル及びフランス領あれども、其の面積は至て小なり。

三〇、西部アジア。

西部アジアも亦たアフガニスタン・ペルシア及びオーストリアを除くの外、皆西洋諸國の領地なり、(第二節を見よ)地理上イラン諸邦、アラビア及びアジアトルコの三部に分る。

甲、イラン諸邦。アフガニスタン・ペルチアスタン及びペルシアより成る、*Baluchistan* はイギリスの保護國にして、ケラートの酋長これを總轄す。

乙、アラビア。地勢高原にして、大抵砂漠なり、護膜及び馬を産す、*Arabia* は人民の常食なり、回教の起源地にして、マホメットの生地たるメッカ、其の死地たるメデナ皆こゝにあり、*Mekka* *Medina*

世界第一の半島なり

紅海は世界
中最暖の水
と有す

島は殆んどエジプト及びトルコの支配に屬し、又獨立の酋長あれども、實際上イギリスの勢力少からずして、紅海口に近きアデンは其の領地なり。

丙、アジアトルコ、地勢は一ならず、チギリス及びユーフラチス二河の流域は平地廣大なり、又死海の沿岸は世界第一の窪地にして、其の海面は地中海の面より低きこと凡そ一千三百尺、其の水非常に鹹く、人體沈むことなし、近傍は基督教の起源地にして、墳墓はバレスターインのジルサレムにあり。

第三章 ヨーロッパ Europe

第一節 總論

三一、アジア及びヨーロッパの比較。
類似の點は左の如し。

イ、三個の大半島ありて皆南に向ふ、アジアに於てはマライ、印度及びアラビア、ヨーロッパに於てはバルカン・イタリー及びアイベリアこれなり。
ロ、南東に一大群島あり、アジアに於ては東印度群島、ヨーロッパに於てはギリシアの群島これなり。
ハ、分水界の大中心は少しく南部に偏し、河流はこれより

四方に向ふ、アジアに於てはバミール四近、ヨーロッパに於てはアルプスこれなり。

反對の點は左の如し。

アジア

ヨーロッパ

イ、最大の大陸なり。

イ、最小の大陸なり。

ロ、海岸線比較的短し。

ロ、海岸線比較的長し。

ハ、雙子河多し。

ハ、雙子河なし。

ニ、大部は大陸性氣候を有す。

ニ、大部は海洋性氣候を有す。

ホ、廣大なる砂漠あり。

ホ、砂漠なし。

ヘ、邦制上に於て、大部はヨーロッパの附屬たり。

ヘ、地勢上に於て、全くアジアの半島なり。

ヨーロッパ大陸に於ては、半島及び島の面積は本陸に對し

の半島なり。

て著しき部分を占め、其の割合最も大なり、北アメリカも殆んどこれに劣らざれども、其の半島及び島の大部が北氷洋

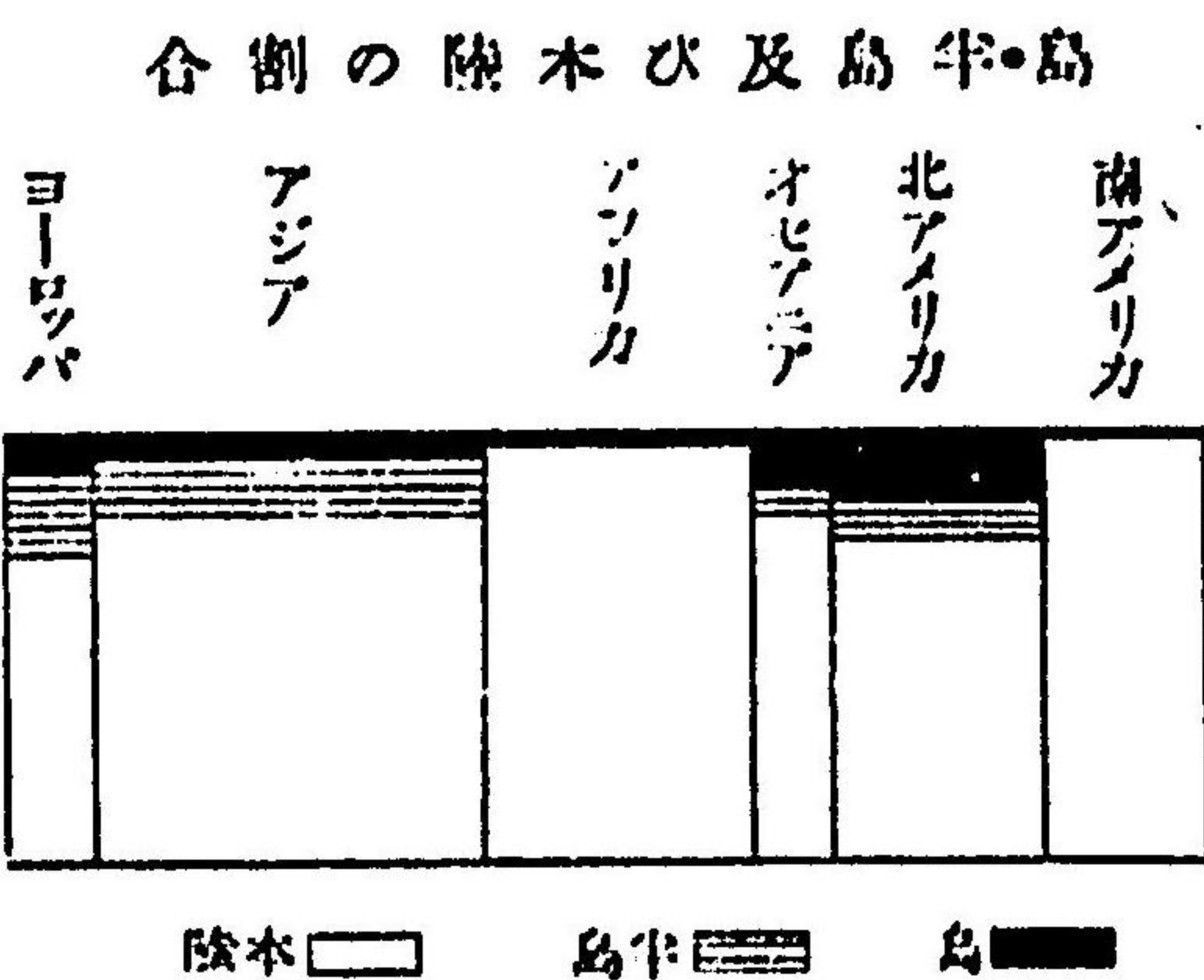
中にある缺點あり。

三三、位置。

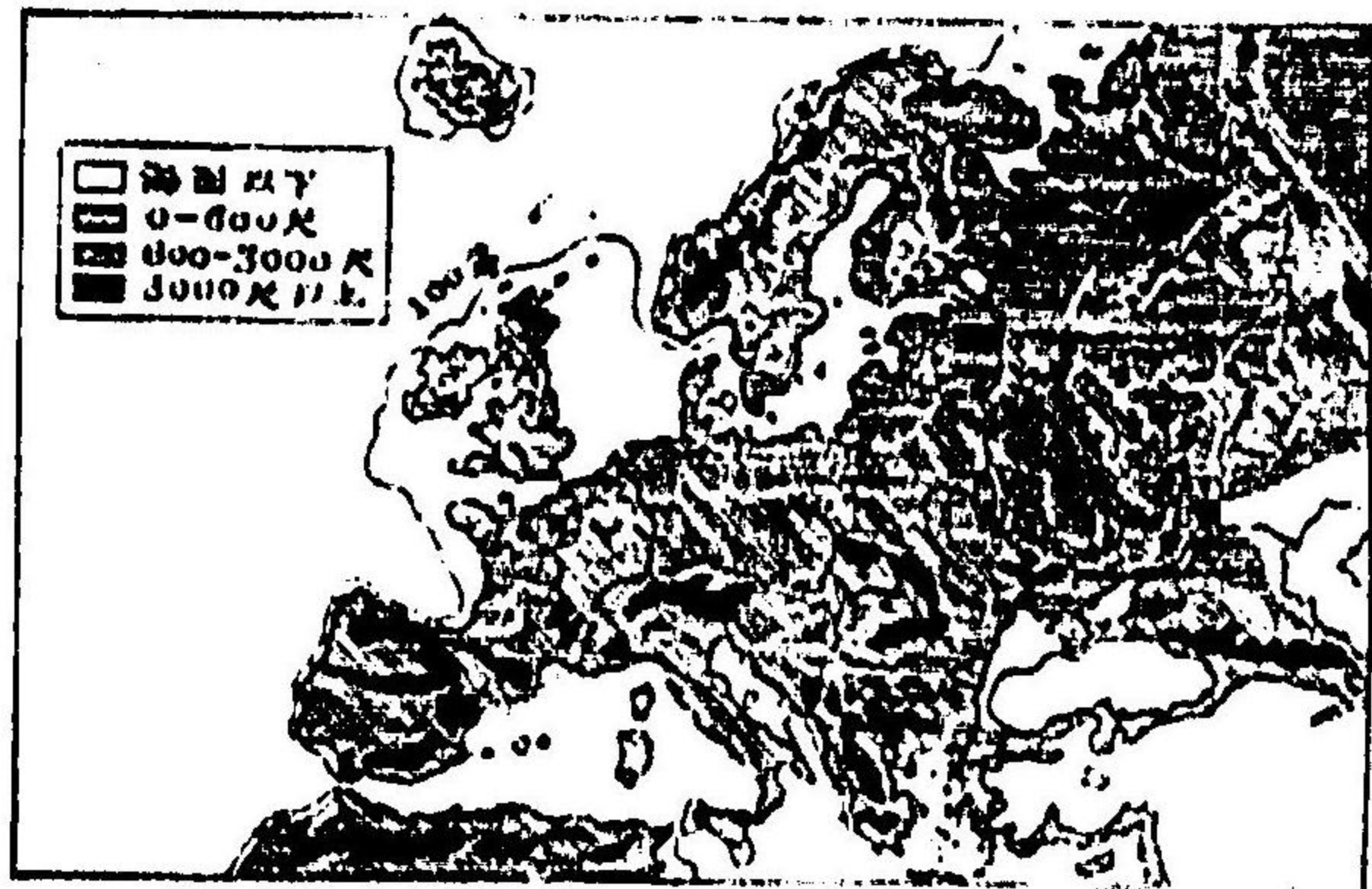
ヨーロッパの北部は少しく北極圏に入れども、他は北温帶中に位し、且つ世界陸地の中心を占む。

三三、地勢。

地勢上ヨーロッパを左の四部に大別す。



北西部の高地。スカンデナヴィア半島の全土及びイギリスの北部を構成す。

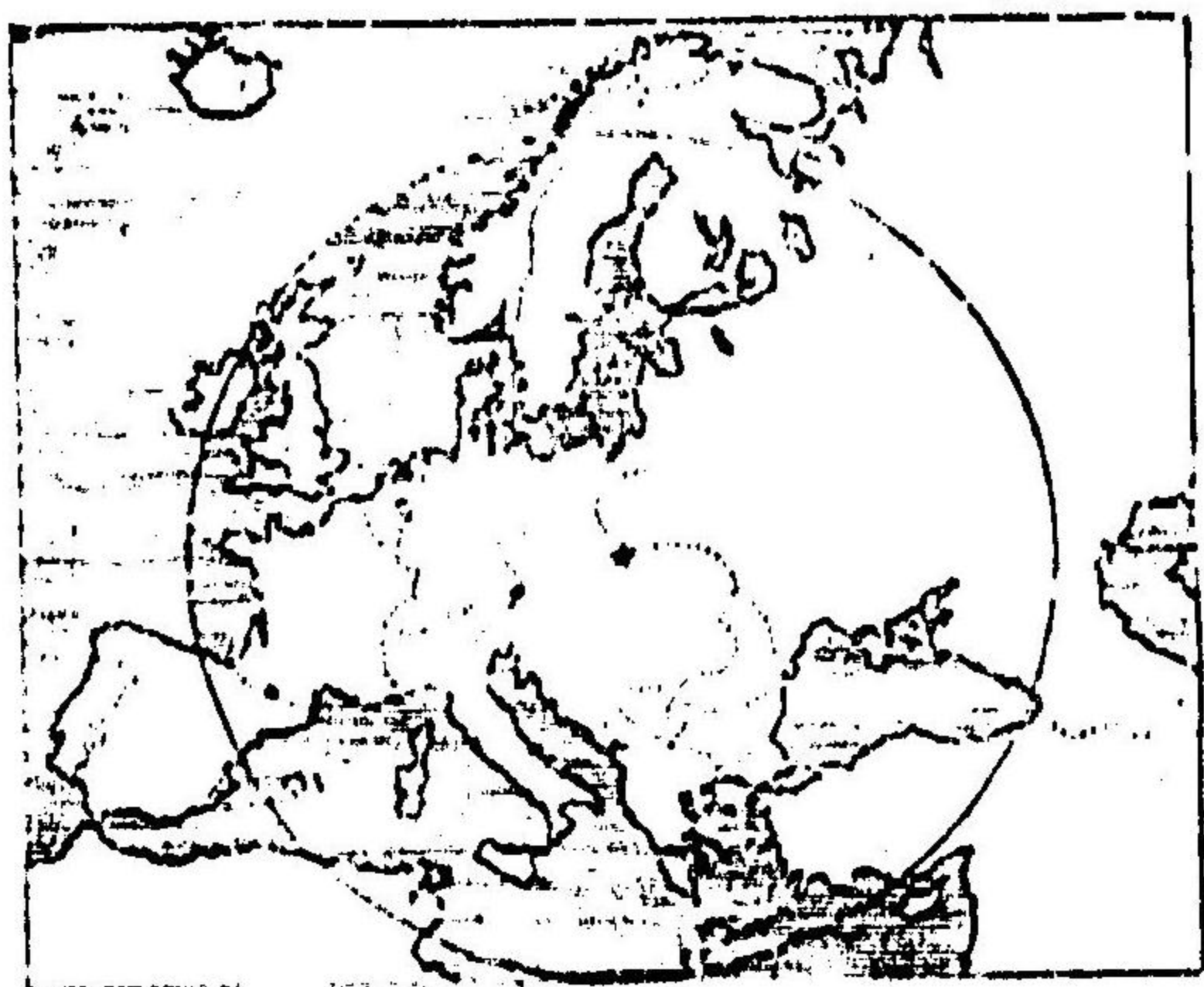


勢地のヨーロッパ

アルプス山系の地方は湖水多く、風景美にして、又氷河の現象に富む、又峠の數少からざると、鐵道、隧道の貫通とによりて、交通に支障なし。

南部の高地。アルプス山系はこれが主たるものにして、殆んど東西に走り、ピレニース山脈は其の西に連亘し、カーパシアン山脈は其の東に連る。

アルプス山系の最高點モンブランは殆んど一萬六千尺に達し、フランスの領土中にあり、其他雪線を抜ける高峯少からず。ア



離距の岸海と地内ヨーロッパ (里百五は徑半の四)

ヨーロッパは岬・半島・島の外、特に内海に富めるを以て、海岸線の長さ割合に甚だ大なり、而して海岸より五百里を離るゝ内地は至て少し。

三四、水誌。

北部の低地。一面の平地にして、西部には海岸より低き所あり、又東部は一大平原を成し、其中稍高き所はロシア諸大河の分水界を成す。

東部の高地。ツラル山脈南北に走り、ウラル山脈との境を成す、其の高度は大ならず。

ヨーロッパは河流の數多く、且つ一方に偏在せず、河口は多く開て良港を成し、運河によりて互に聯絡す、故に水利甚だ大なり。大分水界は二つあり、一はアルプス地方にして、ヨーロッパ第一の大河ダニューブDanubeはこゝに發源し、又此の地方は湖水甚だ多し、一はロシアの西部にして、ヨーロッパ第一の長流ヴォルガVolgaはこゝに發源し、又其の北西に當れる部分は湖水甚だ多し。

三五、氣候。

灣流は近海を流れ、南西の主風は此の上を吹き來るが故に、ヨーロッパの氣候は頗ぶる溫和にして、猶ほ北アメリカの西岸に於けるが如し。加ふるに此の南西風を遮ぎる山脈なく、且つ三面海にて圍まるゝを以て、ヨーロッパは東部を除

くの外、すべて海洋性氣候を有し、穀物は極北にも生じ、葡萄、橄欖の如きも高緯度にこれを見る、而して氣温及び雨量は西より東に至るに從て次第に減少す。

三六、人文地理。

人民は主として白人種に屬し、其の中ラテン・スラヴ・チャーチンLatin Slav Teutonの三大族これが多數を占む。トルコを除くの外、基督教専ら行はれ、其中舊教はラテン、新教はチャーチン、ギリシア正教はスラヴ種中に主として行はる。

ヨーロッパは地味肥沃、氣候溫和、諸種の産業に富み、且つ世界交通の好位置に位するが故に、其の邦國何づれも富強にして、我が條約國も其の數十四の多きに及べり。

世界第四の
大國

第二節 ロシア

Russia

三七、地文地理。

面積三十五萬方里、我が國の十二倍あり、全國殆んどすべてこれ一大平原にして、中央分水界の最高點に於て僅かに一千餘尺に過ぎず、東方のウラル山脈も地勢緩かにして、其の峠の如きは山として見るべからず、而して行政上、アジアとの境はツラル山脈及びウラル河と少しく一致せざることに注意すべし。

ドウ、ナ、ツ、ル、カ、ド、ン、ツ、ニ、バ、ー、等、を、始、め、と、し、大、河、の、數、甚、
Drina Volga Don Dnieper
だ、多、く、し、て、其、の、水、源、地、は、中、央、分、水、界、に、あ、り、左、岸、は、常、に、
洪水の憂を受け、隨て都邑は大抵右岸にあるは、此の國河川

の特色なり。中央分水界の北西に湖水地方ありて、ラドガ、
Ladoga

オネガの二湖最も大なり。
Onega

此の國は一面打ち開ける平原なるを以て、北氷洋よりの
寒風に吹き暴らされ、冬季は甚だ寒冷にして、河川皆氷結す。

三八、人文地理。

人口一億を超え、ギリシア正教は國教なり、皇帝は政治上
及び宗教上の主權者にして、政體は君主專制なり、陸軍兵の
多きことは世界第一にして、海軍は世界第三位に居る、最も
強盛なるバルチック艦隊は、クロンスタトを根據地とす、此の
港は冬季氷結するが故に、リバウの不凍港を以てこれに充
てんとし、其の經營に着手せり、又義勇艦隊ありて、平時はオ
デッサ及び東洋諸港間の通商に従事す。國勢甚だ盛んにし
Odesa

て、ヨーロッパ六強國の一に居る、其の領地はアジアの北部及び西部に亘り、又旅順口及び大連灣を取り、滿洲をも占領し、我が國に對して最も重要なる關係を有せり。

全國荒地少からず、然れども南部には黒土と稱する地質あり、地味豊饒にして、數十年間肥料を要せず、此の國の穀物に富めるは全くこれによる。牧畜盛んにして、名馬を産し、鑛産も亦た多く、ウラルの金及び白金は世に名高し。

内國商業上、年市は此の國の特色にして、ニジニノヴゴロフNizhny Novgorodは其の中心なり。外國貿易も次第に盛大にして、輸出品は穀物を第一とし、亞麻及び材木これに次ぎ、輸入品は器械を第一とし、綿花及び金屬器これに次ぐ、而して酒精及び酒精飲料は政府の專賣する所なり。

バルチック海より裏海へ巡洋艦を遣わす計あり

河川は運河にて連接せられ、裏海、黒海、バルチック海を互に聯絡すれども、冬季河川及び港灣氷結するの不利あり。鐵道は近來特に發達したれども、邦土の大に比すれば、尙ほ不十分なり。唯冬季は一面氷雪を以て掩はれ、橋を通ずるが故に、如何なる僻地もこれによりて交通自在なり。

三九、地方誌

セントペートルズブルグはフィンランド灣頭に位し、帝國

St. Petersburg

Finland

の首府、外國貿易の中心にして、有名なる圖書館あり、又ペートル大帝騎馬の像は街頭に立てり、我が公使館は此の地に置かる。沖合なるクロンスタットには堅固なる砲臺あり。

Kronstadt

これより南西にリガあり、此の國第三の貿易港なり、其西方にリバウの不凍港あり、ワルソーはこれより南西に當り、舊

Riga

Warsaw

叩くも鳴ら
ざる鐘打つ
も發せざる
砲



鐘王のスコス

式は此の地に於て行はるゝを法とす、有名なる大鐘及び巨砲あり、共に破損して用をなさず。オデアッサは此の國第二の貿易港にして、麻の取引多し、又黒海艦隊の根據地にして、義勇艦隊の發着所なり、其の南東クリミア半島にセバストポ
Chimer
Sebastopol

ポーランド王
Poland
國の首府なり
モスコーは國
Museum
の中央に位し、
此の國の舊都
にして、ロシア
固有の風を存
し、皇帝の戴冠

ルの砲臺あり、英佛同盟軍の激戦に名高し、モスコーの東にニジニノサゴロドあり、年市の大中心にして、其の取引高は殆んど二億圓に達すと云ふ。
Nijni Novgorod

第三節 北部ヨーロッパ

四〇、スウェーデン・ノルウェー

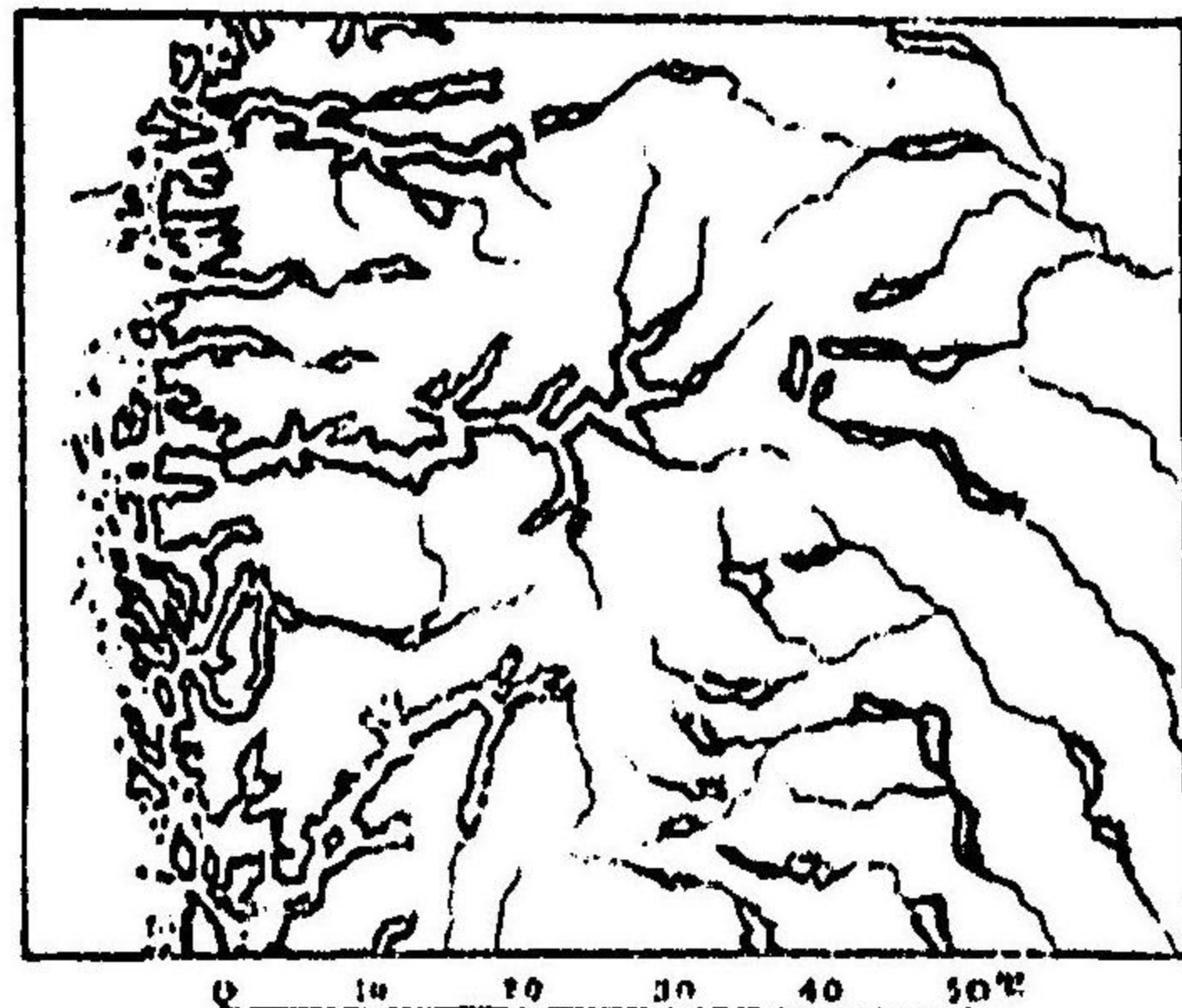
Sweden

Norway

スカンデナヴィア半島の地區を占め、分水界は西に偏し、東流する河は多く湖水を通過し、恰も湖水と湖水とを瀑布にて連ねたる觀を呈す。

西岸は狭長なる灣に富み、其の兩岸絶壁にして、海底甚だ深し、これを峽灣と云ふ、又無數の島嶼前に羅列し、以て大西
Fjord

商船の噸數
世界第四



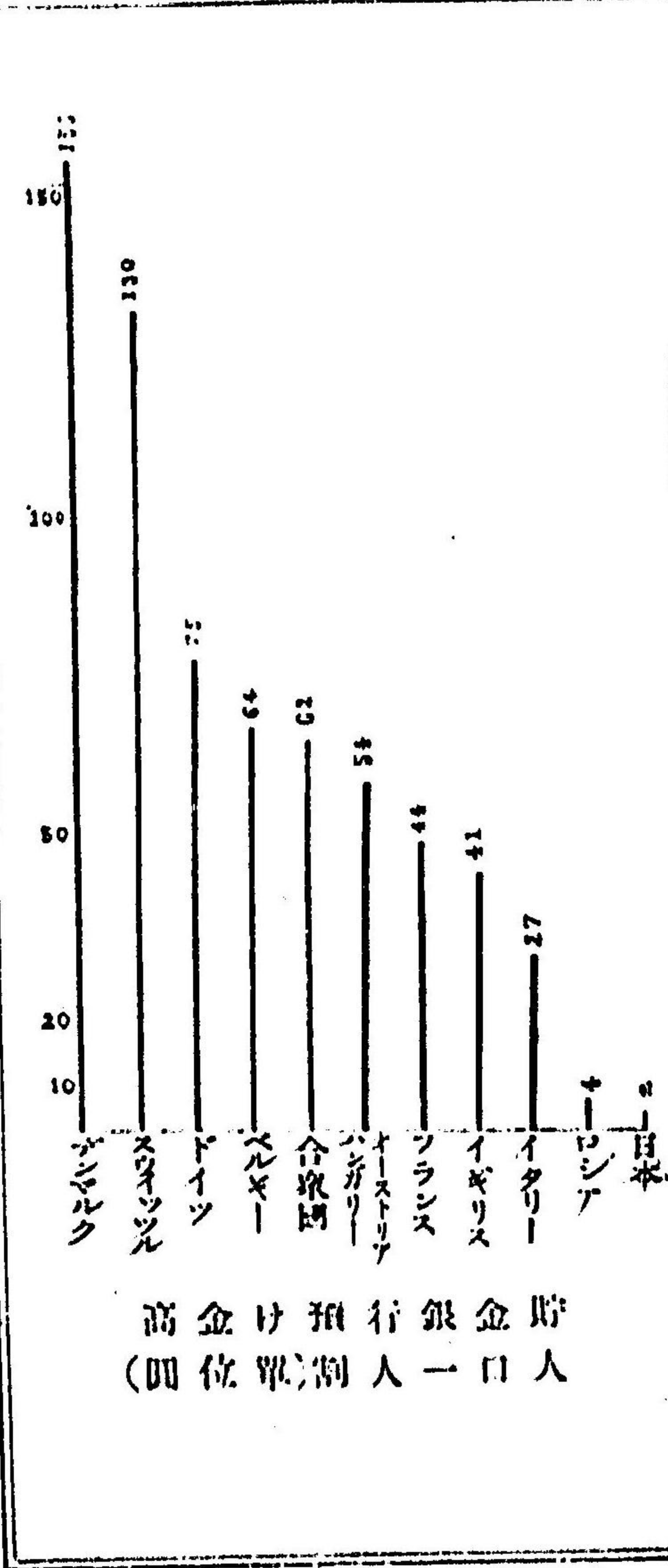
イェウルの海峡

産は極めて盛大なるを以て、我が國の如き海國にありては、これに模範を取るべき所少からず。半島の東側はスウェーデン、西側はノルウェイにして、外に對しては兩國合して一王國をなせども、内政は全く分離し、國

洋の荒波を拒ぐのみならず、灣流の衝に當り、水産極めて豊富にして、且つ沿岸は最北部までも氷結せず、これ他の高緯度地方に決してなき所なり。林産甚だ多く、材木運搬用及び漁業用の爲め、ノルウェイ商船の數は甚だ多し。此の國の水

王は此の國より彼の國へ共同演習の爲めに兵を送るに、三千人を超ゆるを得ず、且つ一年間六週日以内を限りとす。スウェーデンの首府はストックホルムにして、ノルウェイの首府はクリスチアニアなり。

四一 デンマーク
Christiania
Denmark



デンマールクはドイツの北方に突出する半島及び附近の島嶼より成る、面積は凡そ我が九州に等しく、人口凡そ二百五十萬を有する王國にして、首府をコーペンハーゲンと云ふ、國人貯蓄の風に富み、人口一人に對する貯蓄銀行の預け金高は、此の國人を以て第一とす、又我が對馬及び韓國間の海底電線は此の國人の有に係る。

此の國の主要なる殖民地はヨーロッパ本陸の北西に當れる氷州にして、火山及び間歇泉に富み、寒帯に近けれども、氣温割合に高く、流木多くして、住民薪炭の材料となる。

灣流の影響

第四節 中部ヨーロッパ

四二、ドイツ。

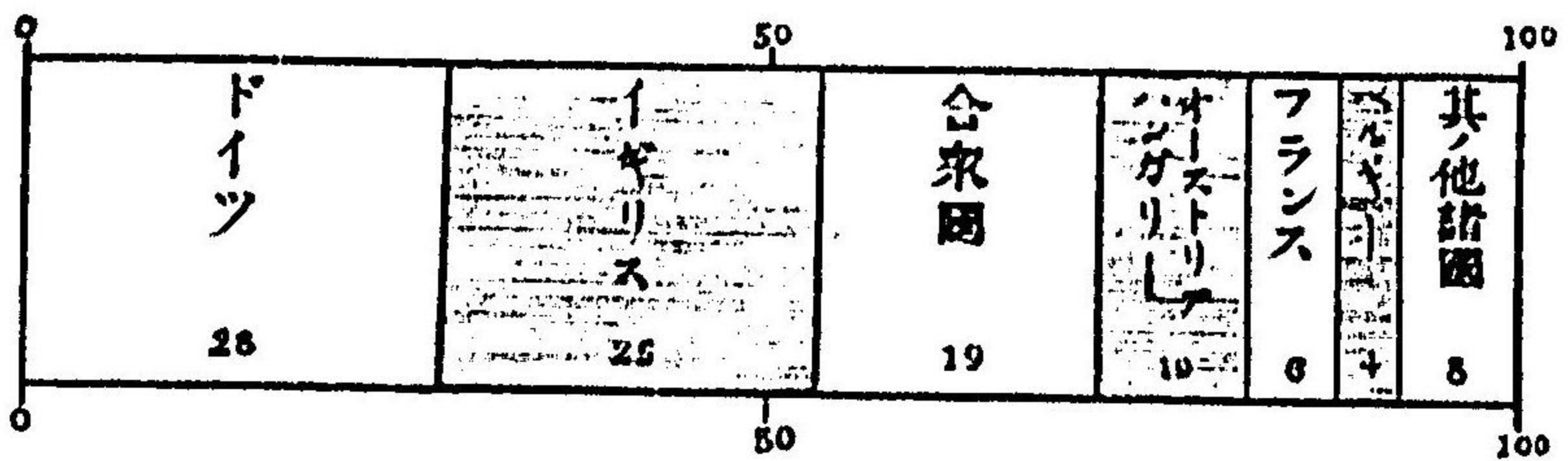
Germany (Deutschland)

面積我が國より少しく大にして、凡そ三萬五千方里、國の南部は高地、北部は平原にして、バルチック海の沿岸は大なる砂嘴多く、これをネールングと稱し、其の中に澤湖を抱く、これをハフと稱す。河流に富み、ライン河最も大なり、河畔の氣候は溫和にして、其の風景は世に名高し。

人口凡そ五千六百萬、外國特に合衆國に移住するもの甚だ多し。教育は最も進歩し、大學の數二十一に達し、實業教育は世界の模範と稱せらる、近時我が國人の留學するもの甚だ多し。

ドイツ帝國は王國四大公國六公國五侯國七自由市三國領一の聯邦より成り、ドイツ皇帝はロシア國王これに當

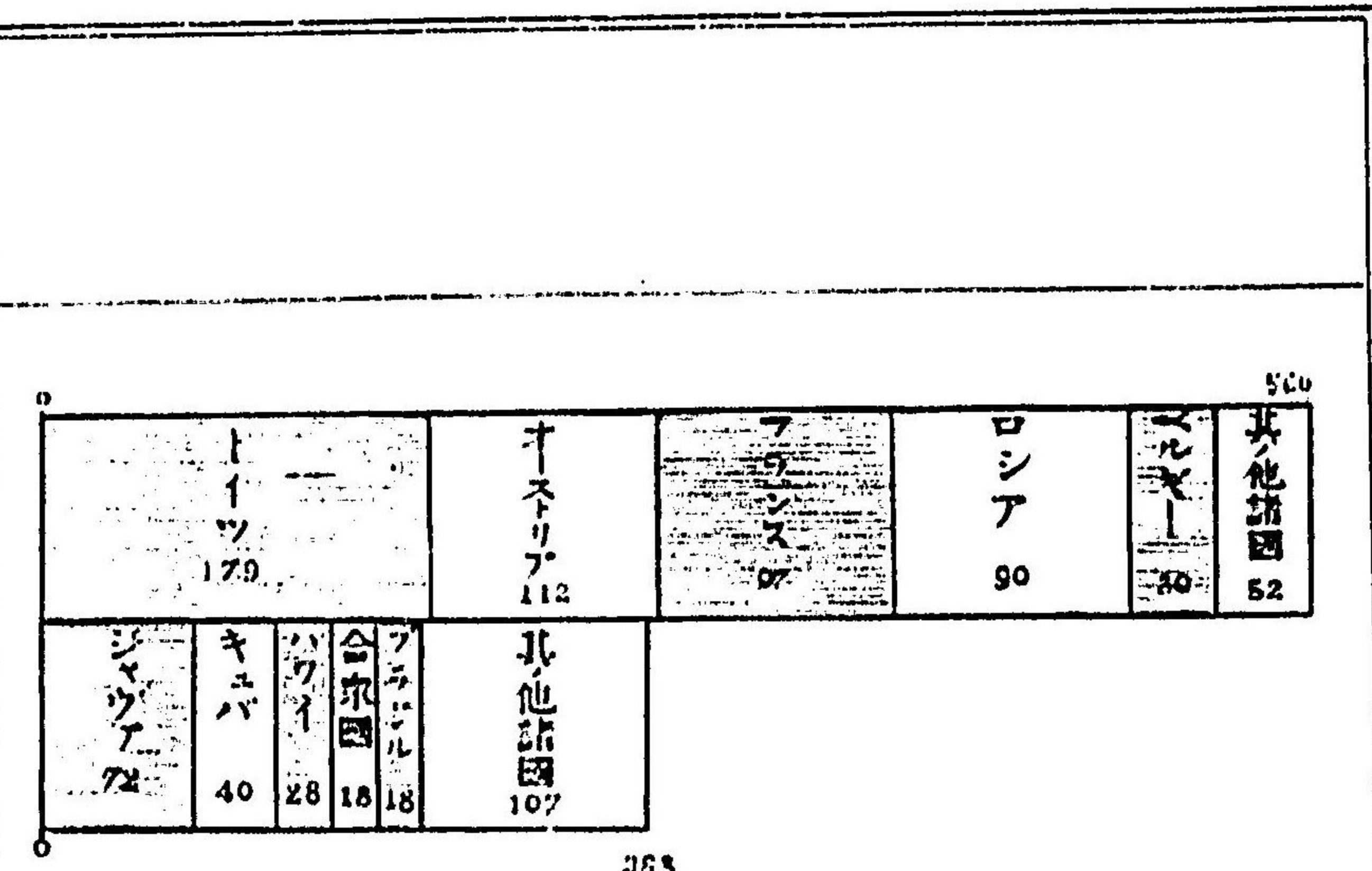
麥酒及砂糖の産額及び世界の分の一



(百分分) 産 酒 麥

る。皇帝は外國に對してドイツ帝國を代表し、宣戰媾和の權を有す、然れども戰の性質、防禦的に非ずして、進取的なるときは、必ず聯邦議會の協賛を要す。陸軍兵の多きことはロシアに次ぎ、特に兵事の進歩を以て名高し、海軍は近時大に擴張中なり。

此の國は農産及び林産に富み、麥酒及び砂糖の産額は世界第一に位し、鐵及び石炭の産額は北アメリカ合衆國及びイギリスに次ぐ。外國貿易は近來長足の進歩をなし、世界第二に居り、我が國へ此の國より鐵、毛織物、砂糖、藥品等を盛んに輸入す。



砂糖(噸萬位單)産額

河川、運河、鐵道によりて交通至便なり、キール大運河は北海とバルチック海とを通ず。

此の國はアフリカ、オセアニア等に廣大なる領地を有し、又清國の膠州灣も亦た其の占領する所なり。

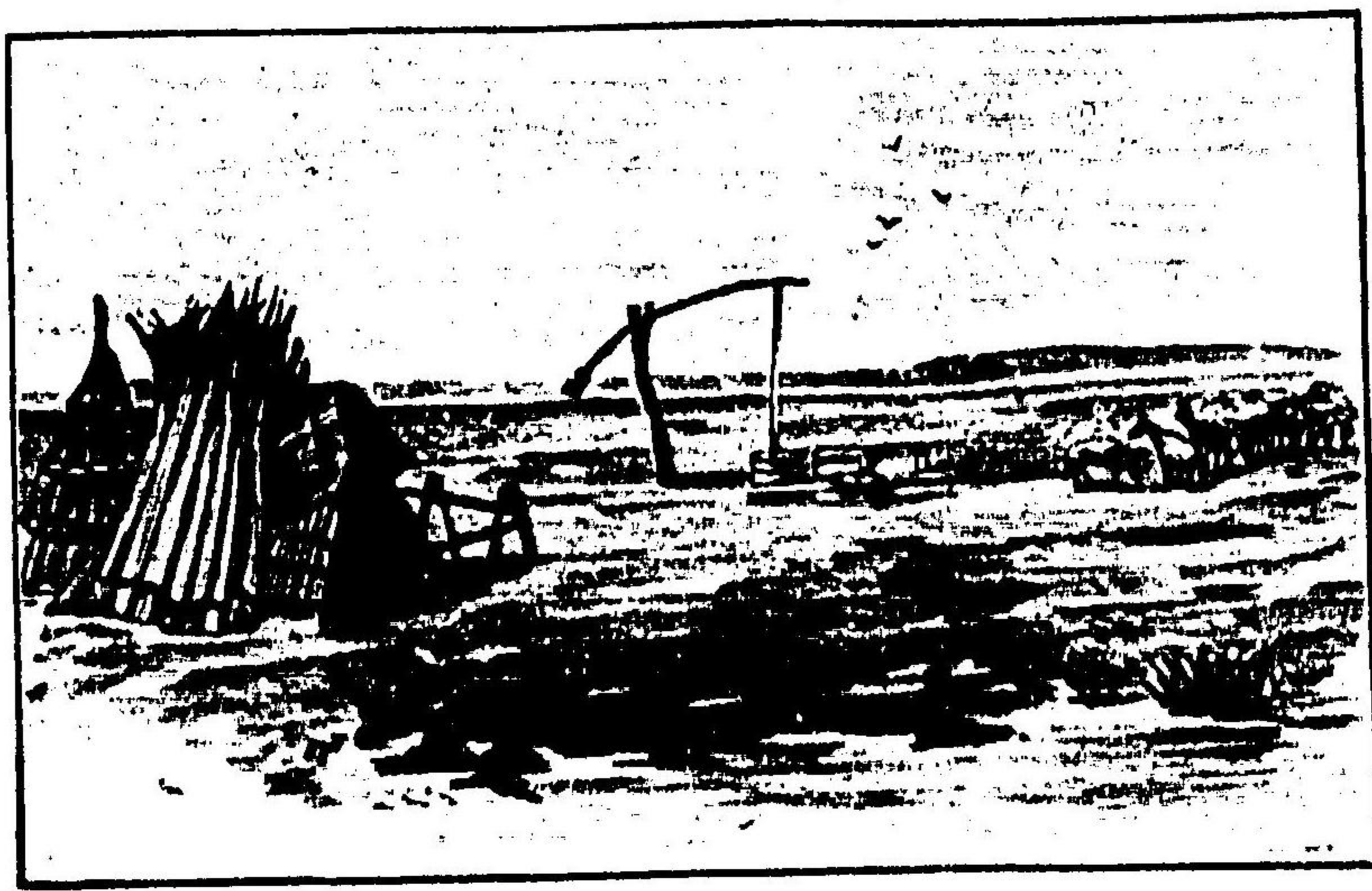
ベルリンはドイツの北部平原中に位し、ヨーロッパ第三の都會、帝國の首府にして、有名なる大學あり、我が公使館は此の地に置かる。ハンブルヒはドイツ第一の貿易港にして、エルベ河の岸にあり。エルベ河の

上流にツレスデンあり、サクソニー王國の首府なり、其の西
 なるライプツヒは有名なる大學を有し、又圖書の出版最も
 盛んなり、ブレーメンはウーセル河口に近く、ドイツ第二の
 貿易港にして、日本郵船株式會社の航路に當る。國の南部
 にはバウリア王國の首府ミンヒンあり、麥酒の産地を以て
 世界に名高し、西部にケルンあり、商業盛大なり、其の北方エ
 センに有名なるクルプの製造所あり。國の南東部にブレ
 スラウあり、オーデル河の上流に位し、近傍石炭の産に富み、
 工業上の一大中心なり。

四三、オーストリア・ハンガリー。

面積凡そ四萬方里、西部はアルプス山系、北東部はカーパ
 シアン山脈これを限り、ヨーロッパ第一の大河たるダニール
 Danube

ハンガリー及及び
 人種及び
 は人種及び
 風習等東洋
 の分子を存す



ノースの景

ノ河は國中を貫流し、水利
 至大なり、東部はハンガリ
 ーの大平原にして、これを
 プスツと稱し、家畜用の鈞
 瓶到る所にこれを見る、國
 の南西カルスト地方は石
 灰岩の地質にして、岩窟に
 富み、地下の河湖甚だ多し。
 人口凡そ四千四百萬人、
 種一ならず、ドイツ種及び
 マギアル種最も多し、言語
 も亦た其の種類多く、統治

上の困難少からず。

オーストリア・ハンガリーはオーストリア帝國とハンガリー王國とより成り、陸海軍及び外務の外内政は全く別なり。

此の國は農産及び畜産に富み、金、岩鹽等の鑛産多く、北部の岩鹽層は厚さ四千尺に達するものありて、坑内に入れば恰も水晶宮裡にあるが如し。他の強國に比して、此の國の外國貿易稍振はざるは、海に對する此の國の位置甚だ不利なるによる。

ヴ、エ、ン、ナはダニ、ー、ブ河に沿ひ、此の國の首府にして、其の醫科大學は有名なり、我が公使館は此の地に置かる、ツリ、エ、ストはアドリアチ、ク海に沿ひ、此の國第一の貿易港なり、
Trieste Adriatic

生産地と海
港との間に
山脈あり大
河の口は他
國にあり

ロ

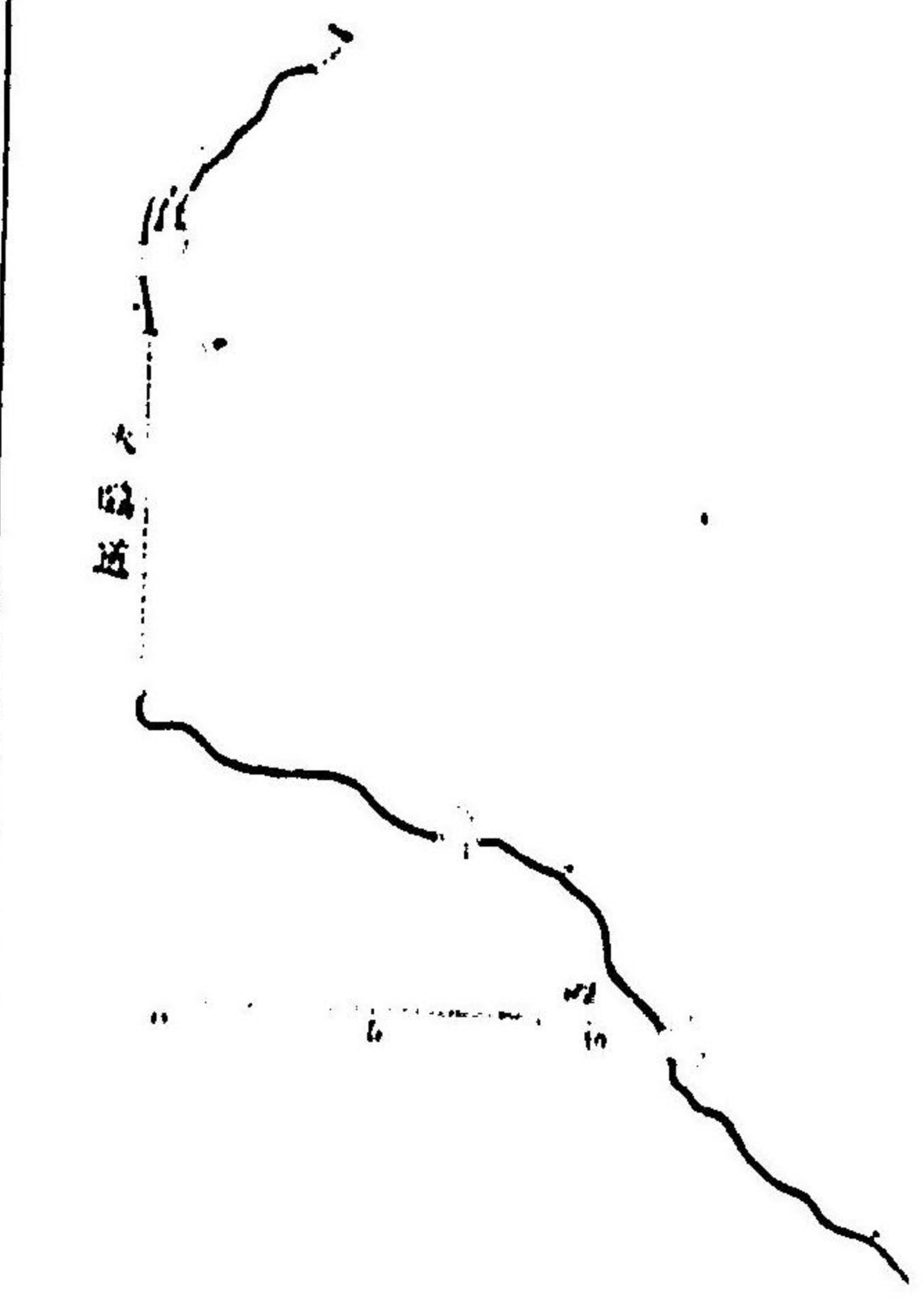
ド、ゲ、ベ、ストはハンガリーの首府にして、ダニ、ー、ブ河に沿ひ、
Budapest
ブ、ー、ダ、及びベ、ストの二部より成る。
Buda Pest
リ、エ、ヒ、テン、ス、タ、インはオーストリアの西に當る小侯國にして、表面上獨立なり、人民は直接税及び兵役の義務を負はず。

四四、ス、ウ、ィ、ツ、ル。

ス、ウ、ィ、ツ、ルはヨーロッパ大陸の中央に介在する半圓形の小國にして、面積凡そ我が九州に等し、全土アルプス山系中に位し、氷河と湖水とを以て名あり、就中ジ、ネ、ツ、湖最も著し、風景絶佳なるを以て、他國人の來遊するもの甚だ多し。
Genève
人口凡そ三百三十萬、國人主としてフランス語及びドイツ語を用ふ、聯邦民主政體にして、大統領は行政部の長たり、

我が條約國の一にして、首府はベルンなり。諸強國の間に介在して、能く獨立の體面を持するは、地勢の利も亦た與て力あれども、主として人民尙武の氣象盛んなるによる。

土地高峻にして、不生産的の部分多けれども、水力及び蒸汽力の利用により、工業盛大にして、時計は盛んに我が國へ



大聖伯納德大隧道

も輸出し、外國貿易は人口に比して甚だ盛大なり。山脈四方を圍めども、鐵道によりて交通至便なり、特にイタリヤとの間にはセント

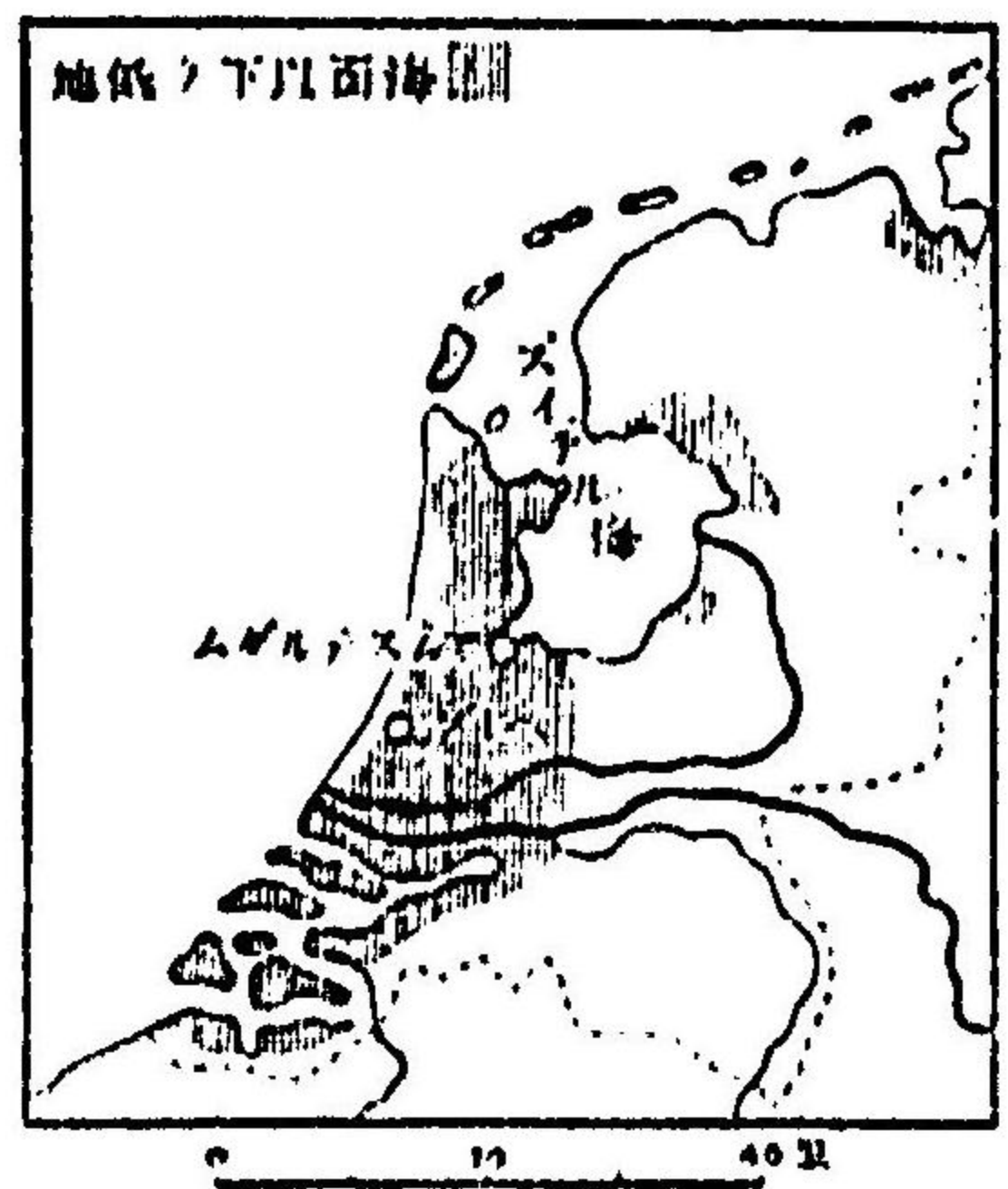
St. Gotthard

ゴータードの大隧道あり、其の長さ九哩四分の一あり、而して其の前後には所々に螺旋狀の小隧道ありて、勾配を緩かにす、シンプロン峠を貫通する隧道は近時工事中にして、其の全長十二哩あり。

四五、オランダ。

オランダは面積我が九州より少しく小にして、ライン河の三角洲これが大部を占め、地勢低平、海面より低き部分少からず、故に堤防を嚴にして海水の侵入を拒ぐ、北方に入り込めるズイデル海は、昔時海水の侵入によりて、陸地の變成せしものなり、故に國人は其の沿岸を排水して、漸次にこれを恢復す、此の新陸面をポルダーと云ふ。海風常に吹きて、風車の利用すべきと、運河、河川の利大にして、水路交通の自

治水事勢は頗る進歩せり



オランダの地勢

力によれり。舊時は世界第一の商業國にして、現今に於ても外國貿易は甚だ盛大なり、特に人口每一人の額は此の國を以て最も多しとす、これマライ群島に於て廣大なる良殖民地を有するによれり。ヘーグは首府にして、我が公使館は此の地に置かる、アムステルダムは此の國第一の都會なり、地盤強固ならざるにより、杭を打ち、其の上に家を建つ。

在なるとは、此の國の特色なり。

人口凡そ五百萬、徳川氏の時代に於て我が國と交通し、我が國に於ける維新前西洋文明の輸入は、専ら此の國の

ベルギーは
コロンボ
のゴ
主立國
なり君

ベルギーは
歴史に
常に
常れ



ベルギーの鐵道

四六、ベルギー。

面積凡そオランダに等しく、地勢も亦た平坦なり、人口

凡そ七百萬にして、其の密度は世界第一なり、北部の人民

はフレンミッシュ語、南部の人民はフレンチ語を用ふ。

地味瘠薄なれども、農業最も進歩し、又石炭に富み、工業

甚だ盛なり、外國貿易盛大にして、我が國は此の國より鐵

玻璃を輸入す、又鐵道の發達

はイギリスに匹敵せり。

首府をブラッセルと云ふ、我が公使館は此の地に置かる、ア

ントワープは其の繁盛ヨーロッパ大陸第一の港と稱せられ、
Antwerp

日本郵船株式會社の航路に當る、我が領事館は此の地に置
かる。

リクセンブルグ大公國はベルギー・ドイツ・フランスの間
Luxemburg
に介在する小獨立國なり。

第五節 西部ヨーロッパ

四七、イギリス諸島。

British Isles

イギリスはヨーロッパ大陸の西に位し、其の關係恰も我が

我が國は東
亞の英國

國がアジア大陸の東に位するに似たり。面積我が國より
少しく小にして、大ブリタイン及びアイルランドの二大島
と、數多の小島とより成る。

地勢北部は山多けれども、他は平坦にして、河流は水深く、

流れ緩かなり、北部のスコットランドには狭長なる湖多く、河
Scotland

流これを連絡し、風景絶佳なり。

此の國はカムチャツカ半島と同緯度に位すれども、海流の

影響を受けて、氣候頗ぶる溫和なり。

人口凡そ四千萬、人民着實保守の氣象に富み、海事を以て

立國の本とす、其の本國の稱號を大ブリタイン及びアイル
United Kingdom of Great Britain

ランドの合衆王國と云ふ、陸軍は盛んならされども、戦時は
and Ireland
多數の義勇兵を擧げ得べく、海軍の強盛なること世界第一



イギリスの鐵道

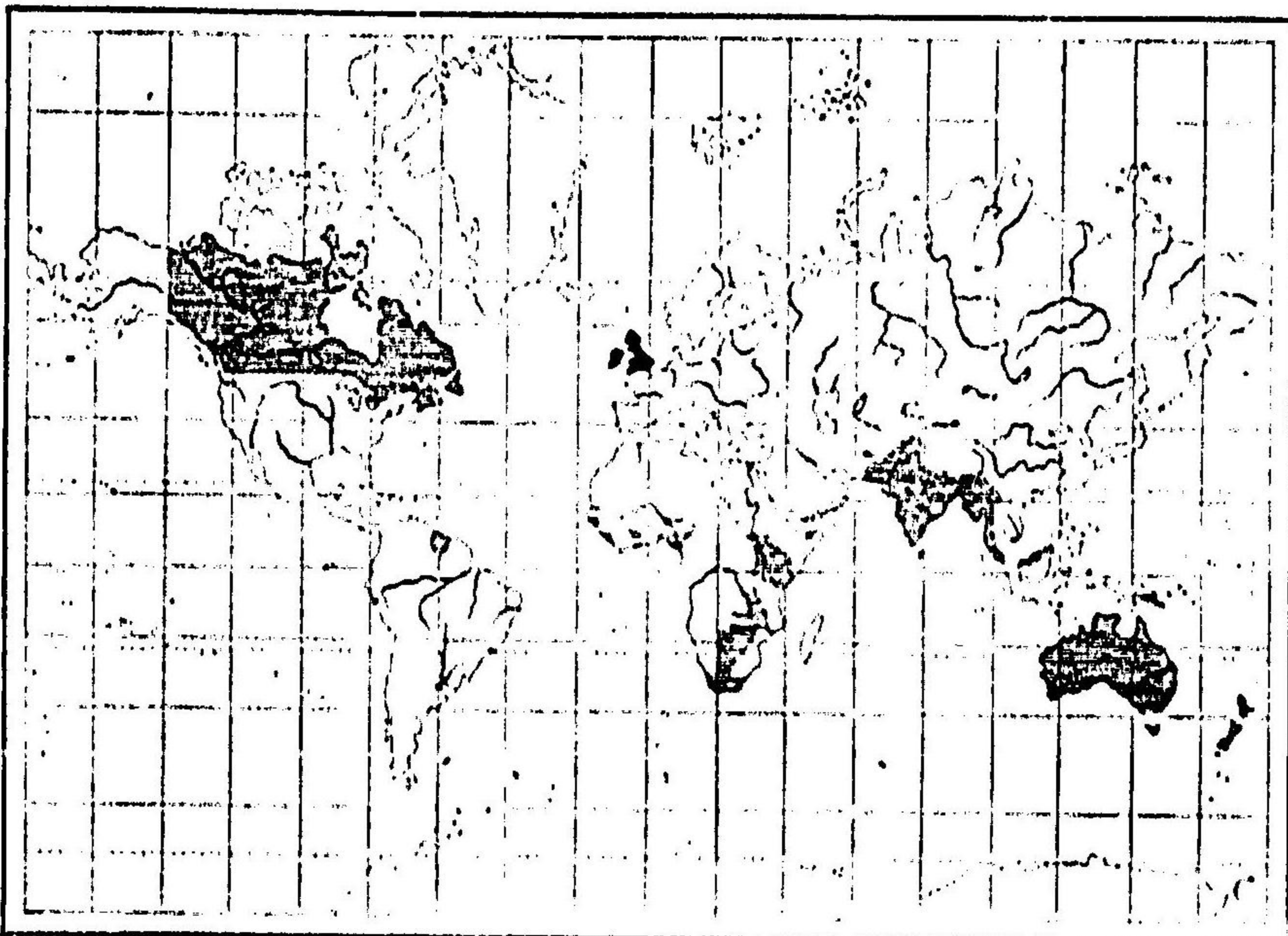
石炭の産額、北アメリカ合衆國と相並びて地球上他に比
なく、織物の業も盛大にして、綿絲紡績業は世界錘數の殆ん
ど半ばを占む。商業國として、世界第一位を占め、自由貿易
制にして、酒類、烟草等を除き、輸出入税を課せず、主要なる輸

に位し、巨大なる私
立造船所の數甚だ
多く、我が富士、八島、
朝日、敷島等の諸甲
鐵戰艦は皆此の國
の製造に係る。

此の國は鐵産に
富裕にして、鐵及び

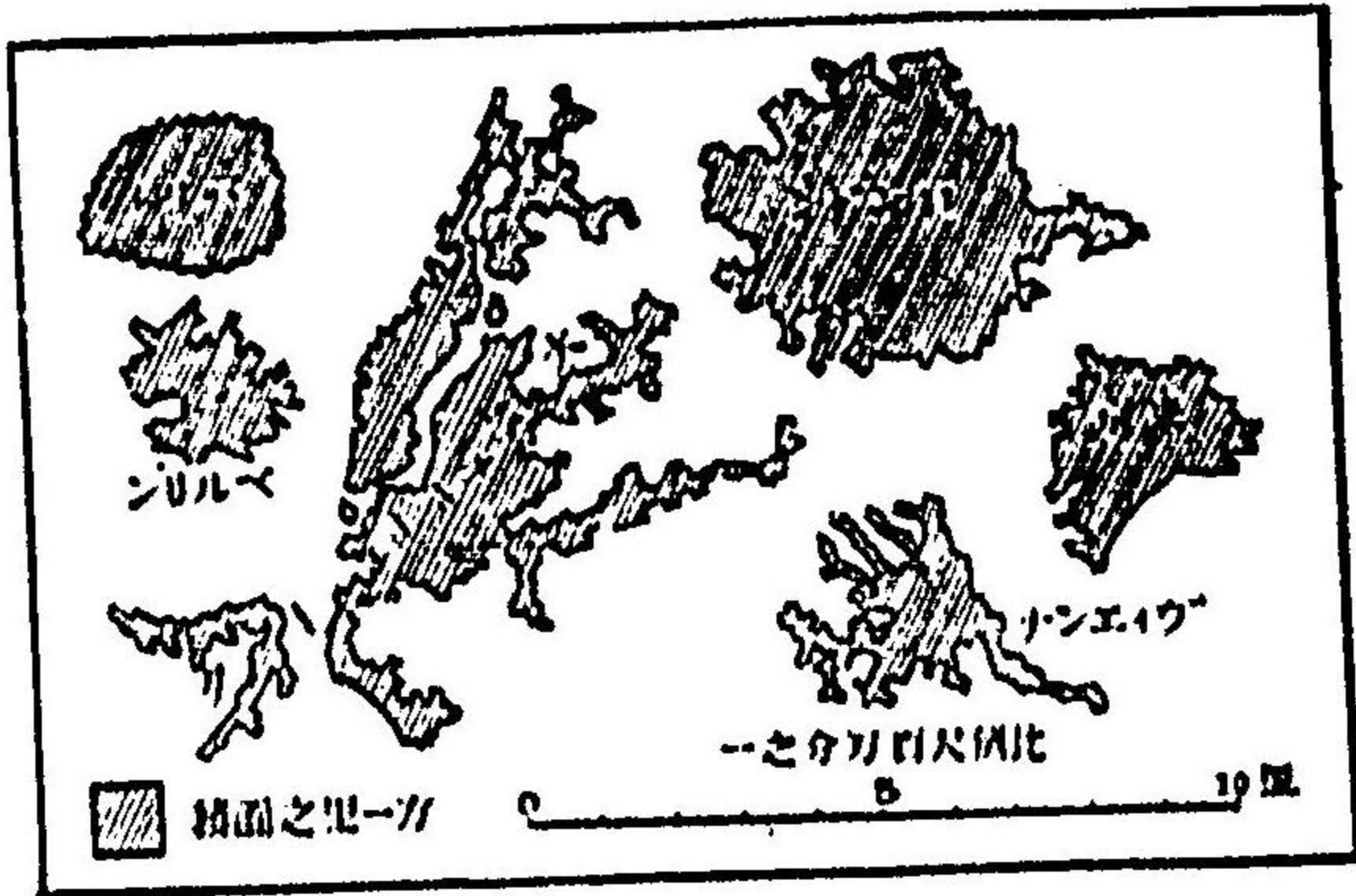
出品は綿布、毛布、鐵機械及び石炭にして、我が國へも盛んに
輸出し、石炭を除く、本邦貿易上第一の輸入國たり。

面積に比して鐵道の發達せることは、ベルギーと共に世
界の首位に居り、商船の噸數は世界の半ばを占め、地球上到
る所の港にイギリスの國旗を翻せる船舶を見ざることな
く、我が國の貿易も主としてイギリス船によりて行はる。
領地廣大にして、世界陸地の五分の一を占め、其の住民四
億に達す。カナダ、印度、オーストラリアは其の主なるもの
にして、東洋に於ては香港を領し、威海衛を占領せり。我が
國は稱して日出の國と云ふ如く、イギリス人は日不没の國
として、太陽常にイギリス帝國の領土内に没せざるを誇れ
り。



イギリスの領地

ロンドン はテムズ河に跨り、面積に於ては北アメリカの大ニューヨークを除くの外これに及ぶものなく、イギリス國人口の六分の一はこゝに集中し、世界第一の大都市たる名空しからず、國會議事堂、博物館及びウエストミンスター寺院あり、我が公使館



大都會面積の比較

を以て名高し、ダブリンはアイルランド第一の都府にして、同島の東岸に位す。

四八、フランス。

France

及び領事館はこゝに置かれ、又日本郵船株式會社の航路に當る、リヴァプールはロンドンの北西に當り、此の國第二の貿易港にして、其の東にマンチェスターあり、工業の大中心にして、リヴァプールとの間に有名なる大運河を通ず、これより北方にグラスゴウあり、スコットランド工業の中心にして、造船業

フランスの輪廓は畧ぼ六角形を成す

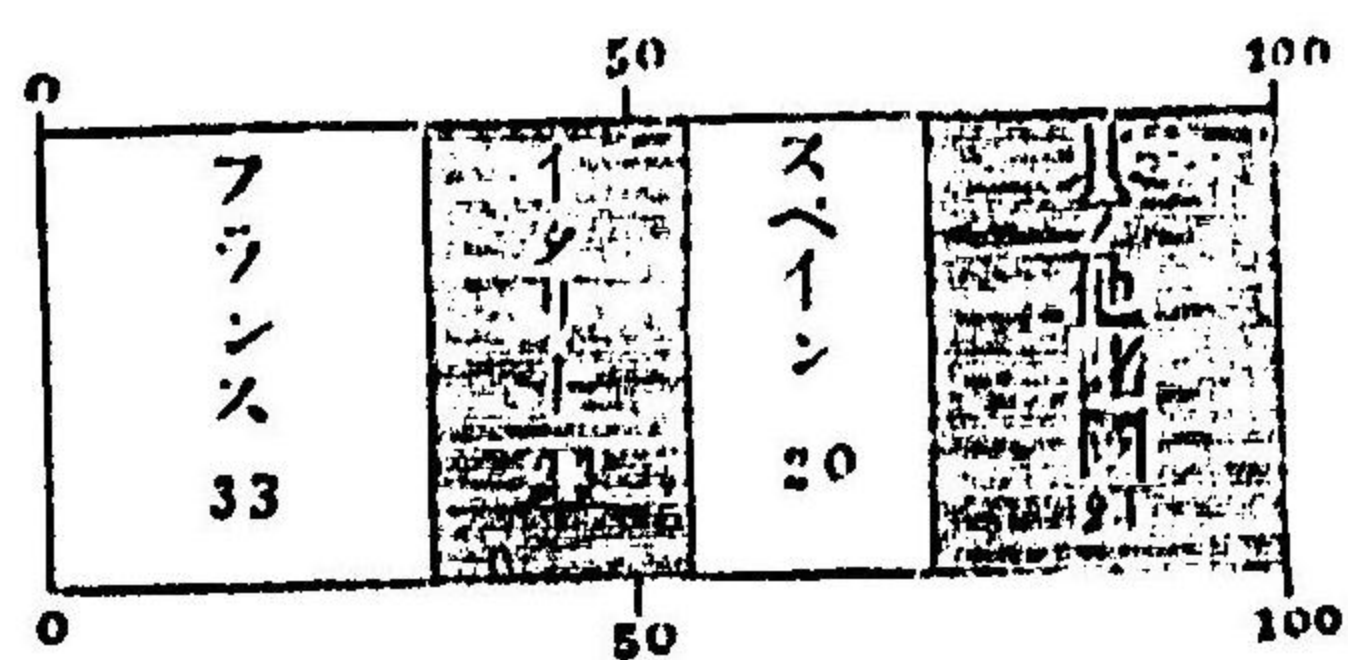
面積は凡そイギリスの二倍あり、北西部は平地なれども、南東部にはアルプス山系ありて、イタリー及びスウヰツルとの境を成し、其の中にヨーロッパ第一の高峯モンブランあり、今は其頂上に觀象臺を置く。スペインとの境にはピレニース山脈連亘す。此の國の河川は往々其の河口開けて三角江を成し、潮流の侵入急劇なり。



葡萄の産地

氣候も亦た溫和にして、葡萄及び小麥の産多し。三面海を受け、北は北海、西はビスケイ灣、南は地中海に面して、商業上好位置を占む。南東にコルシカ島あり、ナポレオン一世の生地

北東境には數多の要塞を配置して防禦極めて嚴なり



葡萄酒産額(百分中)

なり。

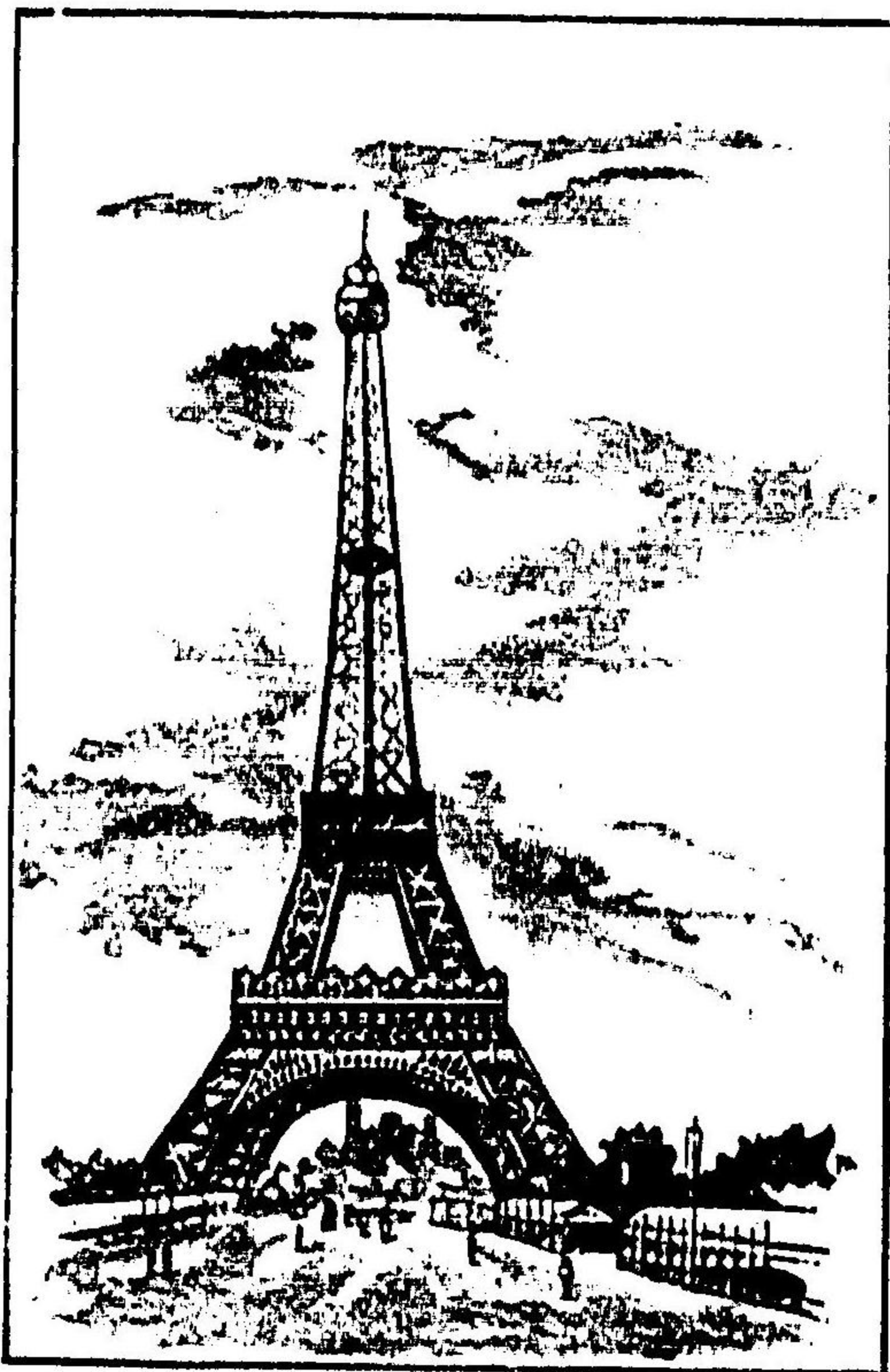
人口凡そ三千九百萬、人口著しく増加せず、人民の性質華奢にして快活なり、民主政體にして、大統領は行政部の長たり、陸軍の強盛なることドイツに匹敵し、海軍の強盛なることイギリスに次ぐ、國債の高は諸強國中第一に位す、此の國はロシアと同盟してドイツに拮抗せんとす、傾向常に絶えず。

葡萄酒の製造は世界第一にして、其の産地は河谷に沿ふ、有名なるシャンパン酒は北部より産す、又此の國は美術品の産に富み、絹の製造も亦た盛んなり。外國貿易の盛大なることドイツに次ぎ、我が國との貿

Champagne

易も盛大にして、我が國は生絲を此の國に輸出し、縮緬吳呂を此の國より輸入す。

此の國の領地は廣大にして、アフリカに於ても少からざる部分を有し、又東洋に於ては印度支那の一部を領し、又南



塔ル・フェ

清の廣州灣を占領す。

パリイは

Paris

セーヌ河に

臨み、繞ぐら

すに堅固な

る城壁を以

てし、要塞の

設け最も堅固なり、ヨーロッパ第二の大都府にして、又ヨーロッパ諸國、服裝流行の中心なり、凱旋門、エッフェル塔、ノートルダム大寺あり、又其の劇場は最も有名なり、我が公使館は此の地に置かる。セーヌ河口のアールはパリーの北西に置し、此の國第二の貿易港なり、リオンはパリーの南東に當り、ロイヤ河の上流に位し、製絹の業盛にして、我が領事館は此の地に置かる、其の南方地中海岸にマルセイユあり、此の國第一の貿易港なり、國の南西部にボルドーあり、ガロンヌ河の岸に位し、葡萄酒の輸出を以て名高し。
フランスの南東隅にモナコ侯國あり、フランスの保護國にして、面積一方里餘、人口一萬三千、其の陸軍は九人の士官七十人の兵卒より成る。

Monaco

Bordeaux

Marseille

Garonne

Eiffel

Notre Dame

Harre

Lyon

人口の密度
甚だ小なり
鑛物は鑛石
の儘にて
位置はイ
ヤリスに
出する高
し

其他	33
メキシコ	19
オーストラリア	23
ドイツ	25
チリ	28
日本	28
スペイン	54
合衆國	205

(噸千位單) 額産銅

第六節 南部ヨーロッパ

四九、スペイン

此の國はSpainゴルチガールと共にIberiaアイベリア半島の地域を占め、面積は峇厘フランスに等し。地勢高原性にして、河流は多く急なり、沿岸の氣候は溫和なれども、内地は寒暑の差大にして、雨量甚だ少し。

人口凡そ一千八百萬、教育振はず。葡萄酒及び鑛物の産額甚だ多く、銅は世界第二位に居る。舊時は通商及び探検を以て世界に冠

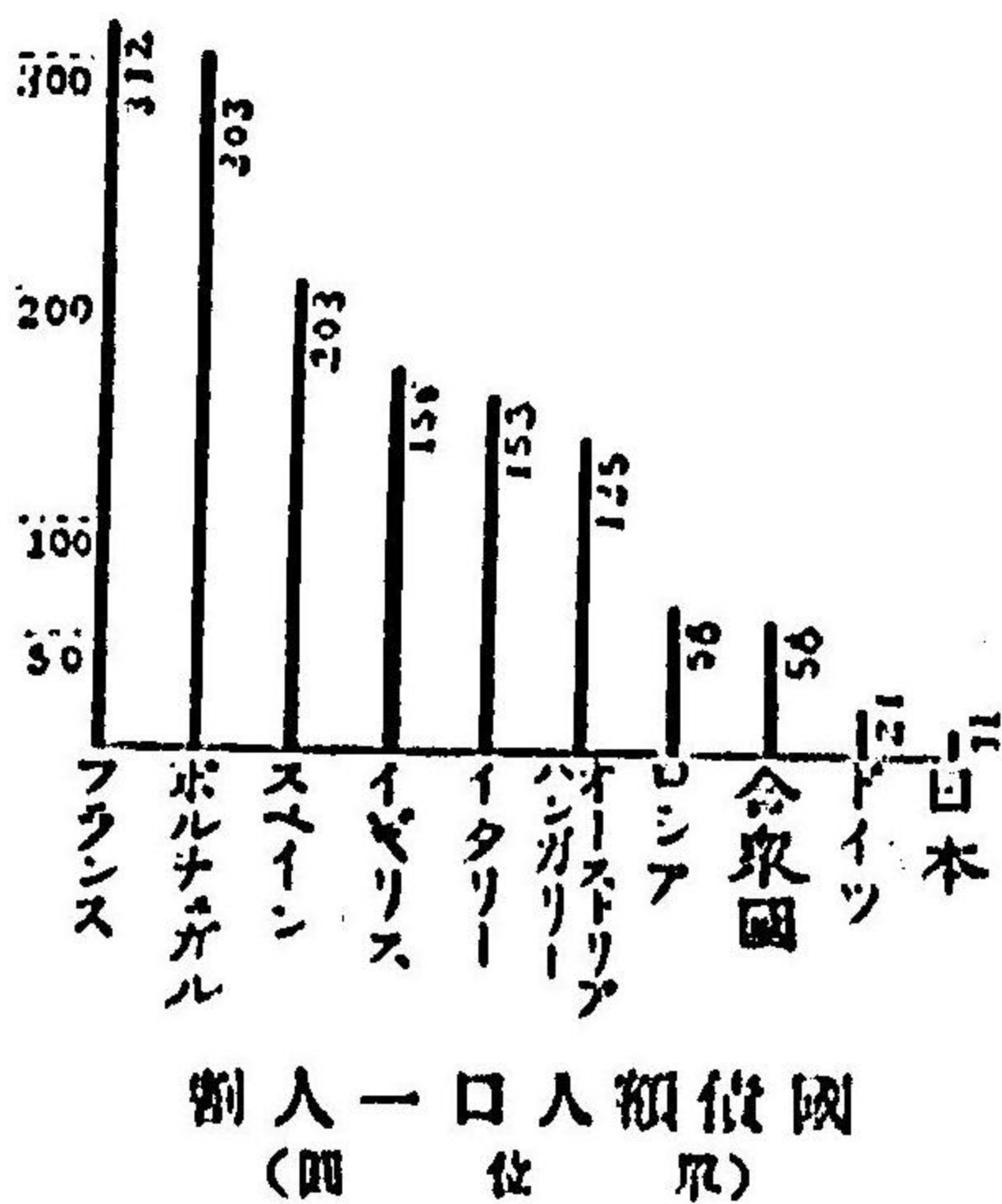
たりしが、今は國勢大に衰へ、近年北アメリカ合衆國と戦ひ、大敗の結果、其の主要なる領地を失ふに至れり。然れどもアメリカの諸國及び南洋諸島にスペイン語の尙ほ行はる所あるは、全く舊時勢力の然らしめし所なり。首府をマドリドと云ひ、我が公使館は此の地に置かる。

ジブラルタルはスペインの南端に近き小半島にして、イギリスの領地なり、地中海の門戸を扼し、堅固なる砲臺あり。スペインの北東隅ピレニース山脈中に、アンドラの小共和國あり。

五〇、ポルチガル

此の國はPortugalスペインの西にあり、面積凡そ我が北海道に等し、河川の利に富み、氣候も亦た溫和なり、人口凡そ五百萬、農

沿岸はコロ
ロパは最多
の雨量を有す

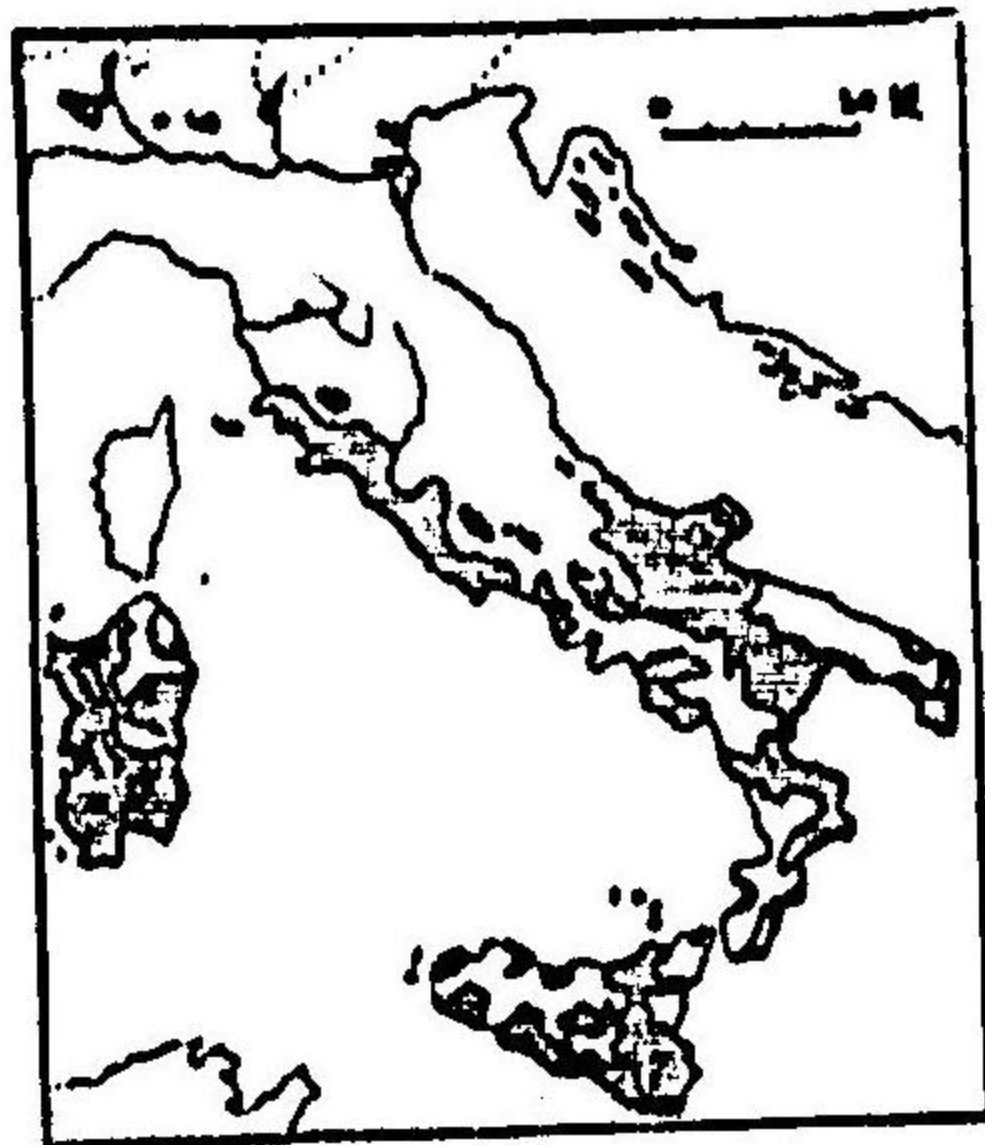


産多し。昔時は通商探検を以てスペインと雄を争ひ、我が國へも鐵砲を傳へし國なりしが、今は全く昔時の勢なし。國債の高甚だ多く、人口一人に付き其の額は、フランスを除くの外、世界に比なく、財政の整理未だ

成らず。首府をリスボンと云ひ、テーガス河口に位す、港の安全なると、氣候の良好なるとは、共に此の地の特色なり。

五一、イタリア。

イタリアは地中海に突出せる長靴形の半島にして、シシリー及びサルデーニアの二大島これに屬す、面積は凡そイギ



方地アリタマ (分都るけ引を線)

就中ヴェスヴィアス火山は最も有名なり、所々にマラリヤの流行を見るは、風土上の缺點なり。

人口凡そ三千二百萬、近時兵備を擴張せし結果、國債も亦た非常に増加せり。此の國は農産に富み、葡萄酒の産多く、又絹の製造はヨーロッパ第一なり、硫黄及び大理石の産も他に類なし。此の國は昔時ローマの本國にして、ヨーロッパ中、ギリシアに次で、先進の文明國たりき。今尙ほ古代の美術

リスに等し。アルプス山系國の北境を限り、アペニン山脈其の中を縦貫し、北部の平原はポールの灌域に當る。此の國は火山及び地震の現象に富み

品を存し、各國の美術家來り遊ぶもの甚だ多し。

ローマはタイパー河に沿ふ、王國の首府にして、又ローマ
Rome Tiber

法王の座なり、セントポール大寺、ウチカン宮殿等宏大なる
St. Paul Vatican

建築物甚だ多く、ローマ時代の遺跡も亦た少からず、我が公

使館は此の地に置かる。ネーブルス*Naples*は國の南西岸にあり、

「ネーブルスを見て死すべし」の俚諺あり

此の國第一の都會にして、ウスツ、アス火山其の東に聳え、風
Vesuvius

光明媚なり、近傍には同火山噴火の際埋没せし昔時の遺跡
Genoa

あり。北西岸のジノアは此の國第一の貿易港にして、スツ
Genoa

ツル及びドイツに至るの衝に當る。ジノアの南東にヒ
Venice

サあり、斜塔を以て名高し。北東岸のヴェニス*Venice*は數多の島上
Pris

に立ち、市街恰も水上にあるが如し、市街の往來は皆小船に
Gondola

よる、これをゴンドラと云ふ。

サンマリノ共和国はイタリーの區域中に含まれ、面積凡
San Marino
そ四方里、人口凡そ一萬あり。

五二、バルカン半島の諸邦。

Balkan

バルカン半島は同名の山脈連亘して、交通不便なれども、
Balkan

ダニエーブ河の灌域には平地少からず。海岸出入多く、特に
Danube

南東の近海は嶋嶼多く、稱して多島海と云ふ、人種は地勢の
Adriatic

如く錯雜すれども、スラヴ、ギリシア、トルコの三種族最も多
Slav

し。バルカン半島の地域は邦制上左の如く區劃せらる。
Bosnia Herzegovina

一、ボスニア及びヘルゼゴヴィナは北西部に位し、オースト
Bosnia Herzegovina

リア・ハンガリーに屬す。
Montenegro

二、モンテネグロはヘルゼゴヴィナの南東にある小侯國な
Montenegro

り、其の海岸には何國の軍艦たりとも碇泊するを禁ず。

三、セルヴィアはボスニアの東にある小王國なり。
 四、ルーマニアはセルヴィアの北東に當れる王國にして、首府をブカレストと云ふ。ダニブ河は國境及び東部を流れ、河上はオーストリアの國境に至るまで列國共通の水路たる規定あり。

五、ブルガリアはルーマニアの南にあり、名義上トルコに屬すれども、内治は獨立せる小侯國なり。

六、トルコ(一)にオスマン帝國と稱すは、第十七世紀に於ては一大強國たりしが、現今本國の面積は非常に小となり、領地は單に空名を存するもの多し。

面積我が國の半ばより小なり、人口凡そ六百萬にして、回教専ら行はる、頭巾を被り、座蒲團を用ひ、東洋の風俗習慣を

條約により
 てロシアの
 黒海艦隊は
 此の海峡を
 通過すること
 能はず

存す、政體は君主專制なれども、回教の經典により政治を行ふ、君主の稱號をサルタンと云ふ、穀物及び絹の産少からざれども、交通の不便と税法の苛酷とによりて、産業は未だ發達せず。

首府をコンスタンチノープルと云ふ、ボスニアス海峽に臨み、黒海の口を扼す、此の國は未だ我が國と通商條約を締結せず。

七、ギリシアはバルカン半島の南端に位し、コリンス地峽によりて殆んど二分せらる、近時此の部に運河を開通せり。面積我が北州より小、人口凡そ二百四十萬、ギリシア正教を奉ず、此の國はヨーロッパ先進國の第一にして舊時の遺跡甚だ多く、近時我が國と通商條約を締結せり、乾葡萄は此

の國の主産物なり、首府をアゼンヌと云ふ。

Athens

第四章

オセアニア

Oceania

第一節

オーストラリア

Australia

五三、總説。

オーストラリアはアジアの南東に位する大陸にして、其の面積ヨーロッパの五分の四に當り、世界最小の大陸にして、或はこれを島と見ることあり。其の位置全く南緯にあることは、他の大陸と異なる所にして、南アメリカ及びアフリカに於ては赤道其の中を貫き、北アメリカ及びヨーロッパは全く北緯にあり。オーストラリアの發見は、十六世紀の始めにあり、十九世紀の半頃、金山の發見ありしより、本土への

移住大に盛況を來たせしも、内地は尙ほ地理不明の所多く、特に其の西部を以て最も甚だしとす。

五四、地文地理。

オーストラリアの内地は少しく低くして、四周は稍高し、就中南東部には稍著しき山脈あれども、他大陸に於ける如き巨大なるものに非ず。其の南部にオーストラリアアルプスの名ありて、最高點コシースコ峯は七千尺以上に達すれども、未だ雪線に達すること能はず。内地の西部は多く砂漠にして、所々に小山脈及び鹹湖あり。

沿岸。此の大陸の輪廓は單簡なる一大團塊にして、海岸線の大風曲に乏しけれども、南東部には小なる出入多し。

又北東部には珊瑚礁あり、大礮礁と云ふ、長さ凡そ五百里、所

Great Barrier Reef

々に切れ目ありて、外洋と内海とを通ず。オーストラリアの地勢は内部に向ては傾斜緩かなれども、海岸は絶壁を成せる所多し。

水誌。オーストラリアの河は他大陸の同長の河に比して水量甚だ少し。又季節と共に水量に大變化ありて、洪水の憂あれども、これと共に河岸に沿ひ沃土を堆積するの利あり。オーストラリアには著しき大陸河なけれども、其の内地灌域は頗ぶる廣大なり。著しき大陸河を缺けるは、内地に雨量の少きと、蒸發の盛んになると、砂地に滲透するに由る。

オーストラリアの河にて、海に注ぐもの、中最も大なるは、Murray ムルレー河にして、長さ五百里に餘り、雨季には水利至大

なり、唯河口の淺きは缺點なり。内地には鹹湖の大なるもの多く、アイヤ湖最も名あり。

氣候。面積廣大なるを以て、オーストラリアの氣候は所により大差あり。北部の沿岸は熱帶性の氣候、南部の沿岸は温帶性の氣候を有し、其の高地には冬季積雪少からず。洪水旱魃共に甚だしく、牧畜上の損害少からず。

オーストラリア内地は雨量極めて少く、寒暑の差甚だし、熱風起るときは、樹蔭に於ても五十三度に達することあり。斯くオーストラリア内地は雨量少く、著しき河なけれども、中央部は低窪にして、流水地下に滲透せるを以て、鑽井を穿つときは、砂漠を變じて沃地に變じ得べしと云ふ。

五五、人文地理。

南緯に位するが故に我節反對なり

所によりては一人に付すき千圓を課す

人民。オーストラリアは人口凡そ四百萬にして、年々著しく増加す、概ねイギリス人にして、土人の數は甚だ少く、且つ次第に絶滅す。これ等の土人は野蠻にして、定住せず、蛇蛙を食ひ、食人の陋習を存す。

オーストラリアに移住する支那人の數は次第に多きを加へしを以て、遂に法律を以て其の移住を制限し、禁止的人頭税を課するに至れり。

オーストラリアに在留する我が國人の數は、近來次第に多きを加へ、各州は其の移住に制限を加へんとする傾向あるは、大に注意すべきことなり。

政治。オーストラリア全土はイギリスの領地にして、もと五個の殖民地に分れしが、近時各殖民地の勢力大に發達

せしにより、改めてこれを州とし、合してオーストラリア聯邦と稱し、大總督を置き、以て政治上の統一を計れり。オーストラリア聯邦は六州より成る、ウヰクトリア、ニューサウスウヰトルス、クイーンズランド、南オーストラリア、西オーストラリア及びタスマニアこれなり。各州には總督を置き、内政は自治なり。

産業。オーストラリアの天産植物は珍奇なる種類に富み、ユーカリ樹の如きは高さ五百尺に達するものあり。然れども今日オーストラリアに多量の農産あるは、其の種子元來悉くヨーロッパより移植せしものなり。

オーストラリアは動物も亦た奇異なる種類を存し、カンガルー及び鴨嘴の如き奇獸あり、今日オーストラリアに蕃

Kangaroo

Duck-bill



鴨嘴及カビガール

殖せる家畜は皆元來ヨーロッパより輸入せしものにして、羊の頭数は全世界第一に位し、羊肉及び羊毛の輸出頗ぶる盛んなり、又沿岸には眞珠貝の産少からず。

鑛物。オーストラリアは鑛産に富裕にして、合衆國及び南部アフリカと共に世界の重なる産金地なり。又良好なる炭田ありて、其の石炭は東洋の市場に於て、本邦

石炭と競争するの位置に立てり。

貿易。オーストラリアの外國貿易は、其の産業の進歩と共に次第に發達し、其の輸出品の主要なるものは金及び羊毛にして、重もに本國及びイギリス領諸殖民地と貿易を行ふ。我が國との貿易も次第に盛んにして、我が國より米及び魚油を此の國へ輸出す。

交通。オーストラリアの交通は次第に進歩し、特に南東部に於ては、鐵道の發達最も著し。オーストラリアの交通上特筆すべきは、大陸横斷電線にして、南岸アデレードより北岸のバルメルストンに至るまで、其の長さ殆んど二千哩に達し、非常なる困難を排して架設せしものなり。海底電線はバルメルストンよりシンガポールに達し、以て世界各

國に通ず。

オーストラリアの沿岸諸港及び他大陸間の交通も盛大にして、我が日本郵船株式會社も亦た航路を開き、其の汽船は横濱より香港を経て、オーストラリアの沿岸諸港に至る。

五六、各州誌

(イ) ニーサウスウールズ州
New South Wales

ニーサウスウールズはオーストラリア全土の南東部を占め、首府をシドニーと云ふ。シドニーはオーストラリア最古の都府にして、炭田の中心を占め、其の港は安全なる良錨地にして、オーストラリア艦隊は此の地を根據地とし、要塞の設け甚だ堅固なり。本港は又日本郵船株式會社の航路に當り、我が總領事館の設けあり。

メルボルン
はイギリス
人上陸の際
二枚の毛布
を以て酒
を以て土
人より買ひ
取りしもの
なり

(ロ) ヴィクトリア州
Victoria

ヴィクトリアはメルボルンの南に位し、オーストラリア全土の南東隅を占め、首府をメルボルンと云ふ。メルボルンは人口に於ては、オーストラリア第一の大都會にして、日本郵船株式會社の航路に當り、其の港は頗ぶる良好なり。本州はメルブール州と共に、金の産出を以て名高し。

(ハ) クィーンズランド州
Queensland

クィーンズランドはオーストラリアの北東部を占め、首府をブリスベーンと云ふ。これより北西にタウンズヴィルあり、我が領事館の設けあり、此の附近には我が國人の在留するもの甚だ多し。

本州の北方はヨーク半島突出し、トルレス海峡を隔て、ニューギニアに對す。此の海峡中に木曜島あり、眞珠貝の産出莫大にして、我が國人の在留するもの甚だ多く、ブリスベーン及びタウンズヴィルと共に、日本郵船株式會社の航路に當れり。

(ニ) 南オーストラリア州
S. Australia

南オーストラリアはオーストラリア全土の中部を占め、首府をアデレードと云ふ、州の南部は農産及び鑛産に富む。

(ホ) 西オーストラリア州
W. Australia

西オーストラリアはオーストラリア全土の西部を占め、首府をパースと云ふ。

(ヘ) タスマニア州
Tasmania

寒暑氣温の
差非常に少
く且つ空氣
は多量の
「オゾン」
を含む

タスマニアはオーストラリアの南方に位する一大島にして、^{Das}パス海峡を隔て、これに對す。其の輪廓は心臟形を成し、地勢山多きも、沿岸屈曲多く、良港少からず。氣候の良好なること世界第一と稱せられ、オーストラリア住民の避暑地たり。

住民は殆んどイギリス人にして、此の外多少の支那人あり、土人は近時全く絶滅するに至れり。此の地は造船用の木材に富み、鑛産農産及び牧畜甚だ盛んなり。唯、狼の一種ありて、羊に危害を加ふるは惜しむべし。此の地の首府をホバートと云ひ、其の港は良好なり。本島はもと殖民地の^{Hohat}制を布きしが、今は州と改稱し、オーストラリア聯邦の一部を成す。

第二節 マレイシア Malaysia

五七、總説。

マレイシアは東印度群島の一部にして、オーストラリアに屬すべきものを總稱す。東印度群島はワレース線によりて、二部に分ち得べく、其の一部はマライ群島と云ひ、アジアに屬すべきものにして、已に第二章第五節に於て述べし所なり。

マレイシアに含まれたる島嶼の中、主要なるものは、セレベス・モルカ及びスンダ諸島の一部にして、多くはオランダの領地なり。

オランダ領
東印度總督
の支配に屬
す

五八、各島誌。

セレベス島。セレベス島はボルネオの東にあり、其の輪廓奇にして、K字の如く、又星魚の如し。火山多く、地震も少からず。

モルッカ諸島。モルッカ諸島はセレベス島の東にありて、香料の産に富む、有名なるマジラン、氏世界通航の目的も亦た此の地に達するにありき。本島は數多の島嶼より成り、其の中ジロロ島は形奇にして、セレベス島に類似し、又バンド島には丁子の産多し。

第三節 ポリネシア

Polynesia

五九、總説。

珊瑚礁は環礁にして、湖中に海水の作る

ポリネシアは太平洋中に於ける大小無數の島嶼を總稱し、二三の大島を除くの外、珊瑚島に非ざれば火山島なり。珊瑚島の高さ及び面積は共に大ならざるを特性とす。海風常に吹くを以て、小島に於ては熱帯の苦熱を感ぜず。又麵包樹の如き特有植物を産し、土人はこれを常食とす。ポリネシアを分て三部とす、メラネシア、ミクロネシア及びポリネシア本部これなり。メラネシアはニューギニアよりフィジー諸島に至るまでを含み、ミクロネシアはメラネシアの北方に連れる諸島にして、大部は赤道の北に位し、ポリネシア本部は太平洋東部の諸島を含む。ポリネシアはオセアニアの他の部分と同じく、すべてヨ

ソロモン諸強國の領地となれり。フランスはポリネシアの東部及びニューカレドニア、ドイツはメラネシアの北部及びミクロネシアの一部、オランダはニューギニアの西部を領し、其の他はすべてイギリスの領地なり。

ポリネシアの土人は次第に減少し、其の絶滅の日は遠からざるが如し。人種は一ならず、食人の陋習を存するものあれども、性質大抵溫和なり。

六〇、メラネシア。

Melanesia

(イ) ニューギニア。ニューギニアはオーストラリアの北方に位し、面積殆んど我が國の全土に二倍し、世界第二の大島なり。其の輪廓恰も龜の如く、大山脈は中央を貫ぬき、二萬尺内外の高峯少からず。本島は氣候風の影響を受けて雨量

多く、河流に富み、水利少からざれども、屢洪水の憂あり。氣候濕熱なるを以て、熱病多く、低地には土人すら住居に堪へず。且つ森林鬱蒼として、土人強暴なるを以て、内地の地理は尙ほ明かならず。人種はバツア種にして、毛髮羊毛の如く卷縮し、フリビン諸島に於ける如く、水上生活を爲すもの少からず。ドイツ・オランダ・イギリスの三國これを分ち領す。本島は木材及び果實に富めども、天産は未だ開發せられず。

(ロ) ビスマルク諸島。ビスマルク諸島はニューギニアの北

東にあり、諸島相連りて、破れたる楕圓形の輪を成す、ドイツの領地なり。

(ハ) ソロモン諸島。ソロモン諸島はニューギニアの東方に

Solomon

ありて、イギリス及びドイツの二國これを分ち領す。

(ニ) ニーヘブリーツ *New Hebrides* ニーヘブリーツはソロモン諸島の

南東にありて、イギリス及びフランス兩國の保護地なり。

北部の人民は野蠻にして、食人の陋習あり。

(ホ) ニーカレドニア *New Caledonia* ニーカレドニアはニーヘブリーツ

諸島の南にあり、氣候良好、地味豊饒にして、且つ鑛物に富み、

特にニッケルの産多し。本島はフランスの領地にして、囚徒

を送るの地に充つるを以て、十分開發の緒に就かず。

(ヘ) フィジー諸島 *Fiji* フィジー諸島はニーヘブリーツ諸島

の東にあり、大小二百餘の島嶼より成り、全島火山質にして、

氣候は雨多く、河流少からず。高温なれども、風土良好にして、

熱帯性植物繁茂し、果實及び木材の産に富む。本島は太

小笠原島も
亦た地理上
ミクロネシ
アに屬すべ
きものなり

平洋諸島の中央に位し、且つ良好なる港灣に富めるを以て、
北アメリカのウヅンクラーヴィーよりオーストラリア及びニー
ジラランドに至る汽船は爰に寄港し、交通の要衝に當る。

六一、ミクロネシア。

(イ) マリアナ *Marianne* (一名ラドロロン) 諸島。 マリアナ諸島は小笠原

島の南にあり、其の火山脈は富士火山脈に連る。もとスベ

インの領地なりしが、其の中最大なるグナム島は近時北ア
メリカ合衆國に讓與し、其の殘餘はドイツに賣り渡したり。

(ロ) ペリリュー (一名パラオ) 諸島及びカロリン諸島。 これ等の

諸島はもとスペインの領地なりしが、マリアナ諸島の一部

と共に、近時ドイツに賣り渡したり。

(ハ) マーシャル諸島 *Marshall* マーシャル諸島はカロリン諸島の東に

ありて、同じくドイツ領なり。

其の他ミクロネシアに屬する諸島は、皆イギリス領なり。

六二、ポリネシア本部。

Polynesia Proper

甲、北部ポリネシア。

サンドウィッチ諸島。サンドウィッチ諸島はアジア及び北

Sandwich

サンドウィッチ諸島を指してハワキ諸島と通稱すること多し

アメリカの中間に位し、極めて重要な位置を占め、數多の島嶼、廣き區域に散在し、其の最大島をハワキと云ひ、大火山

Hawaii

多く、常に熔岩を噴流し、極めて壯觀なり。此の地は氣候炎熱なれども、良好にして養生に適す。もと獨立國なりしが、

近年北アメリカ合衆國に合併せられ、其の一部落を成すに至れり。地味豊饒にして、甘蔗糖の産出甚だ多く、我が國人の在留するもの其の數殆んど六萬に及び、總人口の殆んど

三分の一を占め、皆甘蔗の耕作に使役せらる。首府ホノル

Honolulu

、はオアフ島にあり、我が東洋汽船株式會社及び日本郵船

Oahu

株式會社米國航路の汽船はこゝに寄港し、又我が總領事館の設けあり。

乙、中部ポリネシア。

マニヒキ及びトケラウ諸島はイギリス領にして、マニヒキ

Manihiki

Tokelau

Marquesas

サス諸島はフランス領なり。

丙、南部ポリネシア。

(イ) トンガ諸島はフイジー諸島の東方にありて、百五十餘

Tonga

の小島より成り、イギリスの保護國にして、主人の王これを支配す。

(ロ) サモア諸島はトンガ諸島の北方に位する火山島にし

Samoa

太平洋の公
園と稱せら
る

ニュージ
ランドの北
東に世界第
一の深海部
あり深さ凡
そ三萬一千
尺

て、近時まで獨立の王國なりしが、遂に大部はドイツ領、殘餘は北アメリカ合衆國領となれり。

(ハ) ソサイチー諸島はツモア島の東方に位し、フランス領なり。火山質にして景色絶佳なり、最大島をタヒチと云ふ。
Society *Tahiti*

(ニ) パウモチ(二名チ、アモチ)諸島はソサイチー諸島の東より南東に亘り、八十餘の珊瑚島より成り、極めて低平なるを以て、別稱をロー諸島と云ふ、フランスの領地なり。
Pamotu *Tamotu* *Low*

六三、ニュージランド。

ニュージランドは地理上ポリネシアの一部に屬すべきものなれば、爰に附記す。通常ニュージランドはオーストラシアの一部として、オーストラリアと共に記すこと多し、(オーストラシアとはオセアニアに於けるイギリス領
New Zealand

地の總稱にして、オーストラリア・タスマニア・ニュージランド・フージー及びニューギニアの一部より成るものなり。

ニュージランドはオーストラリアの南東に當り、全地球上、ロンドンに對して、對蹠の位置を占め、水半球の極はニュージランドの附屬なる對蹠島に當る。本島は重もに南北の二大島より成り、輪廓は長靴の如く、イタリーに似たり、但し其の爪先の方向を異にす。山脈は全土を縦貫し、南島に於ては雪線を抜くの高峰ありて、氷河の現象に富む、北島には火山現象盛んにして、泥火山、間歇泉及び噴氣孔甚だ多し。

ニュージランドの河流は皆急流にして、水利多からず。地形狭長にして南北に亘り、且つ高山脈あるを以て、氣候は一ならず、特に北島は半熱帯の氣候にして、低地に於ては霜雪

ニュージ
ランドは地
文上我が國
と多少類似
せる點あり

を知らず。人民は重もにイギリス人なれども、少數の土人あり、マオリ種と云ふ、多くは北島に住し、好んで文身を施す、



ニルラトノ土人

其の體格は
良好にして、
智識も高き
ことオース
トラリア土
人の比に非
ざれども、亦
た次第に減
るものにして、總督を置きてこれを治む。天産は鑛物に富

少するの傾向あり。此の地はイギリスの殖民地中重要な
み、金及び石炭の産多し。オーストラリアに於ける如く、穀
物及び家畜はすべてヨーロッパより輸入せしものなりしが、
今は本島の農産甚だ多く、羊毛及び凍肉の輸出も頗ぶる盛
んなり。海底電線はオーストラリアのシドニーに通じ、汽
船はオーストラリアへは勿論、ロンドン・サンフランシスコ
及びアフリカのケイプタウン等へ定期に往來せり。北島
のウリントンはニージーランドの首府にして、オークラン
ドは全島第一の都會なり。南島のチチケデン及びクライス
トチャーチは共に有名なる都會なり。

第五章 アフリカ Africa

第一節 總論

六四、總說。

アフリカは東大陸の南西部を占め、これに對して一大半島狀を成し、スエズ運河を含める地峽によりて接續す。此の大陸はもと暗黒大陸と稱せられしが、近時探險の結果、其の地理は中央アジアに比すれば、遙かに明かとなれり。此の大陸はオーストラリアと類似の點を有すれども、他の大陸とは著しき差異あり、特にヨーロッパとは甚しき反對の點を有すること左の如し。

アフリカ。

- 一、大部は熱帯にあり。
- 二、形状單簡にして、一大團塊を成す。

- 三、其の畧形枝無き幹の如し。
- 四、比較的海岸線最も短し。
- 五、島嶼頗ぶる少し。
- 六、河流頗ぶる多きも、水利割合に小なり。
- 七、二大砂漠あり。
- 八、二大内地灌域を有せり。
- 九、山脈は海岸に沿ひて走る。

ヨーロッパ

- 一、大部は温帯にあり。
- 二、形状不規則にして、凸凹出入多し。

- 三、其の畧形幹よりも枝多し。
- 四、比較的海岸線最も長し。
- 五、島嶼頗ぶる多し。
- 六、河流頗ぶる多く、水利割合に大なり。
- 七、砂漠なし。
- 八、内地灌域極めて小なり。
- 九、山脈は大陸を縦貫す。

六五、地文地理。

イ、地勢。アフリカは輪廓の單簡なるが如く、地勢も亦一様なる高原性大陸にして、中央に大山脈なく、大分水界なく、山脈は周邊を圍み、海岸に沿ひて走る。北部にアトラス山脈あり、東部にはアビシニアの高臺あり。これより南方に

Abyssinia

Atlas

連れる高地中にキリマンジロ

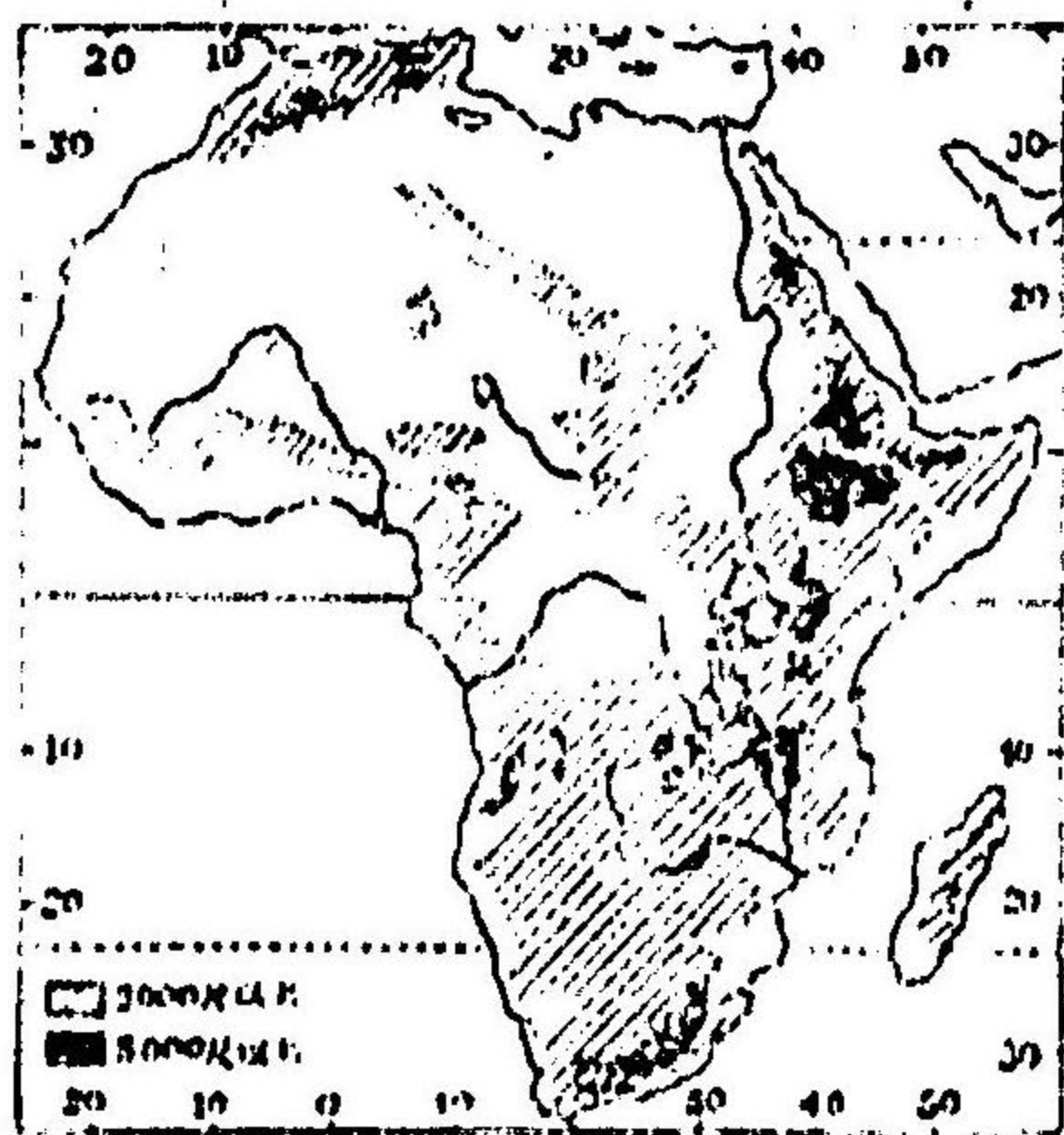
Kilima Ndjaro

及びケニアの二高峰あり、殆ん

Kenia

ど二萬尺に垂んとす、南部に於ては喜望峯附近のテーブル山脈最も著はる。

アフリカの地勢上特に記すべきは砂漠にして、北部に於て



勢地のカリファ

砂漠は砂地の略
海は泉地の略
島は港地の略
如しは船隊の略

はサハラ、南部に於てはカラハリ最も名あり。就中サハラは世界第一の大砂漠にして、南北四百里東西一千二百里に餘り、面積我が國の十八倍より大なり、丘陵所々に起伏し、地勢一様ならざれども、大體は砂を以て掩はれ、所々に河床あれども、一年間多くは水なし。所々に湧水ありて、植物生長す、此の部を泉地（Oasis）と稱す。土人砂漠を横斷するには、駱駝に乗り、泉地より泉地に移動し、常に伍を編成して旅行す、これを隊商と云ふ。砂漠旅行中、隊商の最も恐るゝものは、旋風の發生と共に、砂塵を巻き揚ぐることにこれなり。

沿岸。此の大陸の輪廓は甚だ單簡にして、外見上オーストラリアに似たり。然れどもオーストラリアは小屈曲に富み、良港を有するに反し、アフリカは殆んど全くこれを欠

ぐ。北部のシドラ及びカーベス二灣、南西部のギニア灣、北東部の紅海を除くの外、大屈曲すらも甚だ乏しく、屬島も亦た東岸のマダガスカル、西岸のアゾールス及びマデイラ諸島（Madagascar, Azores, Madeira）の外、著しきもの少し。

ロ、水誌。アフリカは周圍に山脈あり、内地は比較的低きを以て、廣大なる内地灌域を有し、大陸河少からず。又此の大陸は高原性大陸にして、其の周圍に山脈を有するを以て、急流と瀑布とに富み、特に河口に近き所に於て然りとす。且つ氣候雨量少きと、地質の透水性大なるとにより、河の灌域に比して、其の水量割合に少し。河流の大なるものは、地中海の斜面區域にナイルあり、大西洋の斜面區域にニジェール及びコンゴあり、印度洋の斜面區域にザンベジあり。（Nile, Congo, Zambezi, Niger）

ナイル河は長さに於ては世界第三なれども水は常に他の諸大河に劣る

ヴィクトリアニア湖は世界第二の淡水湖

ナイル河は水源地の雨季に於ては下流増溢し沿岸に沃土を堆積す、エジプト穀産の富は全く此の賜なり、其の河流は三角洲の適例にして、其の名稱の起因はこゝにあり。

湖沼。數多の大湖を有する點に於て、アフリカは北アメリカを除くの外、これに及ぶものなし。その位置は寧ろ東部に偏し、地質構造上地皮の罅裂線に沿ひて排列せるものなり。其の中、ウクトリアニア湖最も大にして、面積我が北州に等しく、タンガニカ及びニアッサこれに次ぐ。

ハ、氣候。アフリカの氣候は熱帶的にして、且つ大陸性なり。唯内部の高地は稍溫和なれども、海岸は概ね溫熱にして、熱病流行す。又赤道近傍は降雨あるを以て、砂漠はこゝに存せずして、却て無雨なる回歸線地方にあるは大に注意

すべきことなり。而してサハラ砂漠は酷熱にして、晝間四十度以上に昇り、夜間は氷點以下に降ること多し。

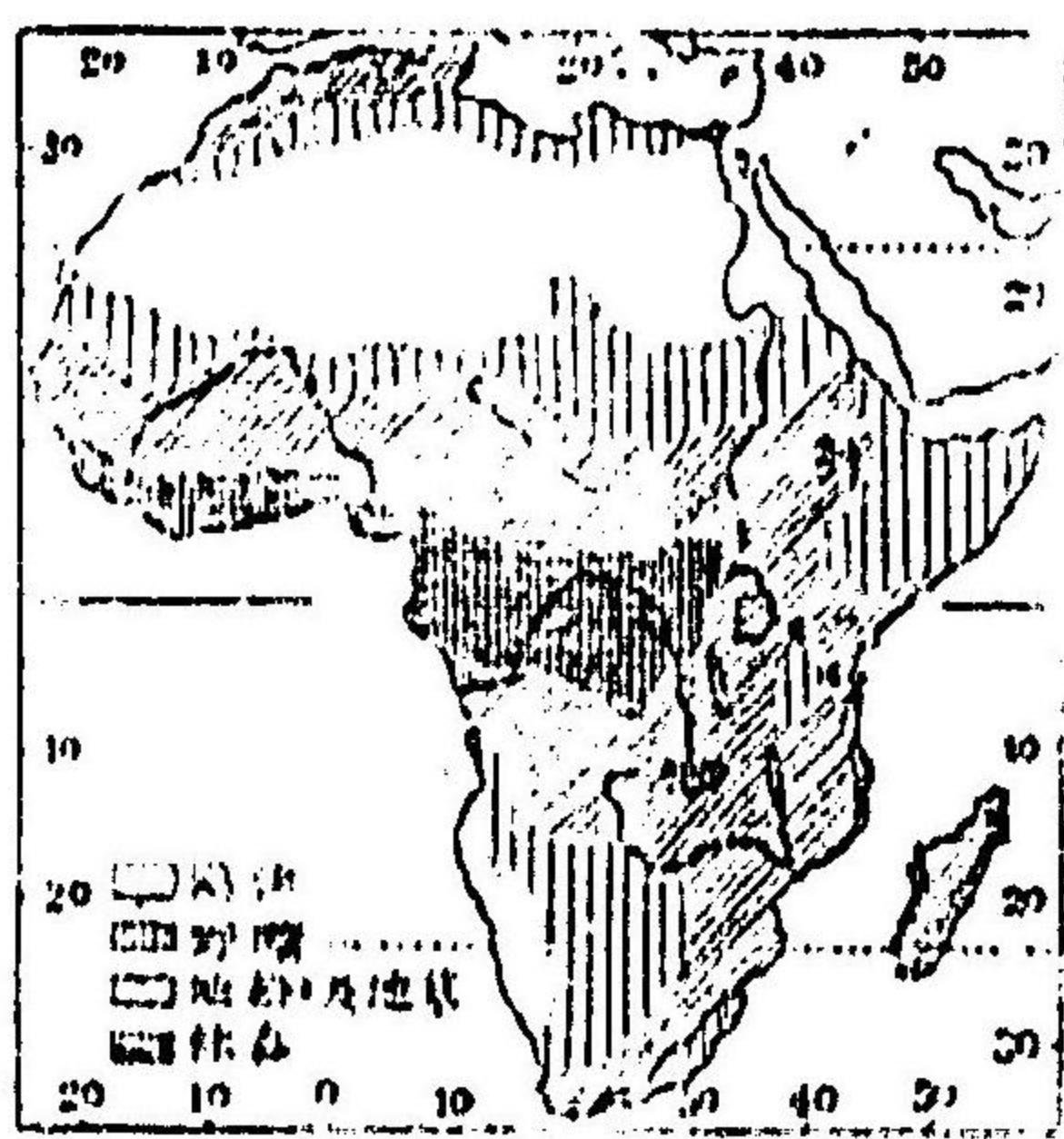
六六、人文地理。

アフリカは人種の數甚だ多く、北部にはハミタク種あり、サハラ砂漠以南にはニグロ種及びニグリトイド種あり、ニグリトイド種に屬するものには南部にバンタ、ホテント、ブシマン族の外、ニグリトール族あり。ニグリトール族は矮人にして、身長四尺計に過ぎず。其の他地中海の沿岸にセミチック種あり、又ヨーロッパ人は沿岸の要地及び南部アフリカに住居す。

拜物教を信ずるもの少からざれども、北部の人民は回教を信じ、又言語にはアラビア語最も行はる。

ロ、政治。アフリカは北西部のモロコシ王国及び東部のア
 ビシニア王国、西岸のリベリア共和国を除くの外、全くヨー
 ロッパ諸國の有に歸し、各國其の沿岸を分割し、其の内地は皆
 相當なる勢力範圍として、各國これを主張す。探險不十分
 にして、内地の境界線判然たらざるを以て、國際の紛議將來
 も尙ほ絶えざるべし。エジプトはヨーロッパ文明の母とも
 稱すべき地なるに係はらず、現今尙ほ國運の進歩を見ず、且
 つ他の部分は未開蠻人の住所たりしが故に、遂にヨーロッパ
 人の爲めに制服せられ、特に酒精飲料の輸入によりて、土人
 は次第に絶滅に赴くものゝ如し。

ハ、産業。砂漠を除くの外、アフリカは天産に乏しきに非
 ずして、特に鑛物に於ては恐らくは他大陸の及ぶ所に非ざ



アフリカの植區域

るべし。中部アフリカの大森林は、非常なる良材に富み、又
 全土殆んど到る所常食とすべき特有果物に富み、又エジプ
 トは綿南部アフリカには小麦の産少からず、動物界の天

産には獅子、象、駱駝あり、犀、河馬
 及び駝鳥等はアフリカの特有
 にして、又鱈魚、ツツ蠅ツツミの如き有
 害なる動物あり。鑛物は非常
 に富有にして、アフリカの金剛
 石は産額世界第一と稱せられ、

又同地方の金は合衆國及びオーストラリアと共に、其の産
 出世に名高し。

ニ、交通。アフリカの鐵道は漸次に延長せられ、主として

アフリカの
交通は中央
アジア及び
オーストラ
リア内部よ
りは便利な
り

左の地方にあり、即ち第一は農産地にして、ナイル河三角洲これが適例なり。第二は鑛産地にして、南部アフリカは其の適例なり。第三は河の急流地方にして、コンゴ河下流は其の適例なり。

アフリカの河は水量少きが上に、急流は特に河口に近き所に多く、随て船は海上より河を溯りて内地に深く入るゝと能はず。故に下流地方に於て鐵道を設け、以て河口と中流地方とを聯絡するもの少からず。

アフリカ沿岸諸港と他大陸との交通は、北部に於てはエジプトのアレキサンドリア、南部に於てはケープタウンを以て二大中心とし、汽船の定期航海あれども、内地の交通は未開の蠻人と、赤道地方の大森林との爲めに、大に障礙を受

く。然れども内部の地理大に明かとなりしは、全く近世探險の結果にして、リヴンガストーン及ビスタンレー二氏の偉績は永く没すべからざるなり。
Livingstone *Stanley*

第二節 アフリカの區劃

六七、政治區劃。

アフリカの全土中、獨立國はモロッコ及びアビシニア二王國、リベリア共和國の外、内地は未だ十分に制服せられざる二三の小部落あるのみにして、他は悉くヨーロッパ人の掌中に歸し、イギリス・ドイツ・フランス・スペイン・イタリア・トルコ等の諸國これを分ち領す。イギリス領は頗ぶる廣大にし

面積に於てはフランス領第一なり

て、其の中南部の喜望峯殖民地最も大切なり、且つトランスヴァール及びオーレンジ自由國の征服も近きにありて、イギリスはこれを殖民地と布告せり、エジプトは名義上トルコの領地なれども、實權はイギリスにあり。フランス領にては、北部のアルジェリア及び東岸のマダガスカル島最も大切なり、又サハラ沙漠の大部は、此の國の勢力範圍中にあり。ドイツは、東部及び南西部を領し、其の他ポルチガル、スペイン、イタリー諸國の領地も亦た少からず。トルコは北部に領地を有すれども、エジプトの實權はイギリスにあり。ポアー人はもとオランダより移住せしものにして、其の建設せるトランスヴァール及びオーレンジ二國はオランダ本國と政治上の關係を有せざる獨立國なりしが、今は前に述べ

し如くイギリスの勢力に歸し、ベルギー王を主權者とせる
 ユンゴ自由國は今我が條約國となれり。

六八、地理上の區劃。

アフリカは地理上左の如く大別するを以て便利とす。

- 一、ナイル諸邦。エジプト、アビシニア及びエジプトスーダンより成る。
- 二、東部アフリカ。ポルチガル、ドイツ、イギリス、イタリー領の四部に分る。
- 三、南部アフリカ。イギリス領南部アフリカ、喜望峯殖民地を重なるものとす、オーレンジ、トランスヴァール二殖民地、ドイツ領南西アフリカ及びザンベシアに區分せらる。
- 四、西部アフリカ。其の區劃甚だ多く、イギリス、フランス、

ドイツ・ポルチガル領の外、コンゴ自由國及びリベリア共和國あり。

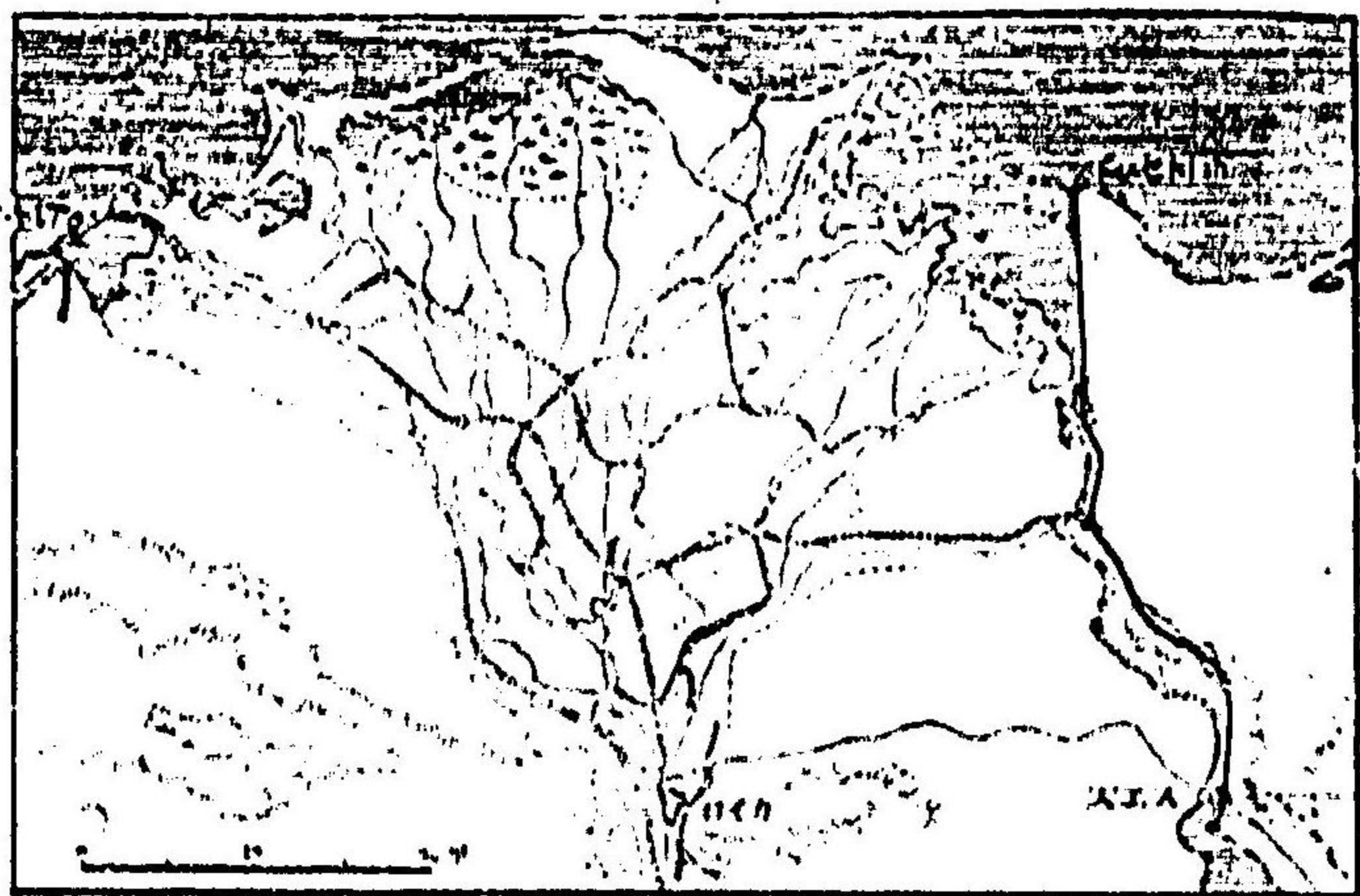
五、バルバリー諸邦。モロコ王国、アルジリア、サハラ地方、スーダン等より成り、フランスの領地其の大部を占む。

六、アフリカの諸島嶼。フランス領のマダガスカル最も大なり。

第三節 ナイル諸邦

六九、エジプト。

エジプトはナイル河下流の區域を占め、面積我が國の二倍あれども、ナイル河の三角洲及び河谷を除くの外は、不毛



エジプト北部

の砂漠にして、西部のリビア砂漠最も大なり。地中海の沿岸は澤湖多く、往々良港あれども、紅海の沿岸は屈曲少し。ナイル河の水利は大にして、特に其の沃土に就ては前に述べたり。氣候は概ね雨少く、特に南部は無雨にして、太古の遺跡は能く保存せらる。

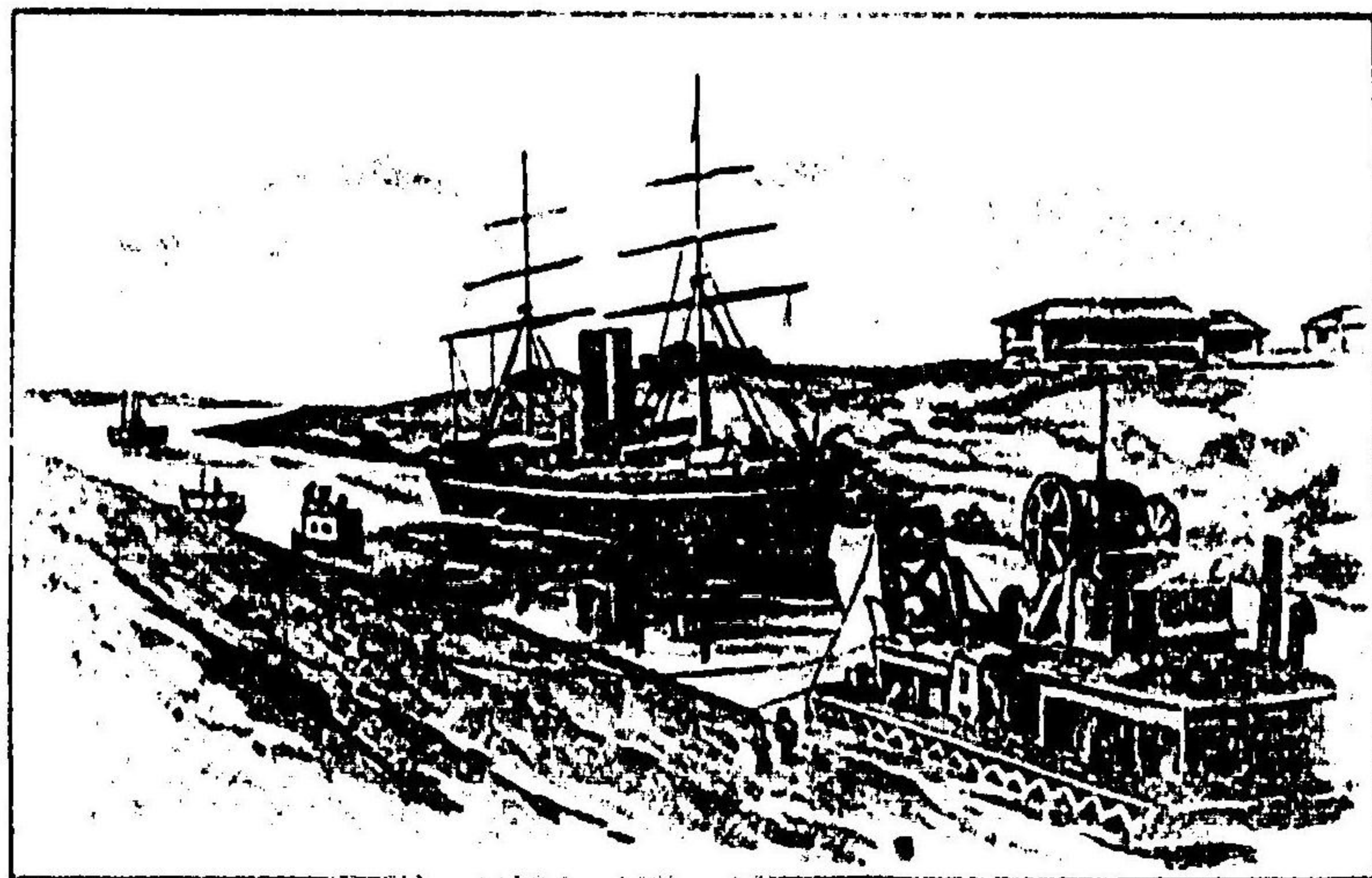
此の國は人口凡そ一千萬アラビア人最も多し、回教を

イギリス人の財政顧問あり其の勢力甚だ大なり

信じ、教育は尙ほ進歩せざれども、人口の増殖は甚だ大なり。名義上トルコの屬國にして、副王は首府カイロに住す。然れども實權は悉くイギリス人の手に歸せり。且つエジプト軍隊の訓練はイギリスの士官これを主どるのみならず、近世の内亂以後、イギリスの軍隊、永く此の國に駐在す。主要なる物産は農産にして、ナイル河の賜による、其の重なるものは綿及び小麥にして、外國に輸出する額少からず。

此の國は鐵道、河川、運河の利大にして、スエズ運河は紅海及び地中海を聯絡す。此の運河はフランス人レセ、ブ氏の設計せし所にして、其の北端 Port Said より南端 Suez に至るまで、長さ八十七哩、工費二億圓以上を要し、明治二年に開通し、如何なる大船も通過し得べく、戦時は局外中立の規

スエズ運河の交通は世界の大變動とあり



スエズ運河

定あり。而して日本郵船株式會社がヨーロッパ航路を開かせしより以來、日章旗を翻せる船舶も、此の運河を通過するに至れり。

エジプトの主要なる都邑は皆北部にあり、首府カイロはナイル河に沿ひ、又アンリカ第一の都會なり、有名なるピラミッド(金字塔)及びスフィンクス(獅身男面)の像も亦た其の附近にあり。カイロの北

西にアレキサンドリアあり、此の國第一の貿易港にして、アレキサンドル大帝の建設にかゝる、地理學の元祖トレミー氏はこゝに出てたり。

此の國は往古開明の土地なりしかば、古代の遺跡甚だ多く、リビア砂漠の泉地には迷堂あり、世界の奇觀として稱せらる。

七〇、アビシニア。

アビシニアは紅海の南隅に位し、地勢高原性にして、ナイル河支流の水源地なり。イタリーは近年まで其の保護地たるを主張せしが、此の國は現今實際獨立の王國となれり。

七一、エジプトスーダン。

エジプトスーダンはエジプトの南に位し、アフリカ中部

アビシニアの高峯は危岩を以て有名なり

との通商上大切なる位置にあり。近年内亂起り、イギリス國の力によりてこれを平定せし以來、エジプトは其の支配の實權を失ふに至れり。カルツームは其の中心にして、ゴルドン將軍戦死の地なるを以て有名なり。

第四 東部アフリカ

七二、ボルチガル領東部アフリカ。

ボルチガル領東部アフリカはモザンビク海峽を隔て、マダガスカルに對す、總督の駐在地はモザンビクなり。ローレンソマルケスは要港にして、これより鐵道はトランスヴァールの首府プレトリアに通ず。

七三、ドイツ領東部アフリカ。

ドイツ領東部アフリカはボルナムガル領の北に位し、アフリカに於けるドイツ領中面積最も大なり、總督はダレス^{Dar-es-Salaam}に駐在す。

七四、イギリス領東部アフリカ。

イギリス領東部アフリカはドイツ領の北に位し、三部に分れ、ナイル河上流區域も亦た其の中にあり、^{Nombasa}ンバッサ及びザンジバル島のザンジバルを主要なる都邑とす。

七五、イタリー領東部アフリカ。

イタリー領東部アフリカはイギリス領東部アフリカの北東に當れる沿岸の地と紅海沿岸の一部とを占む。

第五節 南部アフリカ

七六、イギリス領南部アフリカ

イギリス領南部アフリカは數多の部分に分る、其の中最もなるものを喜望峯^{Cape Colony}トランスヴァール・オーレンジの三殖民地とす。

甲、喜望峯殖民地。喜望峯殖民地はアフリカの南端を占

ぬ、地勢は卓子狀を成して、海岸より漸次に後方に高く、^{Table}テーブル山脈の名これに起因す、氣候は溫和にして、雨は多からず。

住民はイギリス人及びオランダ人三分の一を占め、他は土人なり。もとオランダの領地なりしを以て、今尙ほ其の

議會に於てはイギリスオランダ兩國を用ふることを許さる

ボアール人ハオランダより南部アフリカに移住せし農民なり

遺風を存す。アフリカに於けるイギリスの領地中最も大切なるを以て、艦隊を派遣し、其の警備に充て、總督をケープタウンに置く。農産及び牧畜盛大にして、羊毛の輸出頗ぶる多く、世界第二に位す。北部は金剛石を産し、其の産額世界第一にして、キンバレーを中心とす、駝鳥の毛も亦た重要な輸出品なり。外國貿易盛大にして、トランスヴァールの金も此の地を経て他大陸に輸出す。

乙、オレンジ殖民地。

Orange

オレンジ殖民地は喜望峯殖民地の北東にありて、オレンジ河これが境をなす。もとオレンジ自由國と稱せし地にして、ボアール人の建てしものなり。此の國は近年トランスヴァールと共に、イギリスと戦ひ、殆んど征服せられ、イギリスはこれをオレンジ殖民地

と改名したり。首府をブレイムフンタインと云ふ。

Bloufontein

丙、トランスヴァール殖民地。

Transvaal

トランスヴァール殖民地はオレンジ河の北東にありて、オレンジ河の支流ツァール河の彼岸にあり。面積は我が國より少しく小にして、



ボアール人

人口は凡そ百萬、ボアール人の建てし南部アフリカ共和國は即ち此の地なり。近年イギリス國

と戦ひ、一時は勝利を得しが、遂に大敗して殆んど征服せられ、イギリスは此の地を以てトランスヴァール殖民地と改名したり。然れどもボアー人は尙ほ頑固なる抵抗を爲すを以て、戦亂の全く平定に歸するは、頗ぶる時日を要すべし。此の地は産金國としてオーストラリア及び合衆國と並び稱せられ、特に近來其の産額頻りに増加し、世界第一と稱せらるゝに至れり。首府をプレトリアと云ふ。

七七、ドイツ領南西アフリカ。
Pretoria

ドイツ領南西アフリカはアフリカの南西部を占め、オリレンジ河其の南境を限ぎる。

七八、ザンベシア。
Zambesia

ザンベシアはザンベシア河南北の區域を占め、アフリカ

南部の内地を占む、此の地はイギリスの勢力範圍に屬し、砂金の産多し。

第六節 西部アフリカ

七九、總記。

西部アフリカは北サハラ砂漠より南フリオリオ岬に至るまでの區域を含み、河川の水利大にして、砂金、象牙、護膜、駝鳥毛等の物産多く、地理上セネガンビア、上部ギニア及び下部ギニアの三大部に分れ、政治區劃上、イギリス、フランス、ドイツ、ポルチガル四國の領地と、リベリア共和國及びコンゴ一獨立國とに分れ、其の區劃南部アフリカよりも尙一層複雑な

り、今左に其の重なるものを記すべし。

八〇、ボルチガル領西部アフリカ。

ボルチガル領西部アフリカはドイツ領南西アフリカの北に位し、コンゴ河河口は其の北端を限ぎ、首府をロアンダと云ふ。
Londak

八一、コンゴ独立國。

コンゴ独立國はコンゴ河流域の殆んど全部を占め、面積凡そ我が國の五倍半、人口は凡そ三千萬、パンチ種多し、コンゴ河は下流に急流あり、鐵道によりてこれを連絡し、上流は汽船を通じ、河口はヨーロッパ諸國と定期航海あり、此の國は天産豊富なるを以て、コンゴ河上流地方奴隸賣買の陋習跡を絶つに從ひ、外國貿易は益有望の地となるべし。

アフリカ河
流交通上の
特性

ベルギー王は此の國の主權者にして、中央政府はベルギー國の首府ブラッセルにあり、總督を此の國のボマに置きてこれを治む、此の國は近時我が國と通商條約を締結せり。
Boma

八二、フランス領コンゴ及びカメルーン。

フランス領コンゴはコンゴ獨立國の北西にありて、コンゴ河下流の右岸を占む、其の住民の多數はフン種にして、食人の陋習を脱せず。
Funi

カメルーンはフランス領コンゴの北方にありて、ドイツの保護地なり、地理上、下部ギニアと稱するは、ギニア灣の東岸にして、即ちフリオ岬より此の地までを含むことゝ知るべし。

八三、上部ギニア及びセネガンビア。

Senegambian

もと奴隷買
賣の最も盛
なりし地方
なり

地理上、上部ギニアと稱するは、ギニア灣の北岸一帯の地
域を稱し、セチガンビアはアフリカの西端セチガル河附近
の地方を總稱す。これ等の區域はリベリア共和國の外、イ
ギリス・フランス・ポルトガル三國に分屬す、今リベリア共和
國に就て左に畧述すべし。

リベリア共和國。此の國はアフリカ全土の南西隅を占
め、面積我が國より少しく小にして、解放の黑人を保護する
爲めに建てし國なり、首府をモンロヴィヤと云ふ。
Monrovia

第七節 バルバリー諸邦

Barbary

八四、總記。

バルバリー諸邦は地中海沿岸一帯の區域の中、エジプト
の境に至るまでを含む。人種は一ならざれども、大抵回教
を奉ず。アトラス山脈全土を貫らぬき、西部に於ては一萬
尺以上に達する高峯あれども、全體は甚だしく峻峻ならず。
沿岸の氣候は溫和なれども、サハラ砂漠より熱風吹き來る
を缺點とす、牧畜及び農産甚だ豊富なり。

八五、モロッコ王國。

Morocco

モロッコはアフリカの北西部を占め、ヨーロッパのアイベリ
ア半島に對す。政教一致の君主國にして、首府をフェズと
云ひ、重なる物産をモロッコ革とし、山羊の皮より製す。鐵道
線路の便なく、内地の地理至て不明なり。スペインは此の
國北岸の諸要地を占め、ジブラルタルに對するセツタは其
Ceuta

の一なり。

八六、アルジェリア。

アルジェリアはモロコシ王國の東に位し、フランスの南に對し、同國の殖民地中最も大切なるものにして、フランスは總督をアルジェールに置く。フランスは巨資を投じて此の地の發達を計り、鐵道の敷設日を追ひて盛んなり。農産盛大にして、製紙の原料に富む。

八七、チニス王國。

チニス王國はアルジェリアの東にあり、もとトルコの領地なりしが、近年フランスの勢力範圍内に入り、其の保護地となれり、首府をチニスとす、近傍は歴史上の古跡多し。

八八、トリポリ。

Tripoli

トリポリはチニスの南東に位し、トルコ帝國の一部を成す、首府をトリポリと云ふ。

第八節 サハラ及びスーダン

八九、サハラ。

Sahara

サハラ砂漠に就ては第一節にこれを述べたり、其の一部はモロコシ、トリポリ等の區域に入り、南部はイギリス、北西部はスペインの勢力範圍に入れども、大部はフランスの勢力範圍にあり。隊商のサハラを横斷するは、スーダンの産物を地中海沿岸に輸送するを目的とす。

九〇、スーダン。

Sudan

スーダンはサハラ砂漠と、ギニア及びナイル河上流地方との間に位し、河流の水利大にして、砂金、象牙、駝鳥毛等の物産に富む。東部即ちエジプト、スーダンは已に前に述べし如く、イギリスの勢力範囲にあり、西部はフランスの勢力範囲にありて、チンブクツは商業上の中心なり。中部はイギリス及びフランス勢力範囲の交點に當り、兩國間に屢紛議ありしが、今は重もにフランスの掌中に歸せり。

第九節 アフリカの諸島嶼

九一、東岸の諸島——マダガスカル。

マダガスカルはマダガスカル。マダガスカルはヨーロッパ又はアジアに比して島嶼に乏し、其

の中最も大なるはマダガスカルなり。

マダガスカルはアフリカの南東に位し、フランス領にして、本國より少しく大なり。地勢山多く、東側は南東貿易風の影響を受けて、降雨最も多し。諸種の天産に富み、礦物少からず、アフリカ本陸にある象、獅子等は、本島に於てはこれを缺く。首府をアンタナナリツと云ふ。其の他東岸の諸島に就てはこれを畧す。

九二、西岸の諸島。

アゾールス島はポルトガル領にして、本國と同緯度にあり。マデイラ島はアゾールス島の南東に位し、氣候非常に溫和なり、本島も亦たポルトガルに屬す。

カナリー諸島はマデイラ島の南にあり、スペインに屬す。

スエズ運河
開通までは
ヨロロバ
及びアソア
間交通の要
點に當れり

氣候溫和にして、霜雪降らず、暴風來らず。數多の火山島より成り、最高點は我が富士山に匹敵するものあり。

セントヘレナ島はアフリカの南西沖合にあり、本島はナ
St. Helena
ボレオン死去の地たるを以て有名なり。

其の他の諸島に就てはこれを畧す。

第六章 南アメリカ South America

第一節 總論

九三、總說。

南アメリカは西大陸の南半を占め、パナマ地峽を以て北アメリカに接し、恰も東大陸のアフリカに對すると同様の位置にあり。アフリカと南アメリカとを比較すれば、反對及び類似の點左の如し。

類似の點。

アフリカ。

イ、コンゴ河は畧ぼ赤道

南アメリカ。

イ、アマゾン河は畧ぼ赤道

の近傍に沿ひて流る。
ロ、赤道は此の大陸を貫ぬく。
ハ、赤道附近に廣大なる森林地あり。

反對の點。

アフリカ。

- イ、大なる湖多し。
- ロ、河の水利少し。
- ハ、大砂漠多し。
- ニ、大平原なし。

九四、地文地理。

の近傍に沿ひて流る。
ロ、赤道は此の大陸を貫ぬく。
ハ、赤道附近に廣大なる森林地あり。

南アメリカ

- イ、大なる湖なし。
- ロ、河の水利大なり。
- ハ、大砂漠なし。
- ニ、大平原あり。

長さに於ては世界第一の大山脈なり



南アメリカの地形

イ、地勢。アンデス山系は南アメリカの西側を縦貫し、其の高さヒマラヤ山系に次ぎ、最高點アコンカグア峯は殆んど富士山の二倍に達せんとす。此の山系は數多の列より成り、其の傾斜西側に急、東側に緩にして、其の間に狭き高臺

Aconcagua

を成す。而して太平洋沿岸火山脈

は此の山系を貫通し、世界最高の火

山チンボラゾ峯此の中に位し、其の高さ二萬尺を起ゆ。

Chimborazo

東側の低山脈には北部にパライム山系あり、南部にブラジル山系あり、其の高度は共に大ならず。

Parime

中央の大平原にはオリノコ河の灌域にラノスあり、アマ

Llanos

ゾン河の灌域にセルツスあり、ラブラタ河の灌域にパンパ

Selvas

Pampas

オリノコ
アマゾン
ラブラタ
三河は殆
ど一河と
見得べし

スあり、これ等の三大平原は低き分水界によりて相連る。南アメリカの沿岸は大屈曲に乏しけれども、小なる出入に富み、良港少からず。島嶼の數も少く、南東のフークランド及び南端のチャセラ、デル、フエゴを稍大なりとす。
 Falkland
 Tierra del Fuego
 ロ、水誌。南アメリカは地勢の結果により、太平洋の斜面區域には著しき河なし。カリビアン海の斜面區域には、マダレナ河稍大なり。大西洋の斜面區域にはオリノコ、アマゾン、サンフランシスコ及びラブラタの四大河あり。
 Magdalena
 オリノコ河は河口に大三角洲を作り、中流に瀑布多く、其の一支流はアマゾン河の一支流と相連る。
 Orinoco
 アマゾン河は其の水量に於ては世界第一の大河にして、其の灌域はヨーロッパの三分の二に等しく、長さ凡そ一千四

百里に餘り、河幅二里に達せる所あり。其の河口は開けて一大三角江を成し、八十里の沖合に於ても尙ほ其の流れを見る、而して急激なる潮流を感ずるは此の河の特性なり。
 サンフランシスコ河はブラジル山系に發する大河にして、其の長さ畧ぼダニール河に等しけれども、流れ急にして水利大ならず

ラブラタ河はパラナ及びウルグアイ兩河の合成せる三角江に外ならず、其の支流にパラグアイ河あり、本河の水利は頗ぶる大なり。
 La Plata
 Paraná
 Uruguay
 Paraguay
 Parana

南アメリカには湖水の大なるものなけれども、チカ、カ、湖稍大にして、海面上、一萬三千尺の高原に位す。
 Titicaca

ハ、氣候。南アメリカ大部の氣候は炎熱にして雨量多し、

南アメリカ諸都邑の特

これ地勢及び貿易風の關係によるものにして、アンデス山系の東側に世界第一の大河たるアマゾン河を作り世界に比少き大森林を成せるも全くこれが爲めなり。これに反して西側は殆んど雨を見ざる所ありて、往々砂漠を成す。南アメリカ諸國の都邑は海面上一萬尺内外の高所に位するもの少からず、これ等の高地に於ては、其の地熱帯に位するに係はらず、氣候極めて溫和なり。

九五、人文地理。

イ、人民。南アメリカの住民はアメリカンインヂアン人とヨーロッパ人との雜種最多數を占め、純粹なるヨーロッパ人に於てはポルチガル人の子孫最も多く、言語はポルチガル

語盛んに行はる。

ロ、政治。南アメリカは殆んど皆獨立の共和國にして、其の制度は合衆國を模倣せしものなり、但し一二の島嶼とギアナとはヨーロッパ諸國の領地なり。

ハ、産業。南アメリカの氣候は概ね炎熱多雨なるを以て、植物界の天産に富み、其の大森林にはマホガニーMahoganyの如き良材、又ログウッドLogwoodの如き造船用材あり。西部には幾那樹あり。パラグアイには「マテ」と稱する灌木あり、其の葉は茶の用を爲す、而してブラジルの珈琲は其の産額世界第一に位す。

動物界の天産に於ては、南アメリカは鳥爬蟲及び昆蟲の種類に富めること、他大陸の遠く及ばざる所なり。アンデス山系のコンドルCondor鳥は非常なる高所に飛揚し、大さ蜂に等

しきハンミング鳥あり、現生蛇類の中最も大なるボアあり、
Humming bird 又南アメリカの河流には鱒魚少からず、而してアルジエンチ
Rea ンに於ける牧畜は非常に盛大にして、羊の頭数はオースト
 ラリアに次ぐ。

南アメリカ鑛物界の天産に於ては、ヴェネジエラの金、ブラ
 ジルの金剛石、ボリヴアの銀、チリーの銅何づれも名あり。
 要するに南アメリカの天産は非常に富裕にして、其の開
 發と共に外國貿易も漸次盛大に赴くべし。

ニ、交通 南アメリカと他大陸との交通は汽船及び海底
 電線により不便を感じず。内地の交通は鐵道の敷設及び
 河川の利用と共に次第に發達し、アンデス山系の南部を横
 斷する鐵道も已に成れり。アンデス山系は交通上の一大

障害にして、其の山路は嶮峻を極め、其の峠の高度は我が富
 士山嶺より高し。而してヘルーの海岸よりチ、カ、湖岸
 に至る鐵道及びヴェネジエラの海岸より其の首府に至る鐵
 道線路(第二節を見よ)の屈曲せるは、能く南アメリカの地勢
 を明示せるものなり。

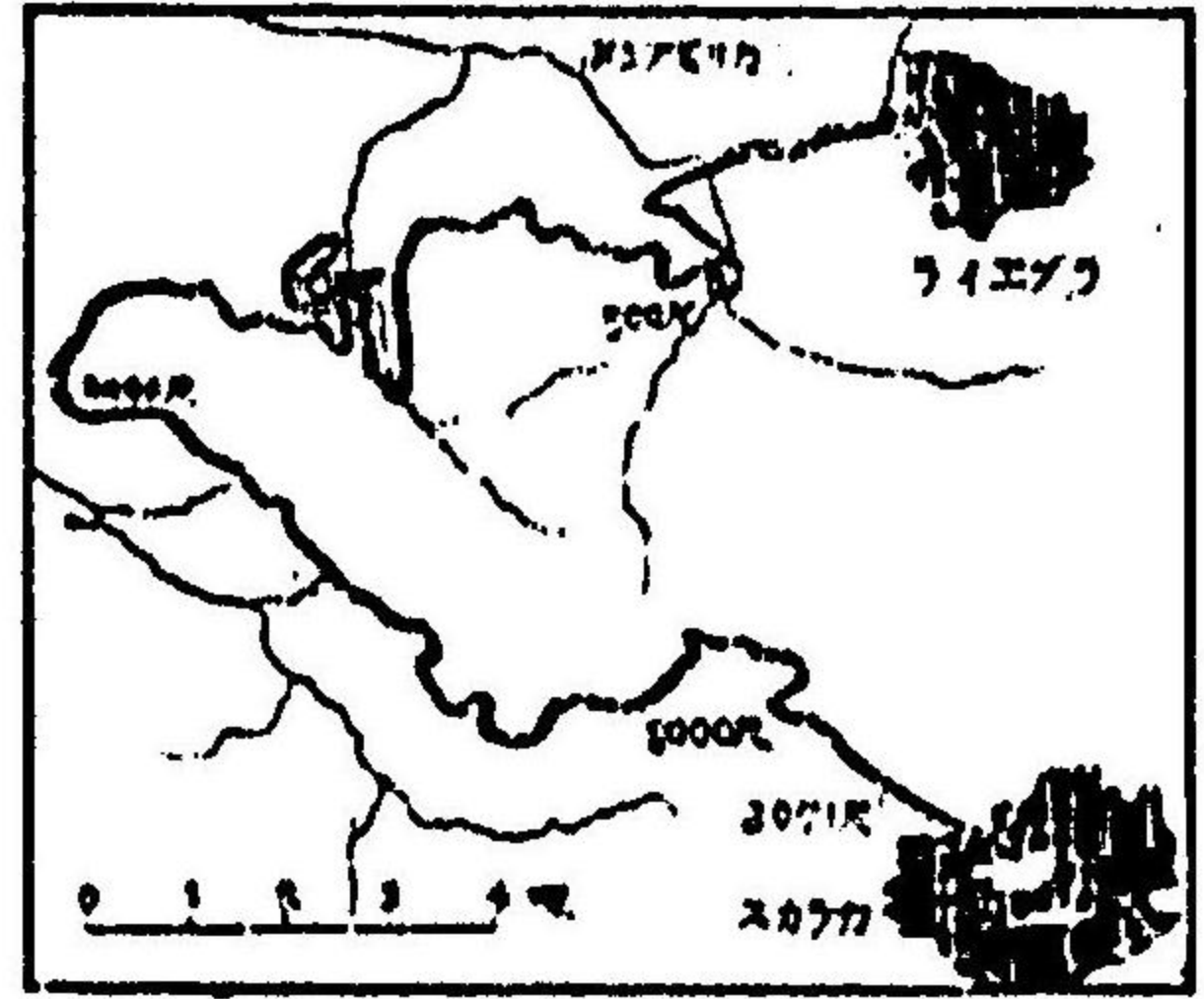
第二節 北部諸邦

九六、ヴェネジエラ。

Venezuela

ヴェネジエラは南アメリカの北部を占め、バライム山系其
 の南部に連亘し、全部殆んどオリノコ河の灌域に當る。氣
 候は地勢により熱暖涼の三帯に分る、コ、ア及び珈琲の産

山甚だ多く、又東部即ちイギリス領ギアナに接せる所には有名なる産金地あり、これが爲めに此の國はイギリス國と紛議を起せしが、此の問題は漸く決定せり、首府をカラカ



カラカス及グライエツコ間の鐵道

スと云ひ、其の地海面上三千餘尺の高所にあるを以て、熱帯に位すれども、氣候稍溫和なり。此の府とラグアイラ港との間は鐵道を通じ、*La Guayra* 其の線路の屈曲せることは別圖に示す如し、

九七、ギアナ。

Guiana

ギアナはヴェネジエラの東、ブラジルの北に位し、南境には大森林あり、イギリス・オランダ・フランスの三國これを分ち

領す、南アメリカ本陸中他國の領地となれるものは、獨り此の地あるのみ。イギリス領は西部にあり、金及び砂糖の産多く、オランダ領は中部にあり、金、砂糖の外、コ、アの産多し。フランス領は西部にあり、其の産業は未だ盛んならず。

第三節 ブラジル

Brazil

九八、總記。

ブラジルは南アメリカの中部より東部に亘り、南アメリカの諸邦中此の國と境を接せざるものはチリ及びエクアドルあるのみ。其の面積は全大陸の殆んど半ばを占め、ヨーロッパに殆んど等しく、世界大國の一なり。

九九、地文地理。

ブラジルの地勢を見るに、西境にアンデス山系あり、北境にパライム山系あり、東邊にブラジル山系あり、中部はアマゾン河の灌域にして、大平原を有す。ブラジル山系の存するが爲めに、内地の諸河はアマゾン及びラブラタの二河に流入す。氣候は概ね熱帶性なれども、土地廣大、地勢一樣ならざるを以て、處により大差あり。而して南東部は氣候最も溫和にして、ブラジル中現今最も開發せる區域なりとす。

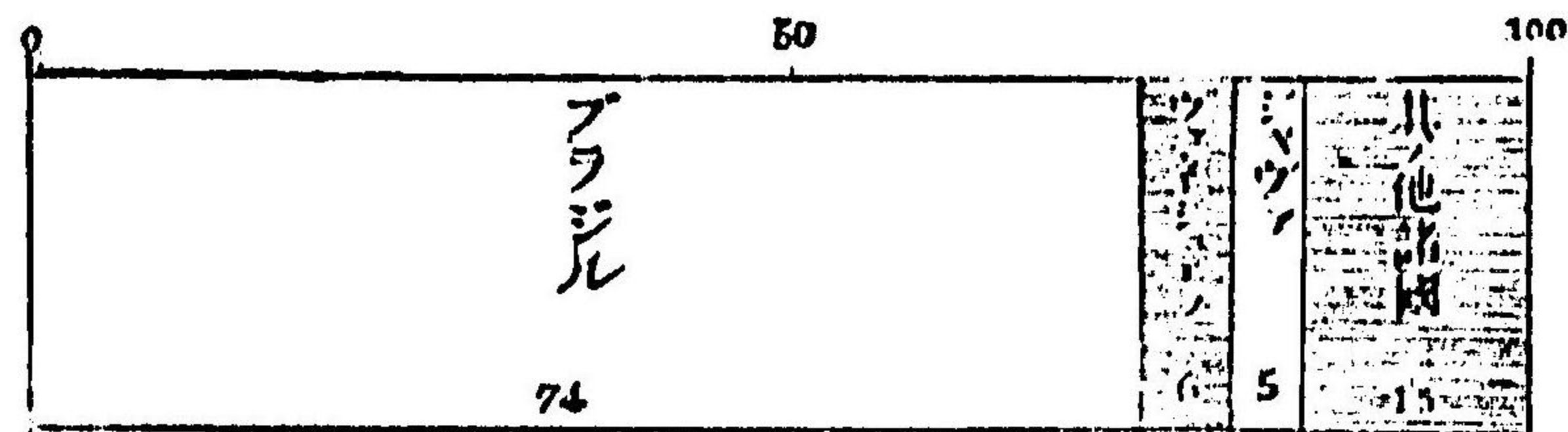
一〇〇、人文地理。

ブラジルの面積は廣大なれども、人口は僅に我が國の四分の一に満たず。故に近時外國よりの移住甚だ盛んにして、特にイタリー人最も多し。此の國人口の四分の一はポ

ルチガル人の子孫にして、ポルチガル語専ら行はる。此の國は久しくポルチガルの殖民地たりしが、近年獨立し、我が國と通商條約を締結せり。

植物界の天産は其の種類及び數量共に世界無比と稱せらる、これ雨量の多きと、地味の沃なるによるなり。アマゾン河の灌域にはセルヅスあり、此の大平原には有名なる大森林ありて、造船及び染料に必要なる木材を出だす。又珈琲栽培の盛んなること世界第一にして、砂糖及び護膜の産額も亦た少からず。動物界の天産には豊かなれども、牧畜の業は未だ盛んならず。鑛物は金剛石及び金を始めとし、其種類に富めども、未だ盛んに採掘せらるゝに至らず。工業は未だ起らずして、製造品はすべて外國よりの輸入を

略してリ
と通稱す



(中分百) 額産珈 珈

仰ぐ、外國貿易は漸次に盛大にして、珈琲は最も重要な輸出品なり。此の國は面積廣大、人口稀少にして、交通は南東部を除くの外未だ盛んならず

一〇二、地方誌。

ブラジルの首府をリオデジャネイロと云ふ、同名の良灣に臨み、此の國第一の貿易港にして、我が公使館及び總領事館の設あり、バヒア、はリオデジャネイロの北にありて、此の國第二の貿易港なり。ペルナンブコはバヒアの北にあり、一名をレシオンと云ふ、其の繁華なることバヒ

人口減少の
傾向あり



珈 琲 の 乾 燥

アに次ぐ。

第四節 南部諸邦

一〇二、パラグアイ

Paraguay

此の國はブラジルの南西に位し、海に臨まざる小國なり。面積我が本州より少しく大にして、人口は大阪市よりも遙かに少し。近年ブラジルと戦ひ大敗せしより、國勢未だ恢復せ

ナ。
全土はパラナ河及びバラグエイ河の灌域に當り、平地多くして、バラグエイ茶の産出頗ぶる多し、首府をアサンシオンと云ふ。
Asuncion

一〇三、ウルグエイ。

Uruguay

此の國はブラジルの南に位し、面積は我が本州より遙かに小にして、南アメリカ最小の國なり。全土の人口は凡そ我が大阪市に等しく、其の三分の一はフランス及びスベインの移住民なり。國中多くは平地にして、穀産及び畜産に富む。首府をモンテブヅデオと云ふ、屠肉の業盛んなり。

Montevideo

一〇四、アルジنتين。

Argentina

此の國は南アメリカの南部を占め、其の位置殆んど全く

身長平均六呎四吋

南温帯に位し、面積は我が國の十一倍ありて、大國の中に數へらる。地勢は平地多く、パンバスの大平原は其の大部を占む。國の南部パタゴニアは石礫多き荒地にして、其の土人は身長の大を以て知られ、牧畜及び狩獵を業とし、一種のワナを用ひて馬を捕獲す。パタゴニアの南にはマジラン海峽を隔て、チエラ、デル、フエゴあり、其の半はナリーに屬し、其の南端はホルン岬にして、南アメリカの最南點を成す。此の邊は氣候極めて寒冷なり。又マジラン海峽の東に當りて、フークランド島あり、イギリスの領地なり。

Falkland

此の國は人口尙ほ稀少にして、近時人口の増加愈劇なるはヨーロッパ諸國よりの移住盛大なるによる、特にイタリー人最も多しとす。教育は漸次進歩すれども、國債の額は甚